

平成30年度

事業報告書

ふれあいネットワーク



社会福祉法人

尾道市社会福祉協議会

目 次

1. 法人運営事業

(1) 理事会、評議員会等の開催	2
(2) 理事・監事・評議員研修会	3
(3) 福祉基金の運用	4
(4) ボランティア基金の運用	4
(5) 金山基金の運用	4
(6) 社協会員の加入促進	5
(7) 寄付金の受付	5

2. 地域福祉事業

(1) 地区社協等地域組織強化事業	7
(2) ふれあいサロン事業	17
(3) 生活福祉資金貸付事業	23
(4) 福祉サービス利用援助事業「かけはし」	23
(5) 法人後見（成年後見）事業	24
(6) 認知症高齢者見守り事業	24
(7) 認知症サポーター養成事業	27
(8) 認知症カフェ推進事業	32
(9) 住民参加型ふれあいサービス事業	35
(10) 介護器具等の貸し出し事業	36
(11) 福祉総合相談事業	36
(12) 生活困窮者自立支援事業	37
(13) 生活支援体制整備事業	39
(14) 福祉まつり等・社会福祉大会の開催	40
(15) 広報啓発活動	43
(16) 民生委員児童委員協議会との連携	43

3. 福祉人材養成事業

(1) 福祉職場就労相談・情報提供	44
(2) 地域人材確保推進体制整備事業	44
(3) 大学、専門学校等社会福祉援助技術実習生等の受け入れ	45
(4) 日本赤十字社講習会	45

4. 福祉教育推進事業

(1) 児童・青少年を対象とした福祉教育	46
----------------------	----

5. ボランティア活動推進事業

(1) ボランティアセンターの運営	48
(2) ボランティア養成事業	53

6. 高齢者福祉事業	
(1) 第44期尾道いきいき大学	57
(2) 敬老会	59
7. 障害者福祉事業	
(1) 障害者社会参加促進事業	62
(2) 障害者当事者団体への支援・協力	64
8. 児童福祉事業	
(1) 子育て支援ネットワークづくり	64
(2) 子どもの居場所づくり	68
9. 母子・父子福祉事業	
(1) ひとり親家庭の就労支援講座	70
(2) 尾道市母子寡婦福祉連合会への協力	70
10. 尾道市総合福祉センター等の管理	
(1) 尾道市総合福祉センターの管理	70
(2) 向島愛あいセンターの管理	72
(3) 因島総合福祉保健センターの管理	72
11. 尾道市総合福祉センター事業	
(1) 障害者福祉センター事業	73
(2) 老人福祉センター事業	74
(3) 児童センター事業	76
(4) 母子・父子福祉センター事業	77
(5) 福祉センター事業「よりあい広場」	79
12. 共同募金事業	79
13. 災害支援事業	
(1) 尾道市の被災状況	80
(2) 災害ボランティアセンター	80
(3) 災害ボランティア活動	81
(4) 自衛隊仮設風呂運営協力	84
(5) 災害義援金の募集	85
(6) 支え合いセンター	85
14. 地域包括支援センター事業	
(1) 総合相談・支援業務	86
(2) 介護プラン作成件数	86
(3) 介護予防普及啓発事業	86
(4) 地域活動	90
(5) 地域包括支援センター担当者会議	93

(6) 研修等	95
15. 介護保険事業	
(1) 居宅介護支援事業	98
(2) 訪問介護事業	103
(3) 訪問入浴介護事業	108
(4) 通所介護事業	109
16. 障害福祉サービス事業	
(1) 障害者訪問介護事業	113
(2) 障害者訪問入浴介護事業	114
(3) 障害者通所介護事業	114

平成 30 年度 事業報告

我が国は、少子高齢化による人口減少、労働力人口の減少、加えて地方は過疎化という大きな課題に直面しています。また、地域住民が抱える生活課題も多様化、複雑化しており、公共サービスだけで解決することが困難な中、地域で暮らす全ての人がいきいきと幸せな生活を送るためには、住民同士の支え合いやセーフティーネット機能の強化が重要になっています。また、平成 30 年 7 月豪雨災害では、尾道市でも多くの方々が被災され 600 件を上回る家屋被害が発生しています。

このような中、尾道市社会福祉協議会（以下、「本会」という。）では、地域の人間関係を大切にしながら、住み慣れた地域で安心して生活できることを願い、本会の役割を認識し、事業を実施しました。

生活支援体制整備事業は平成 29 年度から始まった新たな地域支援事業に向けて、西部・南部（因島）地域包括支援センター圏域に加えて中央・北部・南部（生口島）地域包括支援センターの各圏域において、地域づくりを進めています。

小地域ネットワーク推進事業は、地区社協や町内会の 6 地区において生活課題の把握や支援の方法など、地域の実情にあった支え合いの街づくりに取り組みました。

生活困窮者自立支援事業（くらしサポートセンター尾道）は、複合化した生活課題を抱える生活困窮者の早期発見を図り、自立した生活を行えるよう必要な支援を実施しました。新規相談受付件数は 227 件、内 15 件のプラン作成を行い、関係機関と連携して総合的なサポートを実施しました。

ボランティア養成事業は、生活支援等のボランティアを育成するために各種のボランティア養成講座を開催し、更なる地域ボランティアの育成を図りました。

ふれあいサロン事業は、173 カ所で開催され、その内常設型（週 1 回以上開催）サロンも 13 カ所で開催されました。

子育て支援ネットワークづくりの推進は、サロンや交流会を通して子育て中の親子の支援を行いました。

認知症の人にやさしいまちづくり事業は、認知症の方や家族を支援するため支援員を派遣するとともに、地域で認知症の理解を深めるため、認知症サポーター養成事業等に取り組みました。

平成 30 年 7 月豪雨災害では、本会で初めて災害ボランティアセンターを設置・運営しました。三原市社会福祉協議会と共同で設置した福地サテライトと併せて、延べ 4,740 人のボランティアの皆さまに、被災者支援活動を展開していただきました。

また、10 月 22 日からは被災者の生活再建等を支援するため、尾道市からの受託事業として、支え合いセンターを設置・運営し、事業対象の全世帯を訪問し平成 31 年度も継続的に支援します。

そのほか、福祉サービス利用援助事業（かけはし）は、65 人の方に、法人後見事業は、5 人の方の後見人として支援を行いました。広島県社会福祉協議会が実施する地域支援事業戦略会議研修にも参加し、他市の状況把握と職員の資質向上を図りました。

介護保険、障害福祉サービス、介護予防・日常生活支援総合事業では、事業所の適正な人員配置と介護報酬加算の取得につとめるとともに、経費削減に努めました。

1. 法人運営事業

(1) 理事会、評議員会等の開催

理事会、評議員会等を開催し、適正な運営に努めた。

① 理事会の開催

開催日	主な議題
第1回 5月11日(金) 出席者16名	議案第1号 評議員会の開催について
第2回 6月8日(金) 出席者16名	議案第2号 平成29年度事業報告の承認について 議案第3号 平成29年度一般会計決算の承認について 議案第4号 理事、監事候補者の承認について 議案第5号 評議員の推薦について 議案第6号 評議員選任・解任委員会の招集について 議案第7号 定時評議員会の招集について 議案第8号 介護事業所運営規程の一部改正について
第3回 8月23日(木) 出席者14名	議案第9号 平成30年度一般会計補正予算(第1号)について
第4回 9月20日(木) 出席者14名	協議事項 (1) 第47回おのみち福祉まつりにについて (2) 平成30年度尾道市社会福祉大会について ※評議員会と合同会議
第5回 11月16日(金) 出席者13名	議案第10号 平成30年度一般会計補正予算(第2号)について 議案第11号 役員等の報酬等に関する規程の一部改正について 議案第12号 評議員会の招集について 報告事項 職務執行状況報告について
第6回 3月18日(月) 出席者14名	議案第13号 平成31年度事業計画について 議案第14号 平成31年度一般会計収支予算について 議案第15号 平成30年度一般会計補正予算(第3号)について 議案第16号 事務局規程の一部改正について 議案第17号 評議員会の招集について

② 評議員会の開催

開催日	主な議題
第1回 5月28日(月) 出席者36名	議案第1号 定款の変更について

第2回 6月25日(月) 出席者28名	議案第2号 平成29年度事業報告の承認について 議案第3号 平成29年度一般会計決算報告の承認について 議案第4号 理事、監事候補者の選任について
第3回 9月20日(木) 出席者27名	協議事項 (1) 第47回おのみち福祉まつりについて (2) 平成30年度尾道市社会福祉大会について ※理事会と合同会議
第4回 11月26日(月) 出席者26名	議案第5号 平成30年度一般会計補正予算(第2号)について 議案第6号 役員等の報酬等に関する規程の一部改正について 報告事項 前期事業実施報告書
第5回 3月28日(木) 出席者27名	議案第7号 平成30年度一般会計補正予算(第3号)について 議案第8号 平成31年度事業計画について 議案第9号 平成31年度一般会計収支予算について

③ 監事会

開催日	主な議題
5月28日(月) 出席者3名	(1) 平成29年度事業監査について (2) 平成29年度一般会計監査について

④ 表彰審査委員会

開催日	主な議題
10月3日(水) 出席者6名	(1) 平成30年度社会福祉活動功労者及び介護者表彰並びに災害支援功労者について 市社協会長表彰として、社会福祉協議会関係者 16名、社会福祉施設・団体関係者 33名、ボランティア 34名・団体 2団体、介護者 4名及び被災者支援功労者 2団体を決定した。 (2) 尾道市長感謝状の推薦について 市長感謝状として、社会福祉協議会関係者 7名を推薦することを決定した。

(2) 理事・監事・評議員研修会

平成30年7月の豪雨災害により、広島県社会福祉夏季大学の開催が中止となった。

(3) 福祉基金の運用

福祉基金の利息を法人運営費として有効に活用した。

(単位 円)

区 分	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度
① 積立状況	155,388,673	155,388,673	155,388,673
② 利息収入	1,525,815	1,530,847	1,533,675
③ 国債等売却益	0	0	0
④ 使途 法人運営事業	1,525,815	1,530,847	1,533,675

(4) ボランティア基金の運用

ボランティア基金の利息を福祉大会事業、子育て支援事業、ボランティア養成事業などへ有効に活用し事業の充実を図った。

(単位 円)

区 分	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度
① 積立状況	352,276,008	352,276,008	352,276,008
② 利息収入	4,346,701	4,354,306	4,548,971
③ 国債等売却益	0	0	803,547
④ 使途の内訳 (合計)	4,346,701	4,354,306	5,352,518
ア 認知症高齢者見守り事業	348,000	0	0
イ ふれあいサービス事業	10,264	278,376	420,000
ウ 福祉総合相談事業	10,000	10,000	10,000
エ 福祉大会事業	547,000	700,000	700,000
オ 福祉まつり事業	170,000	170,000	170,000
カ 福祉教育事業	31,000	31,000	121,000
キ ボランティア養成事業	2,530,437	2,096,930	3,261,518
ク 子育て支援事業	700,000	568,000	420,000
ケ 生活支援体制整備事業	0	500,000	250,000

(5) 金山基金の運用

金山基金の利息を平成 30 年度地域福祉事業で有効に活用した。

(単位 円)

区 分	平成 30 年度	平成 29 年度	平成 28 年度
② 積立状況	152,074,704	175,199,635	185,199,635
② 利息収入	1,107,451	1,150,150	1,385,794
③ 前期繰越金	1,697,093	1,697,093	1,294,430

④ 使途の内訳 (合計)	2,804,544	2,847,243	2,680,224
ア 認知症高齢者見守り事業	75,000	98,000	263,000
イ 認知症サポーター養成事業	61,000	61,000	61,000
ウ 認知症カフェ事業	0	34,100	0
エ ふれあいサービス事業	0	0	24,461
オ 介護器具支援事業	34,000	0	0
カ 福祉大会事業	153,000	0	0
キ 福祉総合相談事業	101,220	81,974	66,126
ク ブックスタート事業	9,430	33,307	0
ケ ボランティア養成事業	129,196	0	95,000
コ 子育て支援事業	188,529	206,078	223,537
サ 生活支援体制整備事業	0	200,000	250,007
シ 法人運営事業	2,053,169	435,691	0
ス 次期繰越金	0	1,697,093	1,697,093

(6) 社協会員の加入促進

世帯会員、団体会員、賛助会員の加入をお願いし、市社協への理解に努め協力を得た。

区 分	旧 尾 道		御 調		向 島	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
世帯会費	27,373	4,105,950	2,105	315,750	5,238	785,750
団体会費	36	108,000	9	27,000	11	39,000
賛助会費 (事業所)	130	594,000	30	121,000	36	135,000
(個人)	167	318,000	2	8,000	2	6,000
合 計		5,125,950		471,750		965,750

区 分	因 島		瀬 戸 田		合 計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
世帯会費	8,337	1,250,550	3,547	532,050	46,600	6,990,050
団体会費	10	30,000	5	15,000	71	219,000
賛助会費 (事業所)	53	187,000	32	130,000	281	1,167,000
(個人)	5	27,000	3	11,000	179	370,000
合 計		1,494,550		688,050		8,746,050

(7) 寄付金の受付

福祉活動の財源として、市民の皆様の協力を得ることができた。

① 受付状況

区 分	旧 尾 道		御 調		向 島	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
市社協指定分	138	4,462,035	29	1,740,000	48	870,000
地区社協指定分	119	3,728,020	25	580,000	86	1,780,131
合 計	257	8,190,055	54	2,320,000	134	2,650,131
(内訳)						
香典返し	222	5,980,000	51	1,110,000	130	2,613,000
一 般	32	1,748,515	2	40,000	4	37,131
物品寄付	3	461,540	1	1,170,000	0	0

区 分	因 島		瀬 戸 田		合 計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
市社協指定分	2	310,000	25	788,202	242	8,170,237
地区社協指定分	43	590,000	0	0	273	6,678,151
合 計	45	900,000	25	788,202	515	14,848,388
(内 訳)						
香典返し	45	900,000	18	520,000	466	11,123,000
一 般	0	0	7	268,202	45	2,093,848
物品寄付	0	0	0	0	4	1,631,540

②寄付金管理運営委員会の開催

開催日	議 題
第1回 1月18日(金)	報告事項 (1) 平成29年度寄付金の取扱状況について (2) 平成29年度寄付金の使途について (3) 平成30年度寄付金の取扱状況について (4) 平成30年度寄付金の使途について 協議事項 (1) 平成31年度寄付金の使途について (出席者 12名)

2. 地域福祉事業

(1) 地区社協等地域組織強化事業

① 小地域ネットワーク推進事業

地区社協を基盤に住民の支え合い・助け合い活動の推進を目的に、平成30年度は小地域ネットワーク推進事業(モデル事業)として3地区社協を新たに指定した。そして、2年目を迎えた3地区社協(継続)合わせた6地区社協が小地域ネットワーク推進事業を展開した。助成は1地区社協50,000円、指定期間は2年間とした。

ア 小地域ネットワーク推進事業モデル指定で取り組んだ地区社協

(ア) 新規の地区社協

旧尾道地域：木ノ庄東地区

旧尾道地域：三成地区

向島地域：中富浜地区

(イ) 継続中の地区社協

旧尾道地域：吉和地区

御調地域：綾目地区

向島地域：兼吉地区

イ 主な事業

(ア) 新規の地区社協

a 視察研修

b 気くばり目くばり支え合いネットワーク会議

c 見守り活動：断水対応

d アンケート調査実施

e おのみち見守り訓練 in 三成

f おしゃべり広場開設

(イ) 継続中の地区社協

a いきいきサロン東元町開設

b 小地域ネットワーク地区の更新作業

c 地域づくり講演会：超高齢社会“きずな”で乗り切ろう!

d 地域診断によるアンケート調査・集約

e アンケート結果報告会

ウ 取り組みの経過(視察・研修会等の開催概要について)

(ア) 6地区社協合同視察研修

視察日時	視察場所	視察内容
7月27日(金) 10:30~15:00	新見市地域福祉 センター	新見市井倉地区社会福祉協議会の見守り活動 参加者22名

(イ) 地区社協での研修等

《木ノ庄東地区社協》

[気くばり目くばり支え合いネットワーク会議]

日 時	場 所	内 容
5月27日(日) 19:00~21:00	木ノ庄東公民館	小地域ネットワーク推進事業の内容と地域包括支援センターの関わり方についての講義 参加者 30名
6月24日(日) 19:00~21:00	木ノ庄東公民館	小地域ネットワーク推進事業チラシ作成 75歳以上の一人暮らし家庭の実態調査実施 参加者 24名
8月26日(日) 19:00~21:00	木ノ庄東公民館	先進地視察研修の内容報告及び一人暮らし家庭実態調査結果報告 見守り活動の方法について 参加者 30名
10月28日(日) 19:00~21:00	木ノ庄東公民館	見守り対象者を地図に反映し情報を共有 見守り対象者緊急時の安心カード作成 見守りサポーター募集チラシの作成 参加者 27名
12月17日(月) 19:00~21:00	木ノ庄東公民館	あんしんカードの配布状況の報告 見守りサポーター養成及び活動状況について 参加者 29名
2月16日(土) 19:00~20:00	木ノ庄東公民館	地域応援団講座の開催 講師 上田正之さん(庄原市) 議題 「ここで暮らす」 参加者 40名
3月25日(月) 19:00~21:00	木ノ庄東公民館	平成30年度事業振り返りと、平成31年度の活動計画について 参加者 23名

《三成地区社協》

[取り組んだ事業]

日 時	場 所	内 容
5月30日(水) 9:00 ~20:00	栗原北公民館	小地域ネットワーク推進事業について おのみち見守り訓練 2018 実施要領について 参加者 36名
6月21日(木) 13:30 ~16:00	① 才原(大迫会館 ~大亀食堂付近) ② 大迫(セブンイレブン三成店付近)	おのみち認知症見守り訓練 in 三成 2018 まちに出て、町民の方々に認知症の方に声かけ、見守り、通報等の訓練をした。 参加者 53名

9月11日(火) 10:00～11:30	大迫会館	三成地区見守り訓練振り返り会議 これらの三成地区での取り組みについて 参加者 22名
2月27日(水) 18:00～20:30	栗原北公民館	見守り活動について：勉強会の実施、啓発配布 民生委員との連携体制について 参加者 11名

《中富浜地区社協》

[取り組んだ事業]

日 時	場 所	内 容
6月11日(月) 13:30～16:00	中富浜コミュニテ ィーセンター	小地域ネットワーク推進事業の説明 参加者 20名
6月23日(土) 18:00～20:00	中富浜コミュニテ ィーセンター	尾道にCo-Minkanをつくろう!プロジェクトに ついて グループワーク 講師：コミュニティデザイナー内海慎一さん 参加者 30名
10月17日(水) 10:00～12:00	ゆずっこ向島地域 交流室	うどん作り 参加者 30名
2月21日(木) 11:00～12:00	中富浜地区	地域診断アンケート調査実施 75歳以上 210名配布

(ウ) 全地区社協並びに市民対象の研修会

継続中の地区社協による小地域支え合いづくり実践報告並びにシンポジウムによる研修会を行った。

《綾目地区社協・兼吉地区社協の報告》

3月6日(水) 13:30～15:30	<p>○実践報告</p> <p>『絆を深める綾目地区ネットワーク活動』 ～地域全体の協働で暮らしの安心づくり～ 綾目地区社協 会長 高上 勝治さん 綾目地区社協 副会長 迫 明美さん</p> <p>『よかったのうピンピンキラリ☆兼吉地区』 ～認知症にやさしいまちづくり～ 兼吉地区社協 会長 西原 修さん</p> <p>○研修会：シンポジウム 『地域とつながる支え合い・助け合いづくり』 コーディネーター：NPO 法人市民プロデュース 理事長 平田 隆之さん 参加者 39名</p>
------------------------	---

[成果]

- ・ モデル指定による小地域ネットワーク推進事業が、地区社協単位または町内会単位で、地域の見守られる関係づくりの必要性の意識が高まり、地域での支援体制の基盤ができた。
- ・ 安心カードの作成で見守り活動の情報交換に役だった。
- ・ 認知症見守り訓練により、認知症に対する理解が深まった。

[課題]

- ・ 小地域ネットワーク推進事業のモデル指定後に向けて、地域のふれあいサロン活動と見守りを具体化し、ネットワークの組織づくりに向け、支援体制を図っていく。
- ・ モデル指定終了後、小地域ネットワーク推進事業を継続していくための助成が必要である。

② 生活・介護支援サポーター養成及びスキルアップ事業

高齢者の自立支援及び弱者対策のため、講義と実技を通して、福祉や介護に関する知識や技術を持った生活全般から介護に至るボランティア活動をする担い手の養成を目的として、3地区社協で4講座の新規サポーター養成講座を開催した。各講座時にグループ討議の時間を設け、地域の課題や生活支援について意見を出し合い、普段からの地域や人のつながりの大切さを確認できた。

また、スキルアップ講座を各地域包括支援センターと協働で開催した。

ア 新規サポーター養成講座

《木頃地区社協》サポーター15名登録（受講者30名）

会場：藤井川公民館

開催日時	内 容
6月13日(水) 19:00～21:30	「健康寿命について考える」 講師：公立みつぎ総合病院 院長 沖田 光昭先生 尾道市北部地域包括支援センター高瀬奈美さん 「尾道市の高齢者を取り巻く現状と尾道地域の課題」 グループワーク：心に残ったことを伝える
6月27日(水) 19:00～21:30	「ここで暮らす！」～いまさら地域？今こそ地域！？～ 講師：庄原市地域包括支援課 生活支援コーディネーター 上田 正之さん グループワーク：これからしてみよう！これはすぐできる！
9月28日(金) 13:30～16:00	「まちづくりのアイディアを出し合おう」 講師：人間科学研究所 所長 志賀誠治さん
10月12日(金) 13:30～16:00	グループワーク テーマ：「アイディアのスケジュールをつくる」

《市地区社協》サポーター9名登録（受講者33名）

会場：市公民館

開催日時	内 容
8月28日(火) 9:30~12:00	「健康寿命について考える」 講師：公立みつぎ総合病院 院長 沖田 光昭先生 尾道市北部地域包括支援センター高瀬奈美さん 「尾道市の高齢者を取り巻く現状と尾道地域の課題」 グループワーク：健康寿命を伸ばすためにしていること、これからしようと思っていること
9月18日(火) 9:30~12:00	「ここで暮らす！」～いまさら地域？今こそ地域！？～ 講師：庄原市地域包括支援課 生活支援コーディネーター 上田 正之さん グループワーク：自分でできること、誰かと協力してできること
10月30日(火) 9:30~12:00	「まちづくりのアイディアを出し合おう」 講師：人間科学研究所 所長 志賀誠治さん
11月6日(火) 9:30~12:00	グループワーク テーマ：「アイディアのスケジュールをつくる」

《河内地区社協》 サポーター6名登録（受講者25名）

会場：河内公民館

開催日時	内 容
10月9日(火) 13:30~16:00	「健康寿命について考える」 講師：公立みつぎ総合病院 院長 沖田 光昭先生 尾道市北部地域包括支援センター高瀬奈美さん 「尾道市の高齢者を取り巻く現状と尾道地域の課題」 グループワーク：健康寿命を伸ばすためにしていること、これからしようと思っていること
11月8日(木) 13:30~16:00	「ここで暮らす！」～いまさら地域？今こそ地域！？～ 講師：庄原市地域包括支援課 生活支援コーディネーター 上田 正之さん グループワーク：自分でできること、誰かと協力してできること
12月7日(金) 13:30~16:00	「まちづくりのアイディアを出し合おう」 講師：人間科学研究所 所長 志賀誠治さん
12月18日(火) 13:30~16:00	グループワーク テーマ：「アイディアのスケジュールをつくる」

イ スキルアップ講座

《栗原北地区社協》 会場：栗原北公民館

開催日時	内 容
2月21日(木) 13:30~16:00 受講者：25名	「まちづくりのアイディアを出し合おう」 講師：人間科学研究所 所長 志賀誠治さん

[成果]

人口構造の変化により起こる、さまざまな福祉課題とどう向き合うかについて学び、住み慣れた地域で過ごすための対策について話し合いを行った。

地域の中で、お互いの様子を気にかけて、いたわり合うには、ご近所同士のつながりが希薄になっており、お節介をやく文化がなくなっている。ご近所の方同士が関わり合い、地域のつながりができる場づくりが必要であることに気づき、気軽に声をかけ合う場づくりをどのように開催するかについて検討し、実践できる人材を育成した。

③ 地区社協会長会議の開催

ア 旧尾道地域

開催日	内容
7月6日(金)	・敬老会の事務手続き等について
11月6日(火)	・敬老会の反省等について

イ 御調地域

開催日	内容
5月15日(火)	・新地区社協会長等の紹介 ・地域福祉活動の取り組みについて ・主な行事について
7月10日(火)	・敬老会の事務手続き等について
10月31日(水)	・敬老会の反省等について

ウ 向島地域

開催日	内容
5月10日(木)	・平成30年度社協会費について ・地域福祉活動について ・向島地域安全運動について ・寄付金の取り扱いについて
7月13日(金)	・敬老会の事務手続き等について
10月12日(金)	・平成30年度共同募金について ・敬老会の反省 ・小地域ネットワーク推進事業の取り組みについて ・尾道市社会福祉大会について

エ 因島地域

開催日	内容
4月24日(火)	・はっさく交流館(因島総合福祉保健センター)について ・5月の行事予定について ・その他(意見交換)

5月28日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会、評議員会について ・敬老会打合せ会の日程について ・平成30年度事業計画（因島支所）について ・平成30年度世帯会費納入の協力依頼について ・6月の行事予定について ・その他（意見交換）
7月11日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・第65回広島県社会福祉夏期大学について ・「平成30年7月豪雨災害」に伴うボランティアセンターの立ち上げについて ・平成30年度県社協会長表彰・市社協会長表彰候補者の推薦について ・戦没者慰霊式典への参加要請について ・生活支援体制整備事業住民説明会について ・7月・8月の行事予定について ・その他（意見交換）
8月24日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老会の実施計画について ・共同募金の資材注文について ・災害復旧ボランティアの活動実績について（報告） ・9月の行事予定について ・その他（意見交換）
9月25日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老会の実施報告について ・共同募金運動について ・平成30年度尾道市社会福祉大会について ・10月の行事予定について ・その他（意見交換）
10月23日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・共同募金（街頭募金）の実施について ・尾道市社会福祉大会市社協会長表彰について ・11月の行事予定について ・その他（意見交換）
11月30日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・尾道市支え合いセンターについて ・12月の行事予定について ・その他（意見交換）
12月25日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・共同募金の実施状況について ・尾道市支え合いセンターについて ・生活・介護支援サポーター養成講座スキルアップ講座の開催について ・1月の行事予定について ・その他（意見交換）
1月23日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・「子どもの第三の居場所づくり事業」について ・理事会、評議員会について ・2月の行事予定について ・その他（意見交換）
2月26日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会、評議員会について ・生活支援体制整備事業の地区座談会について ・3月の行事予定について ・その他（意見交換）

3月26日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度の主な事業について ・平成31年度の各地域での事業予定等について ・4月の行事予定について ・その他（意見交換）
----------	--

オ 瀬戸田地域

開催日	内 容
6月1日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度世帯会費及び戸別共同募金について ・地区社協平成29年度事業報告書・決算書及び平成30年度事業計画書・予算書の提出について ・各種社協事業関係の説明 ・地区社協指定事業について ・生活支援体制整備事業の受託について
7月9日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老会について ・生活支援体制整備事業について
10月1日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老会の事業完了届について ・第47回おのみち福祉まつりについて ・平成30年度尾道市社会福祉大会について ・共同募金について ・生活支援体制整備事業について
3月14日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度共同募金の実績、配分状況の報告について ・平成30年度生活支援体制整備事業（住民説明会）の実施報告について ・平成31年度ふれあいいいきサロン日程について ・ボランティア保険について

④ 地域活動研修会

ア 向島地区まちづくり花街道整備事業

花ボランティア「ほほえみ」の協力により、「花いっぱい！笑顔いっぱい！」運動を展開した。6月と11月に花を植え、年間を通じて草取りや水やりを行った。

イ 瀬戸田地区地域活動講座

○寄り添いサポーターフォローアップ研修の開催

平成29年度から、生口島地域ケア連絡協議会・南部地域包括支援センターと協力し、誰もが可能な限り住み慣れた地域で安心して人生の終焉を迎えることが出来るよう、看取りについて学ぶ「看取り講演会」を開催し、本年度で2年継続開催している。

さらに今年度、本会主催で現ボランティアのフォローアップを目的に研修会を開催した。

開催日	内 容	参加者
3月19日(火)	寄り添いサポーターフォローアップ研修 「廿日市における『くらしの中の看取り』準備講座に学ぶ 講師 (社福)聖ヨハネ会桜町病院 ホスピス科・在宅診療部長 医師 大井 裕子さん	27名

ウ 地域づくり講演会

地域福祉活動の推進を図るため、地域づくり講演会を開催した。

開催日	内容	参加者
5月12日(土)	地域づくり講演会 「ボランティア する側 される側、支援する側から 見たボランティア事情」 ～楽しく、元気な人生のために～ 講師 広島経済大学経済学部スポーツ経営学科 准教授 中村 隆行さん	73名

⑤ 社協型活動総合推進事業（小地域お茶の間づくり）《継続》

週1回開設する常設サロン運営の中から、生活課題に気づき解決をしていくため、毎月第1火曜日に定例会議の「にこにこ会」を開催し、地域住民が日常生活でどのような困りごとを抱えているか、どのような解決方法があるか話し合いを行っている。また常設サロンが拠点となる場づくり、地域づくりができることをPRしている。

実施地域	御調地域[にこにこサロン]
事業内容	地域の課題や個別課題の把握 平和学習視察（広島市） サロンのない地域へ出前サロンを実施 にこにこ食堂の開催（簡単調理と交流昼食会） 公民館運営委員会への出席

⑥ 小地域ささえあいネット活動推進事業（瀬戸田町高根地区買い物支援の取り組み）

平成 29 年度に続き、県社協の小地域ささえあいネット活動推進事業を受け、瀬戸田町高根地区買い物支援に取り組んだ。“住みやすい高根をつくる会”の会員 9 名で「サロン送迎型」（自家輸送）という形で、平成 30 年 4 月第 2 日曜日から開始した。月平均 5 名の方が利用され、サロンに集まることで買い物だけでなく、話をする楽しみにもつながっている。

⑦ 地区社協事業（自主事業）の紹介

市内の 63 地区社協でそれぞれ自主事業の取り組みが行われた。住民全体を対象とした事業のほか、高齢者支援、子育て支援などにも積極的に取り組んだ。

- ・ 27 地区で地区社協だより等を発行し、広報活動を行った。
- ・ 関係団体と協力して、47 地区で福祉健康まつりや地域のイベント（夏まつり、スポーツ大会、盆おどり等）を開催し、地域の交流とふれあいを図った。また、全市的な大会やまつりなどにも参加した。
- ・ 28 地区で、地区のひとり暮らしや寝たきりの高齢者を対象に、配食サービスや食事会、交流会や講演会などを行った。
- ・ 22 地区で男性料理教室を開催し、生きがい対策に努めた。
- ・ 51 地区で、子ども料理、クリスマス会、手芸教室、茶道教室、文庫貸出等、子育てに関する取り組みが行われた。
- ・ 46 地区で防犯パトロール等を、年間を通じて実施した。
- ・ 15 地区で防災訓練等、災害時の対策を行った。

(2) ふれあいサロン事業

ふれあいサロンは今年 173 カ所で行った。サロンの立ち上げや開催にあたり、サロン支援員による支援や専門講師派遣の充実を行った。旧尾道地域 38,797 名、御調地域 4,415 名、向島地域 8,469 名、因島地域 14,109 名、瀬戸田地域 4,150 名、合計 69,940 名がふれあいサロンに参加した。

① 専門講師派遣事業

各サロンに対し、年 3 回の専門講師を派遣した。内訳は、音楽指導 87 回、折紙指導 11 回、歯科指導 5 回、栄養指導 14 回、絵手紙指導 28 回、運動指導 119 回、お手玉指導 10 回、認知症サポーター養成講座 16 回、南京玉すだれ指導 12 回、ちんどん指導 21 回、メディカルアロマ指導 11 回、プリザーブドフラワー指導 17 回、チョークアート指導 8 回の計 359 回である。これによりサロン活動の幅が広がり、趣味や交流のプログラムだけではなく、認知症予防・介護予防を促すことができた。また、シルバーリハビリ体操指導士がサロンへ出向き、体操指導を行った。

種 類	講 師 名
運動指導	吉田深雪さん、田中悦子さん、嶋田萌菜さん、宮地敏恵さん、幡地玲子さん、冠亜矢さん、杉原ともみさん、延廣陽子さん
認知症サポーター養成講座	尾道市認知症キャラバン・メイト連絡会
音楽指導	じゃんじゃん、福山ピアノプラザ指導員 村上清美さん、シルバー人材センター民謡同好会、 宮本孝子さん、柏原美保子さん
歯科指導	吉原広枝さん
栄養指導	NB会
折紙指導	仁井谷孝一さん
絵手紙指導	高畦八重子さん、因島あおかげの会
お手玉指導	お手玉フレンド
南京玉すだれ指導	お笑いの会、笑おう会
バルーンアート指導	杉原潔さん
メディカルアロマ指導	田中早苗さん
ちんどん指導	尾道お笑いちんどんクラブ
チョークアート指導	大原郁香さん
プリザーブドフラワー指導	ひろひろ

② サロンへの支援

ア 新規サロンの立ち上げ支援

吉和地区「いきいきサロン吉和」を次年度立ち上げに向けて話し合いをもった。

イ 郊外サロンの支援

バスなどを利用して郊外に出かけたサロンは 119 サロンであった。郊外サロンは気分も変わるため、参加者同士の交流やリフレッシュにもつながっている。

ウ 支援体制

支援員は年間に 120 回、各サロンに出向き、レクリエーション指導だけではなく、身近な情報なども発信した。旧尾道地区に偏らないように各地域のサロンを訪問し、ニーズに応じた支援を行った。

エ ふれあいサロン研修会

ふれあいサロン研修会を年通算 5 会場で行った。1 回目は 6 月 29 日に尾道市総合福祉センターで保健師による心と身体の健康を保つ講話、6 月 27 日に因島総合福祉保健センターで岡本真さんのボールコミュニケーションを体験し、各会場で今年度の支援体制を説明した。2 回目は 2 月、3 月に 3 地域に分かれて今年度のまとめ、来年度の支援体制などについて説明するとともに、ニーズや課題などの把握をした。今回は、各会場でグループワークによる意見交換を行った。

[成果]

- ・ 地区社協の事業として、小さな単位でサロンを開催することにより、地域のつながりが強くなった。また、啓発効果により開催回数も少しずつ増加している。

[課題]

- ・ サロン参加者が定着化する一方で、新規参加者の増加が難しい。
- ・ サロンボランティアの後継者がなかなか育たない。

ふれあいサロンの開催状況一覧

〔旧尾道地域でのふれあいサロン開催状況〕

(名)

地区・町内会	サロン名	開催場所	実施団体名	開催回数	参加人数	
山波	全 域	いきいきサロン	山波公民館	山波地区社協	毎月1回	541
	今免北	ふれあいサロンピーチ	星の里 山波の家	山波地区社協	毎月1回	164
	東谷	ふれあいサロンきぼう	山田恵子さん宅	東谷町内会	毎月1回	125
新 高 山		あじさいの集い	いきいきサロン新高山	新高山地区福祉調整委員会	毎月1回	304
		さくらんぼ	いきいきサロン新高山	新高山地区社協	毎月1回	438
久保	全 域	さくら会	いきいきサロン久保・いきいきサロン防地	久保地区社協	毎月1回	482
	防 地	ひだまり防地	いきいきサロン防地	久保地区社協	毎月1回	175
	大 宮	フレンド大宮	いきいきサロン久保	大宮クラブ	毎月2回	601
	全 域	お茶の間サロン	いきいきサロン防地	久保地区社協	毎月1回	208
	旭ヶ丘・黄谷	旭ふれあいサロン	人権文化センター	旭ヶ丘・黄谷町内会	毎月1回	397
	旭ヶ丘	ひだまり旭ヶ丘	旭ヶ丘団地集会所	旭ヶ丘町内会	毎月1回	423
	全 域	みんなの家	みんなの家	みんなの家	毎週2回	217
筒 湯		筒湯ふれあいサロン	いきいきサロン筒湯	筒湯地区保健推進委員会	毎月1回	567
		サロンひなたぼっこ	いきいきサロン筒湯	筒湯地区社協	毎月1回	250
長 江	長 江	ながえの集い	長江公民館	長江地区社協	毎月1回	698
	長江中	南人子さんとこ	南人子さんとこ	長江中町内会	毎月1回	171
	和加礼・長江北	榎ヶ峰ふれあいサロン	いきいきサロン榎ヶ峰	和加礼・長江北町内会	毎月1回	319
		荒神堂サロン	荒神堂サロン	尾道市ボランティア連絡協議会	火曜日～金曜日	2500
栗 原	向 峠	向峠なかよしサロン	いきいきサロン向峠	向峠なかよしサークル	毎月1回	540
	潮 見	さくらふれあいサロン	潮見会館	下組北町内会	毎月1回	90
	竹 屋	竹屋ほほえみサロン	竹屋会館	竹屋保健推進委員会・民生委員	毎月1回	249
	本通り第二	ふれあいサロンもみじ	いきいきサロン栗原	栗原本通第二町内会	毎月1回	188
	川 上	川上さくらんぼ会	川上公民館	川上保健推進委員・女性会	毎月1回	67
	向 山	いきいきサロンひまわり	向山クラブ	向山町内会	毎月1回	187
	門 田	門田ほほえみサロン	門田コミュニティセンター	門田町内会	毎月1回	357
	門 田	にこにこクラブ	門田コミュニティセンター	門田地区民生委員	毎月2回	633
	竜王台	おほなの竜王台	竜王台集会所	竜王台町内会	毎月1回	136
	久山田	久山田ふれあいサロン	久山田公民館	久山田町内会	毎月1回	482
	則 末	則末ふれあいサロン	栗原公民館	則末連合町内会	毎月1回	412
	本通り第三	ふれあいサロンわかば	いきいきサロン栗原	栗原本通り第三町内会	年間3回	69
栗原北	三美園団地	三美園団地ふれあいサロンひだまり	いきいきサロン三美園	三美園団地自治会	毎月1回	329
	竹屋団地	竹屋団地ふれあいサロン会	竹屋団地集会所	竹屋団地女性会	毎月1回	319
	大迫団地	大迫団地ふれあいサロン	栗北公民館	大迫団地町内会	毎月1回	255
	三美園住宅自治会	ふれあいサロン気楽	三美園団地住宅自治会集会所	三美園住宅自治会	毎月1回	193
	松 岡	松岡サロン	いきいきサロン栗原北	松岡町内会	毎月1回	70
	三成ヶ丘	ふれあいサロン三成ヶ丘	三成ヶ丘町内会集会所	三成ヶ丘町内会	毎月1回	319
	松岡団地	ふれあいサロン松岡団地	松岡団地集会所	松堂会	毎月2回	544
日比崎	天満・下組南・本通り第1	ふれあいサロンさくら	日比崎公民館	日比崎地区社協	年間6回	56
	三軒家南、北・若宮	ふれあいサロンぼたん	日比崎公民館	日比崎地区社協	年間6回	127
	吉浦、巖通、新浜東、西之華	ふれあいサロンクローバー	日比崎公民館	日比崎地区社協	年間6回	135
	全 域	松ぼっくり	松ぼっくり	松ぼっくり	週2回	850
		モリンガ	モリンガ	モリンガ	週3回	776
	平 原	平原はつらつサロン	平原コミュニティセンター	平原町内会	毎月1回	455

吉和	全 域	ふれあいサロン吉和	吉和公民館	吉和地区社協	毎月1回	407
	新 浜	いきいきサロン新浜	いきいきサロン新浜	新浜町内会	毎月1回	183
	高 頭	高頭ふれあいサロン	高頭公民館	高頭町内会	毎月1回	181
三 成	全 域	ふれ愛サロンふじい川	才原なごみ館・大迫公民館・山方公民館ほか	三成地区社協	毎月1回	492
	才 原	健康づくりサロン才原	才原なごみ館	健康づくりサロン才原	毎週1回	2332
	白 江	白江健康サロン	白江公民館	白江町内会	毎週1回	1126
	下組・猪子迫	三成なかよしサロン	いきいきサロン三成	下組町内会・猪子迫町内会	毎月1回	223
木 頃	中 野	仲良しクラブ	いきいきサロン木頃	仲良しクラブ	毎週1回 ※農繁期は休	428
	本郷下組	あやめサロン	いきいきサロン藤井川	本郷下組町内会	毎月1回	128
木 ノ 西	上 中	上中ふれあいサロン	いきいきサロン木ノ庄西	上中町内会	毎月1回	163
	石 畦	石畦ふれあいサロン	石畦ふれあいクラブ	石畦町内会	毎月1回	222
	畑	畑ふれあいサロン	いきいきサロン畑	畑町内会	毎月1回	174
	木ノ庄東	木ノ庄東ふれあいサロン	木ノ庄東公民館	木ノ庄東地区社協	毎月1回	316
原 田	小 原	ふれあいサロン小原	いきいきサロン小原	原田地区社協	毎月1回	186
	梶山田	ふれあいサロン梶山田	J A原田支所	原田地区社協	毎月1回	173
高 須	全 域	鶴羽会	東部公民館	高須地区社協	毎月2回	315
		高須男性サロン	太田ふれあい館ほか	高須男性サロン	毎月1回	107
	太 田	太田ふれあいサロン	太田ふれあい館	太田町内会	毎月1回	357
	横 路	およねサロン	横路公民館	横路町内会	毎月1回	343
横 浜	よこばサロン	横浜公民館	横浜町内会	毎月1回	207	
西 藤	西藤のつどい	福田ふれあい館	西藤地区社協	毎月1回	341	
浦 崎	戸 崎	戸崎いきいき手城会	戸崎区クラブ	戸崎区	毎月1回	248
	上 組	ふれあいサロン上組	上組区クラブ	上組区	毎月1回	370
	下 組	サロン住吉	下組区クラブ	下組区	毎月1回	328
	灘	いきいきサロンなだ	灘区クラブ	灘区	毎月1回	599
	満 越	満越いきいきサロン	満越クラブ	満越区	毎月1回	210
	新 田	新田ふれあいサロン	新田区クラブ	新田区	毎月1回	244
	海 老	海月ふれあいサロン	海老公民館	海老区	毎月1回	202
	高 尾	いきいきサロン高尾	高尾公民館	高尾区	毎月1回	258
向 東	矢 立	ふれあいサロン矢立	矢立クラブ	矢立町内会	毎月1回	713
	彦ノ上一区	ふれあいサロン彦一	彦ノ上児童館	彦ノ上一区	毎月1回	340
	彦ノ上二区	ゆうゆうサロン彦二	彦ノ上児童館	彦ノ上二区	毎月1回	170
	彦ノ上三区	ふれあいサロン彦の上三区	彦ノ上児童館	彦ノ上三区	毎月1回	1034
	肥 浜	ふれあい、イキイキ「サロン」ひばま	肥浜公民館	肥浜区	毎月1回	208
		ふれあいサロンスマイル	肥浜公民館	肥浜区	毎月1回	103
	谷 水	ふれあいサロン谷水	谷水公民館	谷水区	毎月1回	197
	堤	ふれあいサロン堤	堤区集会所	堤区	毎月1回	815
	森 金	ふれあいサロン森金	森金公民館	森金区	毎月1回	275
	寺 内	寺内ふれあいサロン	寺内公民館	寺内区	毎月1回	250
	新 開	ふれあいサロン「しんがい」	新開公民館	新開区	毎月1回	595
	天女浜	ゆうゆう天女	天女浜公民館	天女浜区	毎月1回	476
	歌	ふれあいサロン歌	歌公民館	歌区	ほぼ毎日	4947
	大 町	コミュニティ大町	大町公民館	大町区	毎月1回	230
古江奥	古江奥ふれあいサロン	古江奥公民館	古江奥区	毎月1回	149	
才 越	才越ふれあいサロン	才越公民館	才越区	毎月1回	206	
古江浜	ふれあいサロンひといき	古江浜公民館	古江浜区	毎月1回	402	
百 島	「やすらぎのつどい」	いきいきサロン百島	百島地区社協	年間7回	483	

〔御調地域でのふれあいサロン開催状況〕

(名)

地区名	サロン名	開催場所	実施団体名	開催回数	参加人数
菅野	菅野地区ふれあいサロン	菅野公民館	菅野地区社協	年間6回	81
	仁野ハッピースマイル会	仁野福祉会館	仁野ハッピースマイル会	毎月1回	194
	大塔タンポポ	大塔集会所	大塔タンポポ	毎月1回	183
上川辺	上川辺地区ふれあいサロン	上川辺公民館	上川辺地区社協	概ね月1回	294
	ふれあいサロン三郎丸	三郎丸集会所	ふれあいサロン三郎丸	毎月1回	178
	大蔵ふれあいサロン睦会	大蔵集会所	上川辺地区社協	毎月1回	151
市	市地区ふれあいサロン	市公民館	市地区社協	概ね月1回	419
	平なごみ会	平集会所	なごみ会	概ね月1回	131
	すみれ会江国	江国公会堂	すみれ会	毎月1回	253
河内	河内地区ふれあいサロン	河内公民館	河内地区社協	年間6回	93
	大田ふれあいサロンひまわり	いきいきカフ大田	大田地区	毎月1回	188
今津野	きらく会	今津野公民館	今津野地区社協	概ね月1回	308
	サロンうぐいす	川西集会所ほか	今津野地区社協	毎月1回	246
綾目	綾目ふれあいサロン	綾目公民館	綾目地区社協	概ね月1回	298
	まんさく	上小山田集会所	上小山田振興区	毎月1回	118
大和	大和地区ふれあいサロン	大和公民館	大和地区社協	毎月1回	268
	下山田ふれあいサロン	下山田集会所	下山田振興区	毎月1回	114
全域	にこにこサロン	市公民館	にこにこサロン	毎週1回	898

〔向島地域でのふれあいサロン開催状況〕

(名)

地区名	サロン名	開催場所	実施団体名	開催回数	参加人数
兼吉	兼吉サロン	兼吉やすらぎ荘他	兼吉地区社協	毎月1回	483
江奥	文化サロン絵手紙	植條公民館	江奥地区社協	毎月1回	2697
	文化サロン囲碁	柏原公民館	江奥地区社協	毎週2回	
	文化サロン書道	奥山公民館	江奥地区社協	毎月2回	
	イキイキ広場	江奥公民館	江奥地区社協	毎月1回	267
	紫竹会の集い	柏原公民館・奥山公民館・烏帽子公民館	江奥地区社協	概ね月1回	114
東富	東富浜3区いきいきサロン	東富浜3区コミュニティセンター	東富3区	年間7回	241
東富	にこやかふれあいサロン	東富浜公民館	東富浜1区、2区	年間6回	226
小歌島	さざなみ	小歌島公民館	小歌島地区社協	毎月1回	200
中富	ふれあいいきいきサロン「なかよし会」	中富コミュニティセンター	中富地区社協	毎月1回	498
西富浜	西富浜サロン	西富浜公民館	西富浜地区社協	毎月1回	360
田尻	田尻ボランティア	田尻公民館	田尻地区社協	毎月1回	61
土井	いきいきサロン	土井公民館	土井地区社協	毎月1回	124
宇立	宇立いきいきサロン	宇立公民館	宇立地区社協	毎月1回	282
	サロンなかよしこよし	宇立公民館	宇立地区社協	毎月1回	223
有道	有道いきいきサロン	有井公民館	有道地区社協	毎月1回	140
津部田	津部田地区ふれあいいきいきサロン	津部田コミュニティセンター	津部田地区社協	毎月1回	276
岩子島	めだかの学校	めだかの学校	めだかの学校	月火水金	2111
立花	立花いきいきサロン	立花公民館	立花地区社協	毎月1回	209

〔因島地域でのふれあいサロン開催状況〕

(名)

地区	サロン名	開催場所	実施団体名	開催回数	参加人数
土 生	へんろ茶屋	へんろ茶屋	ボランティア楽生会	ほぼ毎日	6171
	脳刺激さくら会	土生公民館	ボランティアさくら会	毎月1回	475
	語ろう会	安郷区民館	安郷区老人会	毎月1回	147
	塩東すみれ会	いきいきサロン土生南	塩東区女性会	毎月1回	164
	すずの会	郷区会館	すずの会	毎月1回	243
	ふれあいサロン・ニコニコ会	江の内区県営住宅集会所	ふれあいサロン・ニコニコ会	毎月1回	262
	土生健康サロン	土生公民館	土生健康サロン	毎月2回	643
田 熊	さわやかホーム	田熊公民館	田熊地区社協	毎月1回	390
	サロンすみれ会	田熊公民館	因島地区田熊愛育会	毎月1回	372
	ひよこ会	竹長区民会館	ボランティアひよこ会	毎月2回	339
	サロン絆	金山区民館	サロン絆	毎月1回	132
	サロンなごみ	西区区民館	サロンなごみ	毎月1回	228
三 庄	三庄サロン	三庄公民館	三庄女性の会愛育部	毎月1回	302
	サロン棕浦	いきいきサロン棕浦	三庄地区社協	毎月1回	223
	千守サロン	三庄町1区地藏堂	三庄地区社協	毎月1回	426
	8区愛互会サロン	三庄町8区区民会館	三庄町8区	毎月2回	132
	九区サロン	三庄町9区集会所	九区サロン	毎月1回	230
中 庄	ふれあいサロン「たんぼぼ」	中庄公民館	保健推進員	毎月1回	558
	ふれあいサロンあじさい	中庄町新開研修所	ふれあいサロンあじさい	偶数月	362
	西浦地区ポプラの会	因島西浦ふれあい館	西浦地区ポプラの会	毎月1回	96
	ふれあいサロンコスモス会	蘇功区民館	ふれあいサロンコスモス会	偶数月	260
	ふれあいサロン丸池	丸池集会所	ふれあいサロン丸池	奇数月	123
	サロン外浦	外浦町集会所	サロン外浦	偶数月	188
	サロン室陣	室陣集会所	サロン室陣	毎月1回	353
重 井	喜楽会	重井公民館	因島地区重井愛育会	毎月1回	138
	つどいの家	つどいの家	重井地区社協	毎月1回	157
	すこやかサロン	因島ふれあいセンター	すこやかサロン	毎月1回	205
大 浜	ラビット	大浜公民館	大浜地区社協	毎月1回	117
	大浜おしゃべり会	大浜公民館	大浜地区社協	毎月1回	182
東生口	東生口地区カモメ会	因島洲江ふれあい館	東生口カモメ会	毎月1回	100
	レディサロン	いきいきサロン東生口	東生口地区保健推進員	毎月1回	170
	ドリームサロン	いきいきサロン東生口	ドリームの会	毎月1回	221

〔瀬戸田地域でのふれあいサロン開催状況〕

(名)

地区	サロン名	開催場所	実施団体名	開催回数	参加人数
名 荷	名荷 桃の会	名荷公民館	名荷地区	毎月1回	265
林	いきいきサロン	林公民館	林輪会	毎月1回	261
中 野	つくし会	中野集会所	中野地区	毎月1回	199
鹿田原	鹿田原ふれあいサロン	鹿田原集会所	鹿田原地区	毎月1回	163
沢	沢ふれあいサロン	沢公民館	沢地区	毎月1回	213
瀬戸田	微助っ人	瀬戸田光照苑	微助っ人会	毎月1回	314
高 根	高根ふれあいサロン	高根潮香園	高根地区	毎月1回	315
福 田	港福いきいきサロン	福田たちばな荘	福田地区	毎月1回	312
垂 水	なでしこ会	垂水垂幸園	垂水地区	毎月1回	215
田高根	ふれあいなぎさサロン	田高根なぎさ園	田高根地区	毎月1回	326
荻	荻 福々会	荻南風園	荻地区	毎月1回	211
宮 原	ほのぼの会	宮原開発センター	宮原地区	毎月1回	156
御 寺	レインボー	御寺母子センター	御寺地区	毎月1回	263
瀬戸田	喫茶 ショロン	喫茶ショロン	ボランティア元気会	毎週2回	937

(3) 生活福祉資金貸付事業

広島県社会福祉協議会との連携により、低所得者、高齢者、障害者等の自立を目的として、必要な相談支援および生活福祉資金の申請を受け付けた。また、複合的な課題を抱え、貸付のみでは解決に至らない相談者に対しては、生活困窮者自立支援事業を行う「くらしサポートセンター尾道」と連携し、相談者により適切な支援を提供することに努めた。

相談件数	52 件
貸付件数	5 件

(4) 福祉サービス利用援助事業「かけはし」

障害などによって判断能力が不十分な方に対して、福祉サービス利用手続きの援助や代行、日常的な金銭管理の援助、通帳の預かり等の支援をした。関係機関にもこの事業が周知され、役割の重要性が期待されてきている。

専門員、生活支援員のスキルアップを図るため、生活支援員等スキルアップ研修へ参加した。今後も複雑な課題を抱えた相談や世帯支援の必要性も考えられるため、一人ひとりにあった支援を迅速に提供し、関係機関との情報交換や支所との連携を深め、契約締結審査会等も有効に活用して相談機能を強化していきたい。

① 相談・支援状況

問い合わせ・契約者対応件数・・・7,483 件			
契約終了者	新規契約者	利用者（内生活保護）	生活支援員
14 名	15 名	65 名（20 名）	31 名
利用者内訳	認知症 9 名、知的障害 33 名、精神障害 19 名、その他 4 名 旧尾道地域 37 名、向島地域 8 名、御調地域 7 名、因島地域 11 名、瀬戸田地域 2 名		

② 研修会等

「かけはし」生活支援員等スキルアップ研修 会場：府中市保健福祉総合センター

開催日	内 容	参加者
【第 1 回】 9 月 7 日（金）	「支援に役立つコミュニケーション」 講師 まつたに社会福祉士事務所 社会福祉士 松谷恵子	6 名
【第 2 回】 9 月 18 日（火）	「障害特性の理解と具体的な対応」 講師 広島県立総合精神保健福祉センター職員 医師	8 名

③ 関係機関との連携

関係機関が開催する次の会議等に定期的に参加し、事業の周知を図り情報交換・スキルアップを行った。

- ・ 福祉サービス利用援助事業専門員連絡会議
- ・ 福祉サービス利用援助事業中国ブロック研修会

(5) 法人後見事業

法人後見人として5件受任。成年被後見人が安心した生活が送れるよう支援を進めている。

○ 受任件数

補助	保佐	後見	法人後見支援員
0名(件)	1名(件)	4名(件)	6名
利用者内訳	認知症高齢者1名、知的障害者2名、精神障害者1名、その他1名		
	旧尾道地域4名、因島地域1名		
延べ支援回数	専門員：銀行支援回数29回、訪問回数49回、電話対応回数225回、ケア会議・同行・窓口対応等179回 支援員：銀行支援回数50回、訪問回数53回、電話対応回数0回、ケア会議・同行・窓口対応等6回		

○ 新規受任件数・終了件数

内訳	後見等新規受任件数(件)				後見等終了件数(件)				
	後見	保佐	補助	計	後見	保佐	補助	計	終了理由
	1	1	0	2	1	0	0	1	死亡1件

平成30年4月24日法人後見受任検討会議(被後見人候補者2名)

- 関係機関との連携やスキル向上のため、次の研修会や会議等に参加した。
 - ・ 平成30年度家事関係機関との連絡協議会(広島家庭裁判所主催)
 - ・ 広島家庭裁判所尾道支部との意見交換会(広島家庭裁判所尾道支部主催)
 - ・ 第18回成年後見制度推進団体連絡会議(広島県社協主催)
 - ・ 平成30年度成年後見制度実務者研修(広島県社協主催)
 - ・ かさおか権利擁護センター視察
- 一般市民対象に権利擁護や成年後見制度の周知・啓発のため2会場でセミナーを開催した。

共催 広島県社会福祉協議会、広島社会福祉士会

後援 尾道市高齢者福祉課、尾道市地域自立支援協議会

テーマ「自分らしく生きるために～こんな時どうする？くらしに役立つヒント～」

講師 新見公立短期大学 講師 佐藤 伸隆氏

尾道会場 9月6日(木) 13:30～15:00 参加者 120名

因島会場 9月10日(月) 13:30～15:00 参加者 68名

(6) 認知症高齢者見守り事業

在宅で暮らす認知症高齢者等や介護している家族に対し、専門的な知識をもつやすらぎ支援員を派遣し支援する事業。地域包括支援センターや居宅介護支援事業所と連携し、事業の周知を図るとともに支援を必要としている人の掘り起こしをおこなった。ニーズに合わせた支援を行うことで信頼関係を築き、高齢者、家族ともに心身のリフレッシュにつながった。また、新

たなやすらぎ支援員養成講座の開催とともにやすらぎ支援員研修会を定期的を開催し、やすらぎ支援員のスキルアップを図った。あわせて2カ月に1回偶数月に在宅介護者の集いを開催した。

区 分	旧尾道	向島	御調	因島	瀬戸田	合計
年間利用者数(人)	64	15	1	11	13	104
年間活動実績回数	683	185	6	117	150	1,141
登録やすらぎ支援員(人)	64	22	8	19	14	127

① やすらぎ支援員研修会

開催日	場 所	内 容
5月 15日(火)	総合福祉センター	H29年度事業報告、H30年度事業計画について 支援員同士の意見交換・交流会 参加者 23名
5月 21日(月)	瀬戸田福祉保健センター	H29年度事業報告、H30年度事業計画について 支援員同士の意見交換・交流会 参加者 17名
8月 3日(金)	総合福祉センター	傾聴の技法について 基本編① ～心によりそう聴き方講座～ 講師：臨床心理士 藤沢 真智さん 参加者 20名
8月 24日(金)	総合福祉センター	傾聴の技法について 練習編② ～心によりそう聴き方講座～ 講師：臨床心理士 藤沢 真智さん 参加者 24名
9月 14日(金)	総合福祉センター	傾聴の技法について 実践編③ ～心によりそう聴き方講座～ 講師：臨床心理士 藤沢 真智さん 参加者 20名
10月 12日(金)	総合福祉センター	認知症サポータースキルアップ研修 ～具体的事例を通して～ 講師：尾道市キャラバン・メイト連絡会 参加者 44名
3月 20日(水)	総合福祉センター	心が潤うハンドマッサージ&交流会 講師：NPO スキンヘルパー認定 ハンド&フットセラピスト 佐藤 恒子さん 参加者 35名

② やすらぎ支援員養成講座

開催日	場 所	内 容
8月 7日(火)	総合福祉センター	「尾道市の高齢者の現状と課題」 講師：尾道市高齢者福祉課 「事例発表」～やすらぎ支援員として活動して～ 講師：やすらぎ支援員 参加者 30名
8月 21日(火)	総合福祉センター	「回想法」 ～懐かしい記憶から引き出す生きがい、生きる力～ 講師：神戸女子大学健康福祉学部社会福祉学科 教授 津田 理恵子さん 参加者 53名

9月11日(火)	総合福祉センター	「認知症の基礎知識」～認知症の理解・接し方・予防～ 寸劇「キラキラ星の見える『ふる里』」・詩「手紙」 講師：尾道市認知症キャラバン・メイト連絡会 参加者 38名
9月11日(火)	総合福祉センター	「認知症高齢者見守り事業とは」「実習について」 講師：市社協地域福祉課 参加者 26名

③ 認知症講演会

開催日	会場	内 容 等
2月 23日(土)	総合福祉センター	認知症にやさしいまちづくり講演会 「住み慣れた地域で自分らしく暮らす」 ～認知症の人とともに考える～ 講師：三豊市立西香川病院院長 認知症疾患医療センター長 大塚 智丈先生 講師：認知症と診断を受けたご本人・三豊市立西香川 病院非常勤相談員 渡邊 康平さん 講師：渡邊康平さんの妻 渡邊 昌子さん 講師：三豊市立西香川病院社会福祉士 威能 洋一さん 参加者 200名

④ 在宅介護者の集い

開催日	場 所	内 容
4月24日(火)	総合福祉センター	「認知症について」 ～基礎知識・正しい対応について～ 参加者 11名
6月19日(火)	神勝寺温泉 福山	「温泉でリフレッシュ！！」 ～ほっと一息リフレッシュしませんか～ 参加者 19名
8月28日(火)	総合福祉センター	「改正介護保険制度について」 ～地域包括支援センターの職員に聞いてみよう～ 参加者 12名
10月30日(火)	総合福祉センター	「相続・遺言についての勉強会」 ～安心して人生最期を迎えるために～ 参加者 35名
12月 4日(火)	総合福祉センター	「クリスマス会」 ピアノとフルートのコンサート& お楽しみ交流会 参加者 25名
2月 26日(火)	総合福祉センター	「一年間の振り返り」～自分や家族の軌跡を振り返り、明日 への活力にしましょう～ 参加者 10名

[成果]

- ・ 新たなやすらぎ支援員を養成し、傾聴の技法やハンドマッサージの研修を通してスキルアップを図ることができた。
- ・ やすらぎ支援員が訪問を重ねることで、笑顔のなかった利用者が支援員の訪問を楽しみに待つようになり、生きがい感の向上に繋げることができた。また家族の話し相手として訪問することにより、介護者に心の余裕が生まれ笑顔が見られるようになった。
- ・ 2カ月に1回「在宅介護者の集い」を開催し、介護者の日頃のストレスを発散し、悩み

や思いを打ち明け、自分自身の介護について振り返る良い機会となった。

[課題]

- ・ 認知症や傾聴の技法に関する研修会を継続的に開催し、やすらぎ支援員としてのスキルアップを図るとともに、その力をオレンジメイトとして認知症カフェ開設等の地域支援につなげていく必要がある。
- ・ やすらぎ支援員やケアマネージャーとの情報交換を密に行い、今後もチームの一員としての視点を持てるよう、やすらぎ支援員を多面的にサポートしていく必要がある。

(7) 認知症サポーター養成事業

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを目指し、各地域で「認知症サポーター養成講座」を開催。認知症について正しく理解し認知症の人やその家族を見守り支援する「認知症サポーター」が 982 名誕生し、市内の認知症サポーターは合計 17,872 名となった。また、小・中・高・専門学校においても認知症サポーター養成講座に取り組み、552 名の学生サポーターが新たに誕生し、市内の学生サポーターは合計 4,943 名となった。

講座開催に向けては、その講師役となる「キャラバン・メイト」の連絡会を定期的に開催し、授業案検討・模擬授業・劇・紙芝居等の練習を行いスキルアップを図った。年間 41 講座（内スキルアップ講座 3 回）を開催し、そのうち年間 35 講座に寸劇やロールプレイを取り入れ、「尾道市認知症キャラバン・メイト連絡会」「尾道市認知症キャラバン・メイト連絡会因島グループ」としてチームで講座を担当し、受講者の心に響く講座となるよう工夫した。その活動が認められ「平成 30 年度認知症サポーターキャラバン報告会」にて、サポーター養成講座の開催回数（住民キャラバン・メイト部門）が全国 1 位であるとして、昨年度に引き続き 2 年連続全国キャラバン・メイト連絡協議会より全国表彰された。

キャラバン・メイトがオレンジカフェの開催やおのみち見守り訓練、ラン伴 2018、オレンジネットワーク会議、認知症にやさしいまちづくり講演会、オレンジカフェ連絡会等に積極的に関わった。また、おのみち見守りネットワーク徘徊等 SOS 情報メールや尾道市認知症サポーターのステッカーをアピールし、認知症の理解、普及啓発に努めた。

認知症サポーター養成講座終了後、『オレンジメイト』への登録を呼びかけ、年間 65 名の登録があり、オレンジカフェ等の活動に繋がっている。

① 認知症サポーター養成講座

尾道市内 41 カ所で開催（参照「開催一覧表」）

② キャラバン・メイト連絡会

開催日	内 容	参加者
4月 12日(木)	各地域での認知症カフェの取組について、実施予定の講座について、認知症カフェ推進事業について	13名
4月 20日(金)	キャラバン・メイト連絡会平成 30 年度総会に向け役員で検討	5名
5月 10日(木)	平成 30 年度総会開催及び定例会	18名
6月 14日(木)	第 37 回認知症の人と家族の会広島県大会、小豆島病院、認知症疾患医療センター公開講座参加について	12名
6月 21日(木)	北部圏域おのみち見守り訓練、高齢者役担当者イメージ共有	5名

8月9日(木)	各地域でのオレンジカフェ実施状況、実施予定の講座について、中央・東部圏域オレンジネットワーク会議振り返り	11名
8月29日(水)	第1回「講座部会」開催。オレンジメイト登録について	6名
9月13日(木)	各地域でのオレンジカフェ実施状況、実施済み講座振り返り、おのみち見守り訓練について	14名
10月3日(水)	実施済み・実施予定の講座について、ラン伴2018、南部圏域オレンジネットワーク会議振り返り	11名
11月8日(木)	各地域でのオレンジカフェ実施状況、講座形式について検討 西部圏域見守り訓練について、認知症サポーター活動モデル検討委員会参加報告	10名
12月13日(木)	実施予定講座について、圏域毎の見守り訓練振り返り、オレンジカフェ研修会振り返り、市社協会長表彰受賞報告	16名
1月11日(金)	各地域でのオレンジカフェの取り組み、認知症にやさしいまちづくり講演会について	10名
2月14日(木)	各地域でのオレンジカフェの取り組み、実施済み講座振り返り、平成30年度認知症サポーターキャラバン全国表彰について	12名
3月7日(木)	実施済み・実施予定の講座について、認知症サポーター活動モデル検討委員会参加報告、おのみち見守り訓練(防地)	14名
3月25日(月)	第1回「寸劇部会」開催。おのみち見守り訓練に向けて練習 尾道市長表敬訪問について	8名

【因島グループ】

開催日	内容	参加者
4月18日(水)	終了講座の振り返り、今後の養成講座について	6名
6月11日(月)	今後の実施講座について、認知症カフェオープンについて	7名
9月6日(木)	今後の養成講座について、ラン伴2018について	8名
12月10日(月)	講座振り返り、南部圏域オレンジネットワーク会議について	7名
3月6日(水)	来年度活動計画について、高根サロン見守り訓練について	4名

③ キャラバン・メイトスキルアップ研修

開催日	内容等	参加者
6月30日(土)	小豆島病院 認知症疾患医療センター 地域公開講座 講演：「住み慣れた地域で自分らしく暮らす」 ～認知症の人とともに考える～ 講師：三豊市立西香川病院 院長 大塚智丈 先生 当事者：三豊市立西香川病院 非常勤相談員 渡邊康平 氏 & 奥様 社会福祉士：三豊市立西香川病院 威能洋一 氏 会場：農業環境改善センター (イマージュセンター)	17名

④ 認知症啓発イベント参加

開催日	内容等	参加者
-----	-----	-----

9月23日(日)	世界アルツハイマーデー全国一斉街頭啓発活動 東部ブロック交流会 会場：尾道福屋前周辺一帯	30名
10月20日(土)	ラン伴2018ゴールイベント (本線ルート・しまなみルート・やまなみルートを走行) 「むかいしま健康福祉まつり」竹内裕氏講演会に参加 会場：尾道市民センター「むかいしまこころ」駐車場	300名

⑤ 認知症関係事業への参加協力

開催日	会場	内容等	参加者
6月21日(木)	三成地域	おのみち見守り訓練(はいかい模擬訓練) IN 三成 内容：大迫会館・才原なごみ館にて実施	90名
7月26日(木)	向島愛あいセンター2階会議室	第3回島内オレンジネットワーク会議(向島圏域) 内容：向島健康まつり・認知症カフェ等	50名
8月1日(水)	尾道市立市民病院新館4階大会議室	第2回オレンジネットワーク会議(中央・東部圏域) 内容：認知症初期集中支援チーム取り組み見守り訓練等	50名
9月11日(火)	大迫会館 和室	三成地区オレンジネットワーク会議(北部圏域) 内容：三成地区見守り訓練振り返り	25名
9月20日(木)	介護老人保健施設ピロードの丘2階研修室	第2回オレンジネットワーク会議(南部圏域) 内容：認知症初期集中支援チーム取り組み認知症カフェ等	40名
10月16日(火)	尾道市総合福祉センター2階会議室	第2回オレンジネットワーク会議(西部圏域) 内容：認知症初期集中支援チーム取り組み認知症カフェ等	30名
11月15日(木)	兼吉一番街	おのみち見守り訓練(はいかい模擬訓練) IN 兼吉 内容：兼吉地域にて実施	48名
11月18日(日)	ケアホーム長江	おのみち見守り訓練(ロールプレイ) IN 明德町内会 内容：ケアホーム長江室内にて実施	20名
11月19日(月)	浦崎地域	おのみち見守り訓練(はいかい模擬訓練) IN 浦崎 内容：浦崎公民館・浦崎郵便局・JA 浦崎支	50名

		店・オンリーワン浦崎店・信用組合 浦崎支店にて実施	
11月30日(金)	栗原地域	おのみち見守り訓練(はいかい模擬訓練) IN 栗原 内容:セブンイレブン西則末店・ドラック ストアひまわりにて実施	60名
1月19日(土)	星の里山波の家	おのみち見守り訓練(ロールプレイ) IN 山波 内容:星の里山波の家室内にて実施	40名
3月2日(土)	福山すこやかセ ンター2階地域 ケア会議室	日溜りの会 東部 内容:若年期認知症の本人とその家族の集 い	17名

⑥ 認知症サポーター認定所

認知症サポーター養成講座を実施していただいた小売店や事業所、認知症サポーターが経営する個人商店を認知症サポーター認定所として登録し、ホームページに掲載。

登録認定所数:178カ所

[成果]

- ・ ふれあいサロンや地域、職域、学校等で認知症サポーター養成講座を開催し、認知症について理解を深めることができた。また、尾道市認知症キャラバン・メイト連絡会としてチームで講座を担当し、心に響く認知症サポーター養成講座を実施することができた。
- ・ キャラバン・メイトがおのみち見守り訓練やオレンジカフェ、オレンジネットワーク会議、ラン伴2018等に積極的に参加し、認知症施策推進の一翼を担った。

[課題]

- ・ きめ細かい認知症サポーター養成講座を開催し、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを推進するとともに小地域でのネットワークを構築していく必要がある。
- ・ 各学校での認知症サポーター養成講座の開催を積極的に働きかけ、子どもの時から認知症について正しく理解し、高齢者を敬う心を養っていく必要がある。
- ・ 講座等をとおして登録いただいた「オレンジメイト」のスキルアップを図り、認知症カフェ等地域での活動支援に結び付くような働きかけをしていく必要がある。

[認知症サポーター養成講座 開催一覧]

回	地区	開催日	開催団体	開催場所	劇	参加人数*	キャラバン・メイト
1	尾	4月2日(月)	ふれあいサロンもみじ	いきいきサロン栗原	○	25 19	連絡会
2	御	4月20日(金)	御調町食生活研究グループ	市公民館	○	85 63	連絡会
3	向	5月12日(土)	西富浜サロン	西富浜塩田の里ふれあいセンター	○	39 10	連絡会
4	御	5月23日(水)	河内ふれあいサロン	河内公民館	○	24 7	連絡会
5	瀬	5月28日(月)	認知症勉強会 瀬戸田会場	福祉保健センター(瀬戸田)	○	44 21	連絡会
6	向	6月4日(月)	めだかの学校	めだかの学校	○	37 5	連絡会

7	尾	6月9日(土)	ふれあいサロンぼたん	日比崎公民館	○	38	13	連絡会	
8	向	6月12日(火)	ふれあいサロン谷水	谷水公民館	○	26	11	連絡会	
9	御	6月14日(木)	大塔たんぼぼ	菅野公民館	○	19	1	連絡会	
10	因	6月19日(火)	千守サロン	千守地蔵堂	○	38	4	連絡会(因島G)	
11	尾	6月26日(火)	西藤のつどい	福田ふれあい館	○	30	9	連絡会	
12	尾	6月30日(土)	高須地域	ベイタウン尾道	×	80	38	小林 富美子	
13	因	7月4日(水)	フレスタ因島店従業員	因島商工会議所	○	52	41	連絡会(因島G)	
14	御	7月5日(木)	大蔵ふれあいサロン睦会	大蔵集会所	○	19	9	連絡会	
15	尾	7月25日(水)	尾道福祉専門学校2年生	尾道福祉専門学校	○	18	12	連絡会	
16	瀬	8月27日(月)	高根サロン	高根集会所(潮香園)	○	41	5	連絡会(因島G)	
17	尾	9月11日(火)	やすらぎ支援員養成講座	尾道市総合福祉センター	×	38	22	松山 慎太郎	
18	御	9月22日(土)	星の里 今津野の家	星の里 今津野の家	○	16	7	連絡会	
19	尾	9月25日(火)	浦崎中学校3年生&教員&地域住民	音楽室	○	36	28	連絡会	
20	尾	10月4日(木)	高須小学校5年生&教員	音楽室	○	154	147	連絡会	
21	尾	10月12日(金)	やすらぎ支援員(スキルアップ)	尾道市総合福祉センター	○	42	0	連絡会	
22	因	10月15日(月)	外浦サロン	外浦集会所	○	38	30	連絡会(因島G)	
23	御	10月22日(月)	御調中央小学校6年生	6年生教室	○	48	43	連絡会	
24	尾	10月25日(木)	久保小学校4年生	生活科室	○	30	23	連絡会	
25	尾	11月1日(木)	尾道会場	尾道市総合福祉センター	○	28	11	連絡会	
26	因	11月8日(木)	因島高等学校福祉学科	因島高等学校	○	15	6	連絡会(因島G)	
27	瀬	11月19日(月)	中野サロン(スキルアップ)	中野公民館	○	24	0	連絡会(因島G)	
28	因	11月21日(水)	棕浦サロン(スキルアップ)	棕の里ゆうあいランド	○	25	0	連絡会(因島G)	
29	尾	12月19日(水)	フコク生命尾道営業所	フコク生命尾道営業所	×	13	10	小林富美子	
30	尾	1月12日(土)	尾道北高等学校	尾道北高等学校	×	52	52	木宮高代	
31	尾	1月19日(土)	星の里山波の家ピーチサロン	星の里 山波の家	○	40	12	連絡会	
32	尾	1月24日(木)	竹屋ほほえみサロン	竹屋会館	×	21	5	川原 奨二	
33	瀬	1月25日(金)	瀬戸田小学校3年生	瀬戸田小学校	○	64	55	連絡会	
34	瀬	1月25日(金)	瀬戸田小学校4年生	瀬戸田小学校	○	61	53	連絡会	
35	尾	2月5日(火)	三成小学校3年生	生活室	○	49	42	連絡会	
36	尾	2月9日(土)	よこばサロン	横浜公民館	○	16	6	連絡会	
37	因	2月12日(火)	ふれあいサロンあじさい	新開区研修所	○	38	4	連絡会(因島G)	
38	因	2月15日(金)	因島三庄ふれあいセンター	三庄公民館	○	22	14	連絡会(因島G)	
39	尾	2月19日(火)	尾道南高等学校2年生	尾道南高等学校	×	25	23	松山 慎太郎	
40	尾	2月28日(木)	尾道会場	尾道市総合福祉センター	○	37	19	連絡会	
41	尾	3月19日(火)	栗原小学校5年生	音楽室	○	109	102	連絡会	
				計		35	1,656	982	計

注. *参加人数の左は全数、右は内数で初めて参加した人数

(8) 認知症カフェ推進事業

平成 29 年度より新規事業として市より受託。昨年度末までに 16 カ所の認知症カフェが開設、今年度新規開設の 5 カ所を合わせると 21 カ所の開設となった。主催者内訳は、地域住民主催が 12 カ所、介護事業所主催が 5 カ所、医療機関主催が 4 カ所となる。

年間 221 回の認知症カフェを開催し、合計 4,806 名の参加があった。その内、3,578 名が実績助成金対象者に該当し、一人当たり 95 円の実績助成金を交付した。

① 認知症カフェへの支援

ア 新規認知症カフェの立ち上げ支援

年間 18 回開設検討会議等を開催し、東部圏域に「かぐら 浦崎カフェ」、南部圏域に「しまの輪カフェ」、南部圏域瀬戸田支所に「喫茶かたふじ」、向島圏域に「オレンジカフェこれから」、北部圏域に「ひかりカフェ」の合計 5 カ所が新規開設。また現在開設に向けて、北部圏域に「カフェ『集』」、向島圏域に「オレンジカフェひだまり」「オレンジカフェみにみに」の 3 カ所で開設検討会議を開催中。

名称	開設日	開催日	会場
かぐら 浦崎カフェ	4/ 3 (火)	第 1 火曜日	浦崎公民館
しまの輪カフェ	6/ 9 (土)	第 2 土曜日	彩りの家
喫茶かたふじ	6/11 (月)	第 2 月曜日	いきいきサロン高根 潮香園
オレンジカフェこれから	6/18 (月)	第 3 月曜日	めだかの学校
ひかりカフェ	3/27 (水)	第 4 水曜日	ひかり苑 リラックスルーム

イ 既存認知症カフェの支援

年間 58 回各認知症カフェに出向き、カフェの準備から運営・反省会等、開設運営方法等についての伴走支援を行った。また、参加者の緊急時への対応として「カフェ安心カード」を紹介し、参加者の安心・安全につながっている。

② 認知症カフェ運営推進会議

開催日	内容等	参加者
7 月 2 日 (月)	第 1 回 オレンジカフェむかいひがし運営推進会議 内容：半期の運営状況及び今後のカフェの取組について	9 名
3 月 4 日 (月)	第 2 回 オレンジカフェむかいひがし運営推進会議 内容：寺内カフェ開設について	9 名

③ 認知症カフェ研修会

開催日	内容等	参加者
8 月 30 日 (木)	赤十字健康生活支援講習短期講習 会場：瀬戸田町福祉保健センター 2 階和室	13 名
8 月 31 日 (金)	赤十字健康生活支援講習短期講習 会場：尾道市総合福祉センター 4 階集団指導室	31 名

④ 認知症カフェ連絡会

開催日	内容等	参加者
4 月 23 日 (月)	第 1 回東部圏域オレンジカフェ連絡会	17 名

	内容：尾道市認知症カフェの現状、意見交換・交流会 会場：高須東部公民館	
11月22日(木)	第3回尾道市オレンジカフェ連絡会 講演：「認知症カフェの役割について」 講師：認知症介護研究・研修仙台センター研修部長 東北福祉大学総合福祉学部専任講師 矢吹知之さん	89名

[成果]

- ・地域住民主催の認知症カフェは、認知症の方やその家族が居心地良くくつろげる場として、また虚弱・閉じこもりがちな人の居場所として、認知症をキーワードとした認知症の人にやさしい地域づくりの発信の場となっている。さらに、初期認知症と思われる人に支援者が早く出会う場となっている。
- ・医療介護の専門職主催による認知症カフェでは、その強みを活かした学習と相談機能の充実が図られている。
- ・認知症カフェ研修会や連絡会を通して、運営方法の振り返りや支援者同士の連携・つながりの強化、スキルアップを図ることができた。
- ・各圏域の地域包括支援センターとの連携が、充実した認知症カフェ開催に繋がっている。

[課題]

- ・地域住民主催、専門職主催といった、主催別の研修会を開催し、細やかに認知症カフェの意義・目的の共有を図っていく必要がある。
- ・認知症カフェスタッフとして、オレンジメイト等のスキルアップを図り、新規立ち上げに繋げていく必要がある。

[認知症カフェ開設一覧]

(名)

番号	カフェの名称 (主催団体)	開催日時	開催場所 (住所)	参加 人数
		参加費		
①	オレンジカフェ長江 (明徳町内会・ケアホーム長江)	第3日曜日 10:00~12:00	ケアホーム長江1階 (尾道市長江二丁目7-8)	130
		100円		
②	菜の花カフェ (オレンジメイト菜の花)	第3月曜日 10:00~12:00	小林宅 (尾道市高須町3794)	232
		100円		
③	とまり木カフェ (公立みつぎ総合病院地域包括連携室尾道市北部地域包括支援センター)	第4火曜日 13:30~15:30	御調保健福祉センター2階和室 (尾道市御調町市107-1)	187
		100円		
④	オレンジカフェ荒神堂 (尾道市認知症の人と家族の会)	第2金曜日 11:00~15:00	荒神堂サロン (尾道市土堂二丁目5-7)	161
		無し(昼食希望者は500円)		
⑤	オレンジカフェむいかいしま♥愛あい (オレンジメイト♥愛あい)	第4木曜日 10:00~12:00	向島愛あいセンター第1会議室 (尾道市向島町5888-1)	535
		100円		
⑥	オレンジカフェ福祉センター・友 (オレンジメイト・友)	第2水曜日 13:30~15:30	尾道市総合福祉センター2階 (尾道市門田町22-5)	383
		100円		
⑦	シニア・カフェ西しんがい	第2金曜日 13:30~15:30	西新涯西児童公園集会所	248

	(高須町西新瀬町内会)	100円	(尾道市高須町西新瀬)	
⑧	こころカフェ (医療法人社団はっぴねす)	第2木曜日 13:00~14:30 100円	こころ尾道駅前クリニック6階 (尾道市土堂一丁目11-6)	153
⑨	オレンジカフェむかいひがし (オレンジメイトむかいひがし)	第3月曜日 10:00~12:00 100円	向東公民館分館 会議室 (尾道市向東町8670-2)	559
⑩	やすらぎカフェ (尾道市医師会 介護老人保健施設 やすらぎの家)	月1回 無し	やすらぎの家 家族介護教室 (尾道市久保町1718)	170
⑪	ボランティア喫茶『ショロン』 (ボランティア元気会)	第4金曜日 13:00~15:00 無し	ボランティア喫茶 ショロン (尾道市瀬戸田町瀬戸田256)	165
⑫	オレンジカフェびんご倶楽部びんご茶屋 (有)ブレイクスルー びんご倶楽部)	第3土曜日 13:30~15:30 100円	びんご倶楽部 (尾道市因島三庄町3472)	160
⑬	因島医師会ピロードカフェ (一社)因島医師会)	第4土曜日 13:30~15:30 100円	ピロードの丘2階研修室 (尾道市因島中庄町1955)	437
⑭	耳をすませて (オレンジメイト茶話駄)	第2火曜日 13:30~15:00 100円	茶話駄宅 (尾道市御調町貝ヶ原72-2)	179
⑮	オレンジカフェおおいで (星の里・今津野の家)	第4金曜日 10:00~11:30 100円	星の里・今津野の家 (尾道市御調町津蟹611-4)	76
⑯	きららカフェ (きららポール尾道)	第3水曜日 13:00~14:30 100円	きららポール尾道 (尾道市十四日町59-8)	186
⑰	かぐら 浦崎カフェ (オレンジメイトかぐら)	第1水曜日 10:00~11:30 100円	浦崎公民館 (尾道市浦崎町2102-5)	205
⑱	しまの輪カフェ (しまの輪会)	第2土曜日 13:30~15:30 100円	彩りの家 (尾道市因島中庄町717-1)	155
⑲	喫茶かたふじ (オレンジメイトかたふじ)	第2月曜日 10:00~11:30 100円	いきいきサロン高根 潮香園 (尾道市瀬戸田町高根595)	145
⑳	オレンジカフェこれから (オレンジメイト岩子島)	第3月曜日 13:30~15:30 100円	めだかの学校 (尾道市向島町岩子島1498-1)	322
㉑	ひかりカフェ (福)原田ヒカリ会 高齢者総合ケアセンターひかり苑)	第4水曜日 14:00~15:30 無し	ひかり苑 リラックスルーム (尾道市原田町梶山田3609)	18

※ 平成31年3月現在／開設の早い順に記載

(9) 住民参加型ふれあいサービス事業

暮らしの中で、ちょっとした困りごとのある人（利用会員）とお手伝いできる人（サービス会員）が、近所同士でお互いに会員となり、お互いさまの気持ちで支え合う地域づくりを目指し、「住民参加型ふれあいサービス」を推進した。利用会員、サービス会員の双方向での利用料の授受とし、利用料は1時間700円、登録料は年間500円である。介護保険ではカバーしきれない家事援助（掃除、調理等）、通院の付き添い、話し相手の相談件数が多かった。サービス会員を通じて、利用会員の生活の状態やサービス状況の定期的な把握に努め、民生委員やケアマネジャーをはじめ、各関係機関等と連携を図った。

今年度は、サービスの周知・啓発のために、社協だよりへの掲載やサービス会員養成講座を実施した。その結果、今年度17名の新規サービス会員の登録があった。既存のサービス会員には、養成講座への出席やサービス会員を対象とした交流会への出席を通して、会員同士の交流をおこない、モチベーションの向上に繋がった。

① ふれあいサービス運用状況

サービス会員登録者	95名	サービス回数	3,678回
利用会員登録者	217名	サービス時間	5,327時間

② サービス会員交流会

開催日	内 容	参加者
10月24日(水)	サービス会員交流会（瀬戸田地区） ・ふれあいサービス実施状況の説明 ・参加者同士の情報交換	4名

③ ふれあいサービスサービス会員養成講座

開催日	内 容	参加者
1月25日(金)	ちょっと困っている方へお手伝いのコツ講座（御調地区） ・車イスの押し方、移乗の仕方 ・ハンドマッサージ ・買い物や掃除のポイント 講師：理学療法士、ハンドセラピスト、ヘルパー	8名
3月8日(金)	ふれあいサービスサービス会員養成講座（瀬戸田地区） ・ふれあいサービスについての説明 ・参加者同士の情報交換	9名
3月15日(金)	ふれあいサービスサービス会員養成講座（旧尾道・向島地区） ・産前産後のお母さんを支えるために ～知っておくと役に立つこと～ 講師：尾道市健康推進課 保健師、助産師 ・ふれあいサービスについての説明 ・サービス会員活動報告 ・参加者同士の情報交換	28名

(10) 介護器具等の貸し出し事業

介護保険の対象にならない方、障害者福祉制度の給付対象にならない方、盆や年末年始などで一時退院される方、旅行・運動会・ケガなどで一時使用される方などに介護器具の貸し出しをした。

器具の種類	本所	御調	向島	因島	瀬戸田	計
車椅子	120件	42件	46件	24件	58件	290件
ポータブルトイレ	6件	—	12件	—	3件	21件
チャイルドシート	13件	2件	5件	9件	12件	41件
つえ	2件	—	—	—	—	2件
計	141件	44件	63件	33件	73件	354件

(11) 福祉総合相談事業

専門相談（弁護士、元調停委員、司法書士、元公証人、社会福祉士を毎月各1回）を実施した。毎週月曜日はボランティアコスモスによる心の相談を実施。日常的には、本会職員が本所及び各支所で、市民の困り事や福祉相談に応じている。

〔福祉総合相談の実績〕

〔専門相談の実績〕

相談事項	件数	相談件数明細		内訳	件数	
		電話(件)	来訪(件)			内容
暮らし・住まい	生計	0	0	内訳	弁護士相談	44件
	日常生活	10	2		司法書士相談	18件
	年金	0	0		調停委員相談	7件
	職業・生業	4	4		元公証人相談	4件
	住宅	0	0		社会福祉士相談	5件
家族	家族	16	2		合計	78件
	離婚	7	0			
健康・医療	健康、衛生	11	2	心の悩みごと相談	41件	
	精神保健福祉	0	0			
法律	人権、法律	44	0			
	財産	22	0			
	事故	0	0			
福祉・教育	児童福祉・母子保健	0	0			
	教育・青少年	0	0			
	心身障害者(児)	0	0			
	母子・父子福祉	0	0			
	高齢者福祉	0	0			
	社会参加	0	0			
社協事業	生活福祉資金	103	76			
	かけはし	58	58			
	やすらぎ支援	64	4			
	ふれあいサービス	142	56			
	成年後見	5	0			
	その他の社協事業	0	0			
その他	0	0				
合計	486	204	282			

心の悩みごと相談員養成講座を開催し、51名が参加した。以後、8名がボランティアとしてコスモス会員に加入。併せて、既存の相談員も参加することでスキルアップを図った。

今年度は3回目の講座でコスモスの代表より心の悩みごと相談等の活動紹介をしていただき、参加者へ会員になった後の具体的な活動イメージを持っていただいた。また、4回目の講義では参加者同士の交流時間（約30分）を設け、既存のコスモス会員さんと交流していただき、入会しやすい雰囲気づくりができた。

次回開催時は、今回の講座を受けて新規会員になった方の声を、参加者に届けることができればより良いと考える。

日 時	内 容	講 師
1月9日(水)	傾聴基礎	臨床心理士 藤澤 真智さん
1月30日(水)	傾聴応用①	〃
2月27日(水)	傾聴応用②	〃
3月12日(火)	ボランティアに関心のある方へ向けた相談対応方法の紹介	社会福祉法人 尾道のぞみ会 瑠璃寮 生活支援員 梨和 晴奈さん

(12) 生活困窮者自立支援事業

さまざまな理由により経済的な面で生活に困っている方、働きたいけど働けない等不安を抱えている方の自立に向けた相談支援を行うため専門の相談員を配置。経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方を、関係機関と連携しながら生活の安定と自立に向けた自立相談支援、家計改善支援を実施した。また、本事業の広報・啓発を目的に市内全域の民生委員児童委員定例会議や関係者支援調整会議へ出席し周知活動を実施した。

相談対応実績		年間合計
相談対応件数（延べ件数）		2,256
(内訳)	電話相談・連絡	705
	訪問・同行支援	278
	面談	618
	所内会議	12
	支援調整会議（プラン策定）	12
	支援調整会議（評価実施）	20
	その他他機関との会議（支援調整会議以外）	29
	他機関との電話照会・協議	521
	その他	61
	不明	0
新規相談受付件数（総数）		227
プラン作成件数（総数）		15

就労支援対象者数（プラン期間中の一般就労を目標にしている）		12
法に基づく事業等 利用件数	住居確保給付金	0
	一時生活支援事業	0
	家計相談支援事業	3
	就労準備支援事業	0
	就労訓練事業	0
	自立相談支援事業による就労支援	7
その他	生活福祉資金等による貸付	0
	生活保護受給者等就労自立促進事業	5
就労者数（一般就労総数）		11
うち就労支援対象プラン作成者分		7

【成果】

今年度の新規相談対応件数は227件であった。生活困窮者の置かれた状況に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施した。自立支援事業においては、経済的な面だけでなく、長く失業している方や働いた経験がなく不安な方へ、ハローワークと連携し就労支援をおこなった。プラン作成や就労相談の結果、11名の就労が決定した。税金の滞納や債務の返済を計画的にできていない方に対して家計改善支援プランを作成し、継続的に支援を行った結果、定期的な返済が可能となった。また、家計管理が困難な方には福祉サービス利用援助事業「かけはし」へ繋ぎ、連携した支援を行い適切な家計管理をすることができた。ひきこもりの相談者に対しては、人と関わることから始めることを目的に今年度より「なごやかカフェ」を偶数月に開催し、参加することによって人とのつながりや自己肯定感を高めることや同じような状況・環境の仲間づくりを行うことができた。

その他、緊急一時的な食糧支援やフードバンク事業により、危機的な状況を回避し、生活の立て直しをすることができた。また、今年度より“くらしサポートセミナー”を実施し、当センターに相談の多い債務整理について講師を招き開催した。

【課題】

昨年度の課題としてもあがっていた生活困窮者自立支援事業の周知が不足していることへの対応として、市内全域の地区民生委員児童委員協議会の定例会に出席し広報活動を行った。また、広報誌材としてチラシだけでなく、各関係機関や民生委員をはじめとする地域で活動されている方向けにクリアファイル版チラシを作成した。ただし、まだまだ周知が十分とは言えないため、継続して課題として認識し取り組む必要がある。

相談者が抱える課題が深刻になる前に問題解決を図れるよう早期に相談対応ができる体制づくりを構築する必要がある。

一般市民等を対象に制度や事業についての幅広く周知を行うとともに、対象者が「制度の狭間」に陥らないように広く受けとめ、関係機関と連携を図りながら支援を行っていく試みとして実施した「くらしサポートセミナー」だが、新規事業ということもあり参加者が少な

かった。身近な生活課題を解決するヒントを得ることのできる機会として、しっかりとした周知活動を行っていく必要がある。

複合的な課題を抱えた相談者や困難な事例に対応できるよう相談員のスキル向上や相談員間での情報共有やスーパービジョンを行い、相談員がケースを一人で抱え込まない体制づくりが急務である。

【研修・その他】

- ・みらい福祉勉強会（尾道支所）（計3回）
- ・生活困窮者自立支援新任従事者研修会（広島県主催）
- ・平成30年度生活困窮者自立相談支援事業従事者研修 研修企画会議（広島県主催）
- ・平成30年度生活困窮者自立相談支援事業従事者研修 前期・後期（広島県主催）
- ・平成30年度生活困窮者自立支援事業担当者会議・研修（広島県社協主催）
- ・2018年度第13回KHJ全国大会 in 広島(NPO法人KHJ全国ひきこもり家族会連合会主催)
- ・平成30年度相談援助技術向上研修（広島県社協主催）
- ・家計改善支援事業従事者養成研修（前期）・相談支援員養成研修（後期）（厚生労働省主催）
- ・福祉部局と住宅部局の連携に関する研修会（広島県主催）
- ・尾道市自殺対策推進委員会（計1回）（尾道市主催）

(13) 生活支援体制整備事業

介護保険法改正に伴い、尾道市では平成29年度から介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）が始まった。この中で、高齢者の在宅生活をみんなで支える地域づくりとして生活支援体制整備事業を地域包括支援センターの圏域毎に受託している。

本会では、平成28年度から西部地域・南部（因島）地域包括支援センター圏域、平成29年度からは、北部地域・中央地域・南部（瀬戸田）地域包括支援センター圏域での事業を受託した。各圏域に生活支援コーディネーターを配置し、事業説明を行うとともに、県社協等主催による生活支援体制整備事業研修会等に参加し、地域のニーズや資源等の情報の取りまとめ、情報共有に努めた。地域住民、行政、社会福祉協議会、地域包括支援センター、社会福祉法人等が協働し、それぞれの強みを生かし、地域の支え合いの体制づくりを展開していくための基盤づくりを行っている。

西部圏域（日比崎地区社協、栗原北地区社協区域含む）では、西部地域包括支援センターと共催により、栗原北地区の役員を対象とした説明会を開催した（30名）。また、栗原・久山田地区社協では見守り事業に取り組んだ。

南部（因島）圏域では、南部地域包括支援センターとの共催で、田熊町、三庄町、外浦町、鏡浦町及び西浦地区で住民説明会を開催した。地区座談会（田熊町、大浜町）や単位老人クラブの会合などにも出向き、事業説明とあわせ地域課題や地域資源の把握に取り組んだ。

（11カ所、398人）はっさく交流館では、活動者へ向けて社会資源調査を行い、住民主体の居場所の把握にも努めた。

また、事例紹介の場として「地域づくりフォーラム」を開催。基調講演と3つの実践事例の発表を通して、支え合い活動の広がりを呼びかけた。

北部圏域（栗原北地区社協区域除く）では、北部地域包括支援センターと共催により、木ノ庄東地区、御調老人クラブ及び3カ所の地域づくり集会において、説明会を開催した。

（5カ所、112人）

中央圏域（日比崎地区社協除く）では、地区社協毎の会議に出席し、事業の理解促進に努めた。

南部（生口島・瀬戸田）圏域では、14地区社協すべてで説明会を開催した。また、6カ所のサロンでも説明会を行った。（17カ所、603人）

瀬戸田高根地区では、平成30年4月から「サロン送迎型」という形で買い物支援事業実施に取り組んだ。

生活介護・支援サポーター養成講座を木頃、市（御調）、河内地区で開催した。

[成果]

- ・ それぞれの地域の現状や課題が把握できた。
- ・ 地域の支え合い活動についての意識向上が図られた。
- ・ 地域の情報の共有を図り、各種団体の会議等に参加するなかで、新規サロンの立上げにつながった。

[課題]

- ・ 旧尾道地域については、生活実態に合った地域分割が必要である。
- ・ 行政からの個人情報への壁がある。
- ・ 地域役員の担い手不足及び高齢化。
- ・ 参加者は、高齢者や関係団体の役員の方が大半である。若い人たちは、地域活動とは疎遠になりがちである。若い方を取り込む方策が必要である。
- ・ 本事業を進めていくにあたり、行政との連携は不可欠である。また、各関係機関と連携し、役割分担のうえ進めていくことが求められる。

(14) おのみち福祉まつり等・尾道市社会福祉大会の開催

① 第47回おのみち福祉まつり

「助け合い・ささえあい・心を1つに福祉の輪!!」をテーマに開催。約1,200名の市民が参加した。

日時	10月21日（日） 9:30～15:00
場所	総合福祉センター
内容	○ オープニングアトラクション…友愛保育園 ○ ボランティア体験コーナー 点字、手話、朗読、要約筆記など恒例の体験コーナーは好評であった。 ハンディキャップ体験コーナーでは、車椅子体験、高齢者疑似体験により、多くの方にバリアフリーの認識を持っていただくきっかけとなった。 ○ 模擬店、即売会…15団体が出店 ○ マッサージコーナー

	<p>尾道市鍼灸マッサージ師会によるマッサージのサービスや健康相談。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 老人福祉センター・障害者福祉センター教室紹介 パネルや作品の展示やミニコンサート等を行い、福祉センター事業の多くを市民の方に知ってもらった。 ○ 子育て支援コーナー 親子で参加できるイベントを行った。また、授乳コーナーやオムツ交換コーナーを設置し、親子で楽しめるスペースも設けた。 ○ ふれあいサロンコーナー…サロン紹介のパネルの展示を行った。 ○ 災害ボランティアパネル展 平成30年7月に発生した西日本豪雨災害にて尾道も被災をした。その際に、尾道市災害ボランティアセンターが立ち上がった。その、活動紹介や災害発生時の対応について啓発をした。 ○ 作品展 保育所、高齢者、障害者施設等の作品(書・陶器・絵・小物・パネル等)展示 ○ イベント 「プラズマカーでよーいドン!!」、オカリナコンサート「みんなで楽しいコンサート」 ○ その他 軽食、喫茶、絵本の読み聞かせ、折り紙、安心住宅相談、など
--	--

② 尾道市社会福祉大会の開催

ア 尾道市社会福祉大会（場所：尾道市総合福祉センター）

永年にわたり福祉活動に功労のあった方や在宅で介護されている方を表彰し、引き続き、記念講演を行った。

日 時	11月20日（火）13：30～16：00
内 容	<p>1 福祉活動功労者及び介護者表彰及び感謝状の贈呈</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 尾道市市長感謝状 7名 ② 尾道市社会福祉協議会会長表彰 87名、2団体 <ul style="list-style-type: none"> 社会福祉協議会関係者 16名 社会福祉施設・団体関係者 33名 ボランティア 34名 ボランティア団体 2団体 介護者 4名 ③ 尾道市社会福祉協議会会長感謝状 <ul style="list-style-type: none"> 被災者支援功労者 2団体 高額寄付者 21名、8団体、匿名3件 災害義援金 31団体、匿名1件 <p>2 記念講演 「夢と絆」</p>

	<p>新潟産業大学経済学部准教授 蓮池 薫 氏</p> <p>拉致によって夢（自由に生きる人生）と、絆（家族や友人とのつながり）が奪われました。帰ってきてでも終わりではなく、夢と絆を取りもどすには時間が必要です。一刻も早い解決が必要と感じた講演となりました。</p> <p style="text-align: right;">（参加者 550名）</p>
--	--

イ 広島県社会福祉大会（場所：広島ガーデンパレス）

日 時	10月24日（水）13：30～15：40
内 容	<p>福祉活動功労者表彰状の贈呈</p> <p style="text-align: center;">社会福祉関係功労者等の知事表彰 1名</p> <p style="text-align: center;">広島県社会福祉協議会会長表彰 19名</p>

ウ 全国社会福祉大会（場所：メルパルクホール）

日 時	11月22日（木）13：00～15：00
内 容	<p>表彰式及び記念講演</p> <p style="text-align: center;">全国社会福祉協議会会長表彰 3名</p>

③ 第34回御調地区健康福祉展への参加

日 時	10月27日（土）、28日（日）
場 所	公立みつぎ総合病院、御調保健福祉センター
内 容	<p>手話サークル「ひよこ」、要約筆記サークル「キンモクセイ」、朗読録音ボランティア「ひばり会」、介助ボランティア「どんぐりの会」の4グループが、障害者体験コーナー・ボランティア体験コーナーを設けて参加を呼びかけた。また、ふれあいサロン、ボランティアグループのパネルを展示した。</p> <p>その他に、医療・福祉ボランティアグループによる、福祉バザーを開催した。</p>

④ 第35回高齢者・障害者ふれあいスポーツ大会への参加

日 時	6月22日（金）9：00～12：00
場 所	尾道市御調体育センター
内 容	<p>障害者と高齢者との交流を図り、相互の理解を深めることを目的として、御調地区老人クラブ連合会と身体障害者福祉連合会御調支部が合同で行う、スポーツ大会へ、民生委員児童委員協議会と共に運営の補助を行った。</p>

⑤ むかいしま健康福祉まつりへの参加

日 時	10月20日（土）9：30～13：00
場 所	尾道市民センターむかいしま「こころ」
内 容	<p>ボランティアスタンプラリー（朗読・点字・手話・点字ブロック・車イス）5グループが体験コーナーを設けて参加を呼びかけた。また、ふれあいサロンの活動状況をパネルで展示し、ボランティアが活動資金確保のため遊休品等の販売をした。</p>

⑥ 地区福祉健康まつりへの協力

浦崎地区、日比崎地区、土堂地区、久保・筒湯地区、三成地区の5地区で、小学校や公民館を会場にそれぞれの地域の特徴を生かした地区健康福祉まつりが開催された。本会からは、手話体験、点字体験、高齢者疑似体験、視覚障害者疑似体験、パネル展示等の協力をした。

(15) 広報啓発活動

① 市社協だより

偶数月に、市社協だより第257号～第262号を発行し、全世帯に配布して、福祉情報のお知らせ、ボランティア活動等の啓発を行った。

② ホームページなど

ホームページは毎月1回定期的に更新して社協事業について情報提供を行い、活動内容の周知や行事への参加呼びかけを行うことができた。

(16) 民生委員児童委員協議会との連携

各地区の民生委員児童委員協議会の定例会に出向き、社協が行っている事業全般について説明した。生活福祉資金・敬老会・ブックスタート・サロン等多くの事業で連携した。

3. 福祉人材養成事業

(1) 福祉職場就労相談・情報提供

広島県社会福祉協議会との連携で福祉関係求職者への情報提供（月1回広島県社会福祉協議会発行「求人情報」提示など）を随時行った。また、8月22日及び3月20日に尾道市ふる里就職促進協議会主催の合同求人説明会に参加した。前年度に比べて求職者は減少した。

(2) 地域人材確保推進体制整備事業

本会では、行政、ハローワーク、施設、高等学校等と連携し、尾道市福祉・介護人材確保支援協議会を開催した。尾道市の福祉・介護人材の安定的な確保、育成及び定着させるための効果的な取り組み方策を協議した。

平成30年度は、新規事業として、介護基礎技術研修を実施し、実際の現場で役立つ研修内容で、指導者、新任職員ともに積極的に介護技術のポイントを学んだ。

(ア) 尾道市福祉・介護人材確保等総合支援協議会設置（テーブルづくり）

開催日	場 所	内 容	参加者
7月26日(木)	総合福祉センター	平成29年度収支決算について 平成30年度実施事業について 情報交換	12名
2月19日(火)	総合福祉センター	平成30年度事業報告 平成31年度事業計画・予算について 備後圏域福祉・介護人材確保等連絡会議設置 要綱について 情報交換	12名

(イ) 高校生の福祉のお仕事見学・体験バスツアー（活動づくり）

福祉施設へ訪問し、施設見学や現役職員からの話、利用者との交流などを通して、福祉介護の仕事のやりがいや魅力をもって働ける専門性の高い職場であることを学ぶため実施した。

開催日	施 設	内 容	参加者
8月1日(水)	向島認定こども園	施設見学	8名
	(社福)あづみの森	施設職員から仕事内容・魅力など説明	
	尾道さつき会 高齢者総合ケア センター星の里	利用者との交流	

(ウ) 福祉・介護を学ぶ出前講座（活動づくり）

市内の介護福祉士養成教員や施設職員を講師が、尾道市の高齢化の現状や、福祉・介護の仕事の魅力を伝えた。

開催日	場 所	内 容	参加者
1月23日(水)	尾道高等学校 2年生 希望者のみ	疑似喪失体験 講師：尾道福祉専門学校 重岡秀和さん	19名
2月20日(水)	尾道商業高校 体育館	THE KAIGO～全ては、じいちゃん、 ばあちゃんが教えてくれた～ 講師：トリニティカレッジ広島医療福祉専 門学校 介護福祉学科 学科長 吉岡 俊昭さん	1学年 195名

(エ) 介護基礎技術向上研修（活動づくり）

施設の介護職員を対象に、新任職員の指導、育成、定着、また介護技術や指導方法の向上を図るための研修を行った。

開催日	場 所	内 容	参加者
11月17日(土)	尾道福祉専門 学校	演習：移動、移乗 講師：尾道福祉専門学校 教務主任 豊田 美絵さん	18名
12月8日(土)	グループホーム ゆずっこ向島 地域交流室	演習：食事 講師：尾道福祉専門学校 教務主任 豊田 美絵さん	23名

(3) 大学、専門学校等社会福祉援助技術実習生等の受け入れ

社会福祉士養成学校等からの実習生の受け入れはしていないが、市からの依頼により、2名の実習生を2日受け入れた。

(4) 日本赤十字社講習会

ア 旧尾道地域…5月10日(向東)、6月14日(三成)、9月13日(高須)で幼児安全法講習会をおこない、子育てサロンの親子が受講した。8月31日健康生活支援講習会をおこない、認知症カフェスタッフが受講した。

イ 御調地域…11月22日に、幼児安全法講習会「こどもに起こりやすい事故の防止と手当(AED)」を保育ボランティア養成講座時の中で行い、10名が受講した。

ウ 向島地域…6月29日に、向島町はなみずき赤十字奉仕団と共催で救急法講習会を行い27名が受講した。また、1月25日、尾道市消防署向島分署の救急救命士による、災害時を想定した救急救命の心肺蘇生法とAEDの講習を行った。また、向島町はなみずき赤十字奉仕団の活動として炊き出し訓練も合わせて実施し、30名が参加した。

エ 因島地域…11月29日に健康生活支援講習短期講習を開催し、20名が受講した。

内容は「災害時高齢者生活支援講習」で、豪雨災害の後ということもあり、身近なこととして学ぶことができた。

オ 瀬戸田地域……7月11日に生口島子育て支援センター「はっぴい」の活動日に併せて
 幼児安全法講習会を開催する予定であったが、大雨災害の影響により中止
 となった。

4. 福祉教育推進事業

(1) 児童・青少年を対象とした福祉教育

① ボランティア実践校事業

ア 指定校

主な活動は、障害者との交流、高齢者擬似体験等の学習、国際交流、環境美化運動、地
 域行事への参加、地域施設との交流など、それぞれの学校が多様なボランティア活動を実
 践した。

(指定校)

小学校(17校)	山波小、長江小、日比崎小、吉和小、美木原小、西藤小、土堂小、浦崎 小、栗原小、三成小、御調西小、御調中央小、向島中央小、三幸小、高 見小、因島南小、瀬戸田小
中学校(8校)	久保中、日比崎中、高西中、浦崎中、向東中、向島中、重井中、瀬戸田 中

イ ボランティア実践校会議の開催

3月11日(月)	ボランティア実践校等報告会議
----------	----------------

② 出前福祉教室の開催

ア 旧尾道地域

実施日	学校名	内 容
9月7日	日比崎中学校	車椅子・高齢者擬似体験、 アイマスク体験
9月19日	高須小学校	
10月5日	浦崎中学校	
1月25日	尾道南高校	
2月7日	三成小学校	
2月28日	浦崎小学校	
1月11日	栗原小学校	盲導犬について
1月23日	西藤小学校	
2月8日	三成小学校	点字体験学習
2月13日	御調中学校	手話体験学習

(ア) 高西中学校

福祉・ボランティア体験活動を通して、福祉や介護への関心を高めるとともに、少子
 高齢化社会における様々な課題に目を向け、課題意識を高めるため、各ボランティアを
 講師として、1学年(125名)を対象にボランティア活動報告会や体験学習を行った。

9月21日：福祉ボランティア講話

9月21日：各ボランティア団体の活動報告

10月4日：福祉ボランティア体験学習

イ 向島地域

(ア) 向島中学校

向島中学校では、校舎建て替えのため、体験学習は中止。

(イ) 三幸小学校（10月31日）

児童（4年生14名）を対象に、朗読録音体験、点字体験、手話体験、点字ブロック歩行体験、車椅子体験の5つのコーナーをスタンプラリーによる体験をし、ボランティア意識の向上と啓発を図った。

(ウ) 中央小学校ボランティア体験学習（2月2日）

児童（3年生60名）・保護者を対象に、朗読体験・点字体験・手話体験・点字ブロック体験・車椅子体験の5つのコーナーを親子で体験し、人々のやさしさや温かさを感じ取り、誰でもやさしく接しようとする意欲をもつとともに、社会の一員としてともに生きる社会を実行していこうとする態度を育てる目的でボランティア体験事業を行った。

ウ 御調地域

(ア) 御調中央小学校（10月22日）

障害者・高齢者への支援を行うボランティアを多く体験し、介護、福祉への関心を高めることを目的に、ボランティアを講師として、6年生(40名)を対象に、手話、要約筆記、朗読録音、アイマスク（白杖）、車椅子操作などの体験を5グループに分かれ、スタンプラリー形式で各体験を行った。

③ 青少年ヤングボランティアスクール

開催日	場 所	内 容	参加者
7月26日(木)	いこい会館	保育体験ボランティア	13名

④ 「地域まるごと福祉教育推進事業」指定終了後の取り組み

平成17年度で「広島県まるごと福祉教育推進事業」が終了した後も、高見小学校区（江奥・立花地区社協）は、平成30年度で16年目の自主活動を実施した。

日 時	場 所	内 容	参加者
3月3日(日) 9:30~12:30	高見小学校 屋内運動場	地域まるごと事業 紙ヒコーキを飛ばそう・ 吹き矢を吹こう。	101名

地域まるごと事業は、江奥地区社協と立花地区社協と高見小学校と共催により、児童と各江奥、立花の方々と総勢101人が交流を深めた。今回は、紙ヒコーキ大会と吹き矢大会を合わせての競技を行った。吹き矢は、4名の指導員により、参加者全員、吹き矢の体験を行い、また、初めて、吹き矢スポーツをする方が多く、とても貴重な体験ができた。

紙ヒコーキ大会は、平成19年度に実施して以来11年ぶりに紙ヒコーキ大会を行い、今回も紙ヒコーキの作り方を講師の方に指導していただいた。8グループに分かれ、紙ヒコーキを2回飛ばし、飛ばした距離の得点により、トーナメント方式で紙ヒコーキ大会を行った。

地域と学校とがいろいろな行事を通じて、ともに協力と支援する意識が高まり、ますます

つながりが深くなった。

⑤ Let's 食育！御調グループの参加

御調地区の関係団体（尾道市子育て支援課、御調保健福祉センター、子育て支援センターみっけ、御調子ども図書館「すくすく」、第 11 区主任児童委員、子育てオープンスペース 0123、尾道市社会福祉協議会）の協働開催で 1～3 歳児までの親子を対象に「食」についての大切さを伝えた。

第 1 回目を 7 月 10 日に計画していたが、豪雨災害のため、中止した。

日 時	場 所	内 容	参加者
11 月 29 日（木） 10:00～12:00	御調保健福祉 センター	栄養満点！手づくりふりかけ ～親子でにぎにぎ～	15 組

5. ボランティア活動推進事業

ボランティア活動を推進するため、本所、支所ともに地域の実情に応じた相談、各種研修やボランティアの育成に取り組んだ。

（1）ボランティアセンターの運営（相談・派遣・ネットワーク・広報等）

① ボランティアの相談・情報提供

ボランティア希望者の相談や、ボランティア情報の提供を行った。

② ボランティア等の派遣

登録ボランティア数 323 名で、団体、個人の依頼により派遣した。依頼件数は保育 45 件、点訳 2 件、手話 0 件、障害者（児）介助 2 件、要約筆記 1 件、福祉教育 1 件、その他 8 件となっている。また、これ以外の点訳と朗読の依頼は次のようになっている。

区 分	内 容	利用者
点訳依頼	市役所の各課や身障協会からの通知など公的な依頼が 18 件、個人的な依頼が 27 件あった。その他、バスや電車の時刻表や川柳作品など、視覚障害者の生活に必要なものや生活に潤いを与えるようなものを点訳した。	10 名
朗読テープ依頼	広報おのみち、市社協だより、市議会だよりをはじめ新聞の社説、身障通信などの朗読テープを視覚障害者の希望で送付した。	31 名

③ 各ボランティア連絡協議会への協力

ア 尾道ボランティア連絡協議会（参加サークル 15 団体）への協力

毎月 1 回の定例会を中心にサークルの枠をこえて各団体独自の活動のほか、次の活動をした。

- ・ 共同募金、おのみち福祉まつり、地区福祉まつり、ふれあいサロンへの協力
- ・ 高西中学校による福祉総合学習と活動紹介
- ・ 身体障害者福祉大会及び総会、身体障害者福祉協会体育大会への協力
- ・ 講演会、研修会を他団体と協力して開催

- ・ 尾道ボランティアネットワーク会議に参加し、各地区のボランティア連絡協議会との連携を図り、情報交換をした。
 - ・ 荒神堂サロンの運営
火曜日は「おりづるの会」、水曜日は「どんぐりの会」、木曜日は「傾聴ボランティアコスモス」、金曜日は「尾道認知症の人と家族の会」が運営した。
- イ 御調地区ボランティア連絡協議会（参加サークル 5 団体）への協力
- 町内で活動するボランティア団体が相互交流や研修、実践発表を行い、福祉の増進を図っている。具体的には、次のような活動を行った。
- ・ ボランティア連絡協議会会議実施（年 7 回）
 - ・ 視察研修：7 月 2 日（月）雲南市地方創生チャレンジ視察 18 名参加
 - ・ 御調地区健康福祉展への協力 10 月 27 日、28 日（活動紹介のパネル展示、ボランティア体験コーナー）
 - ・ 御調地区 医療・福祉ボランティア連絡協議会への協力 5 月 25 日 8 月 24 日
福祉バザーへの協力 10 月 26 日
 - ・ 共同募金街頭募金への協力 10 月 1 日、2 日 11 月 30 日、12 月 1 日
 - ・ わが町探究隊、やまなみ編、しまなみ編への参加
 - ・ ボランティア実践活動パンフレット作成
- ウ 向島ボランティアグループ「花あかり」連絡会(参加サークル 8 団体) への協力
- 「花あかり」は 8 団体が参加。毎月 1 回役員会を開催し、ボランティアグループ同士の情報交換を行った。このほか、次の活動をした。
- ・ 「花あかり」役員会……毎月第 1 金曜日
 - ・ 尾道ボランティアネットワーク会議……毎月第 4 月曜日（2 カ月に 1 回）
 - ・ 小学校による総合学習体験と活動紹介
 - ・ むかいしま健康福祉まつりへの協力(ボランティアスタンプラリー・パネル展示・ボランティアバザー)
 - ・ むかいしま作業所まつりへの協力
 - ・ 花いっぱい！笑顔いっぱい運動
 - ・ 街頭募金への協力
- エ 因島ボランティア連絡協議会（参加サークル 11 団体）への協力
- 原則 2 カ月に 1 回、定例会を開催し、尾道ボランティアネットワークの報告及び各サークルの情報交換を行った。また、フラワーセンターの花植え、障害者の運動会等島内の活動にも積極的に参加した。恒例となった因島ボランティア連絡協議会主催のしまなみビーチの清掃活動は、本年度も 100 名の参加があり活動が定着してきた。又、因島版「わが町探究隊」を実施し、地域の名所を発見できたことやさまざまな活動をされている方の話を聞けたことが、参加者にとって良い刺激となった。今後も、ボランティア同士の活動が活性化するような取組みを進めていきたい。
- オ 瀬戸田町ボランティア連絡協議会（参加サークル 3 団体）への協力
- 瀬戸田町ボランティア連絡協議会では、尾道市ボランティアネットワークが行う研修会

や行事および町内の海の清掃活動であるリフレッシュ瀬戸内にも積極的に参加した。
今後、瀬戸田ボランティア連絡協議会の会員促進活動に努める。

④ 尾道ボランティアネットワーク事業

尾道ボランティアネットワークを立ち上げ11年目となり、加入ボランティア団体数は44団体となっている。定例会を3カ月に1回開催し、意見交換や情報共有を通して、活動内容の検討やボランティア同士の交流を深めた。

2018（平成30）年度は、ボランティア研修会として、尾道市内のボランティア団体より50名が参加し、わが町探究隊「やまなみ編・しまなみ編」の視察研修を実施した。

「やまなみ編」では、御調と旧尾道地区でUターンされた方が地元の特産物を利用した開業、引きこもりがちな子ども・若者の居場所づくりの取り組み、また、旧原田中学校をリノベーションした交流施設の視察研修を行った。

「しまなみ編」では、瀬戸田から向島の地区で、空き家・空き施設を利用した店の開業やイベントの開催、町おこし活動の取り組みなどを視察した。

この度の視察研修を通じて、さまざまな地域で活動されている方々からの思いや取り組みを教えていただき、改めて地域の宝物を発見することができた。また、お互いに情報交換することで、ともに活動していく仲間の輪が広がった。参加されたボランティアは、今後の活動にどのように活かせるか、考える良い時間となり、各地域のボランティア団体同士の交流にもつながった。そして、改めて自分の住んでいる街を元気ある街にするには、一人一人ができることを実践し、努力していくことが大切であると学んだ。それぞれの立場で、地元ボランティアの輪を広げていけるよう、今後のやる気につながる視察となった。

その他、尾道ボランティアネットワークの規約作成を進め、役割の明確化など体制整備に取り組んだ。

ア 【尾道ボランティアネットワーク会議の開催】

開催日	場 所	内 容
4月16日(月)	総合福祉センター	・ボランティアネットワーク総会&地域づくり講演会について ・市社協だよりの原稿について：向島V連 ・新役員紹介
9月10日(月)	総合福祉センター	・尾道ボランティアネットワーク規約について ・わが町探究隊～やまなみ編・しまなみ編～について ・市社協だよりの原稿について：因島V連
12月17日(月)	総合福祉センター	・わが町探究隊～やまなみ編・しまなみ編～のふりかえり ・おのみちボラネット交流会”2019”について ・市社協だよりの原稿について：旧尾道V連
3月11日(月)	総合福祉センター	・2019年ボランティアネットワーク総会&地域づくり講演会について ・おのみちボラネット交流会”2019”について 市民活動説明（政策企画課） ・ボランティア応援ブックの発行について ・2019年社協だより掲載について

イ 【尾道ボランティアネットワーク会議の開催】

開催日	場 所	内 容
5月12日(土) 13:00～16:00	尾道市総合福祉センター 4階 大会議室	<p>平成30年度地域づくり講演会&ボランティアネットワーク総会</p> <p>演題 「ボランティア する側、される側、支援する側から見たボランティア活動」 ～楽しく、元気な人生のために～</p> <p>講師 広島経済大学経済学部スポーツ経営学科 准教授 中村 隆行さん</p> <p>総 会：平成29年度事業報告 平成30年度事業計画</p> <p>ボランティア活動報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・因 島地域：やすらぎ赤十字奉仕団活動報告 ・旧尾道地域：認知症の人と家族の会活動報告 ・尾道市地域おこし協力隊御調支所の活動報告 (黒田信二) <p style="text-align: right;">参加者 73名</p>
11月13日(火) 8:30～15:30	尾道柿園 尾道まなび村 原田芸術文化交流館やまそら	<p>わが町探究隊「やまなみ編・しまなみ編」</p> <p>目的：瀬戸田から御調地区で、空き家を利用しているいろいろな店の開業やイベントの開催などの施設研修を行う。</p> <p>内容：ボランティア活動の視野を広げ、効果的な取り組みにつなげるため、瀬戸田から向島方面のしまなみ編と御調と旧尾道地区のやまなみ編で2回に分けて視察研修を実施した。</p> <p>◆わが町探究隊 やまなみ編</p> <p>【日 程】</p> <p>尾道柿園：柿カーテン・柿渋の伝統を守り、柿渋の良さを全国へ情報発信している。</p> <p>尾道まなび村：不登校・ひきこもりなどに悩む若者たちが自信、勇気、希望を取り戻すために生まれた施設。森レストランの運営や宅配弁当などの食事づくりを通じて社会につながるように若者を育成している。</p> <p>原田芸術文化交流館「やまそら」：旧原田中学校を原田地区社協が管理することになり、その後、2015年4月18日に「やまそら」をオープンした。年間を通じて、森の音楽会や学校まるごとマルシェのイベントを実施している。また、原田町内の発掘した土器の展示や地元の彫刻家の展示室があり、地域愛にあふれた交流館である。</p> <p style="text-align: right;">参加者 25名</p>
11月27日(火)	島ごころ	◆わが町探究隊 しまなみ編

8:30~15:30	汐待亭 晴耕雨読 愛あいセンター	<p>【日 程】</p> <p>島ごころ:Uターンのご夫婦でレモンを使った商品を1年間かけて、商品化され、商才と郷土愛を感じた。</p> <p>汐待亭 :I ターンのご夫婦で喫茶店と自転車レンタル、雑貨販売や音楽活動を行っている。築150年の古民家を利用し、「しおまち商店街」の活性化に寄与している。</p> <p>晴耕雨読 (大浜地域未来交流館):造船業の町をアピールするため、造船鉄工本のパンフレットを作成し、小学校、中学校へ情報発信した。 大浜保育所跡地を地域の居場所づくりとしてお年寄りから子どもたちを交えて、いろいろなイベントを行い、交流を図っている。</p> <p>陶芸家 吉野 瞬さん:感性あふれた方で、「島から生まれる芸術がある」とお話しされ、島ならではの発想をもとに、独自のはっさくの釉薬を用いての陶芸を因島において活動している。さらに、バック制作も手掛けられ、人と企業の出会いによりイタリアでの商品化など国際的に活躍されている。</p> <p>向島よもそろガールズ:小学校へ「よもそろ焼き」の作り方や「恋で走って島めぐり散走」女子だけのサイクリングを実施している。サイクリングロードの周辺にコスモスを咲かせて、花植への活動も行っている。市政120周年では、町おこしの活性化に貢献し、表彰をいただく。全国花いっぱい活動でも感謝状をいただく。向島に住む女性たちの集まった活動報告を行った。</p> <p style="text-align: right;">参加者 25名</p>
------------	------------------------	---

◇ ボランティア応援ブックの作成

尾道ボランティアネットワークでは、ボランティアに関心のある方に、活動の第一歩を踏み出してもらえよう「ボランティア応援ブック」を作成している。尾道ボランティアネットワークに加入しているボランティア団体の概要やPRメッセージが掲載され、他機関・他団体への説明資料としても利用できる。

2018(平成30)年度は、2017(平成29)年度と掲載内容が大きく変更になっていなかったため、冊子配布は行わず、インターネットでの閲覧とした。

◇ 市社協だよりの記事提供

わが町探検隊「やまなみ編・しまなみ編」の活動報告に加え、各地域のボランティア連絡協議会やボランティア団体の活動紹介を行い、尾道市民に向けて情報発信した。

[成果]

- ・ わが町探究隊「やまなみ編・しまなみ編」の視察研修を行ったことで、地元の魅力の再発見につながり、地域づくりには仲間の輪を広げることが欠かせないこと、いろいろな人の知恵を取り入れることの重要性などを学んだ。
- ・ 尾道市ボランティアネットワーク規約について協議したことで、ボランティアネットワークの役割を再確認し、組織体制が明確となった。
- ・ 定例会の開催について、昨年度年6回から年4回に減らしたが、活動に支障なくスムーズに実施できた。

[課題]

- ・ ボランティアネットワークを結成して11年目となり、各ボランティア連絡協議会の事業も定着してきたが、新規ボランティアの発掘と後継者の育成について引き続き検討する必要がある。
- ・ ボランティア同士の交流を深めていくための活動や、新たなボランティアを増やしていくための研修等、アイデアを出しながらボランティア活動のさらなる推進を図る。

⑤ ボランティア保険・行事保険・在宅サービス保険などの受付

安心してボランティア活動をしてもらうために、チラシや研修会、民児協定例会などでボランティア保険の周知を行い、加入の促進と事故への対応を行った。

区 分	本所	御調	向島	因島	瀬戸田
ボランティア活動保険加入者数	3,897名 事故1件	299名	766名 事故1件	576名 事故3件	1,139名 事故2件
ボランティア行事用保険加入件数	159件 事故3件	8件	32件 事故1件	9件	0件
送迎サービス補償保険加入件数	1件	1件	1件	—	—
福祉サービス総合補償保険加入件数	7件 事故2件	—	—	—	—
社協の保険（ふれあいサロン・社協行事障害補償保険）加入件数	210件 事故2件	—	—	—	—

福祉活動機材等の貸し出し

車椅子、疑似体験グッズ、パネル、テント、レクリエーション機材などを貸し出し、地域福祉や学校での福祉教育に活用してもらった。

(2) ボランティア養成事業

ボランティア養成のために各種講座を実施した。

① 保育ボランティア養成講座

ア 旧尾道地域

7月6日、8月3日に、保育ボランティア養成講座と実習体験を行い、22名が受講した。

7月の豪雨災害の影響で2回目の日程が変更となったため、8月3日の新規受講者は0名。そのため保育ボランティア「おのママサポーターズ」への新規登録はなかった。

イ 御調地域

9月6日、9月13日、11月22日の全3日間、助産師、日本赤十字社幼児安全法指導員による講座と保育体験を行い、10名が受講した。保育ボランティア「子育てほっとサポート」へ1名の新規登録を行い、子育て講演会や子育てサロンなど地域の子育て支援で活動を行った。

② 読み語りボランティア研修会

ア 旧尾道地域

全6回の読み語りボランティア養成講座を行い、朗読の基礎、子どもの絵本、ブックスタート事業等について学び、10名が修了した。内6名は、30年度より立ち上がった新規ボランティア、ブックスタート読み語りボランティアなのはなに入会し、ブックスタートで読み語りボランティアとして活動を行う予定である。

③ お掃除ボランティア「さわやか」活動

お掃除ボランティア「さわやか」を立ち上げ、8年目となり、隔月で定例会を5回開催した。会員が25名となり、尾道市全域において活動が定着した。

お掃除ボランティア会員だけでなく、地域の担当地区民生委員、地区社協会長、区長、地域包括支援センターへも協力支援体制を図った。

今年度も、尾道清掃事務所より、ゴミ運搬についてパッカー車を提供していただき、スムーズにゴミ運搬ができた。また、地域住民へ清掃活動の協力を図るため、チラシを作成し、地域の協力体制を図った。

毎年恒例の年1回の環境ウォーキングを行い、交流を図ることで、お掃除ボランティアの士気が高まった。今後も引き続き、お掃除ボランティアの会員を増やすため、お掃除ボランティア活動の啓発を図った。

ア お掃除ボランティア「さわやか」定例会の開催

開催日	場 所	内 容
5月16日(水)	愛あいセンター	・お掃除ボランティア「さわやか」総会 平成29年度事業報告及び決算報告について 平成30年度事業計画及び予算について 参加者23名
7月18日(水)	愛あいセンター	・お掃除ボランティア活動について(ふりかえり) 4月～7月：旧尾道2件、向島2件
9月19日(水)	愛あいセンター	・お掃除ボランティア活動について(ふりかえり) 8月～9月：旧尾道1件、向島1件 ・環境ウォーキング&交流会について

1月16日(水)	愛あいセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・環境ウォーキング&交流会について(ふりかえり) ・お掃除ボランティア活動後の結果報告 9月～12月：旧尾道2件、向島1件
3月20日(水)	愛あいセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・お掃除ボランティア活動について(ふりかえり) 2月～3月：因島1件、向島1件 ・お掃除ボランティア総会について ・リョービ社会貢献基金について

イ お掃除ボランティア「さわやか」因島グループ定例会の開催

4月12日(木)	因島総合福祉 保健センター	<ul style="list-style-type: none"> ・お掃除ボランティア定例会(3/22)の報告 ・お掃除ボランティア「さわやか」会員について
7月19日(木)	因島総合福祉 保健センター	<ul style="list-style-type: none"> ・お掃除ボランティア定例会(7/19)の報告 ・豪雨災害について(意見交換)
9月20日(木)	因島総合福祉 保健センター	<ul style="list-style-type: none"> ・お掃除ボランティア定例会(9/19)の報告 ・環境ウォーキングについて
1月17日(木)	因島総合福祉 保健センター	<ul style="list-style-type: none"> ・お掃除ボランティア定例会(1/16)の報告 ・お掃除ボランティア活動について
3月22日(金)	因島総合福祉 保健センター	<ul style="list-style-type: none"> ・お掃除ボランティア定例会(3/20)の報告 ・お掃除ボランティア活動について

ウ 掃除ボランティアさわやか研修&交流

開催日時	場 所	内 容
11月21日(水) 10:00～12:30	大浜パーキング 周辺(因島・瀬戸 田地域)立花臨海 公園から因島大 橋(御調・向島・ 旧尾道)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境ウォーキング&交流会 <p>年1回会員が一堂に集まり、因島側より大浜パーキング周辺の清掃を行い、向島側から因島大橋の自転車道の清掃作業し、会員同士の交流を深めた。</p> <p style="text-align: right;">参加者：20名</p>

エ お掃除ボランティア活動実績

実施月	旧尾道地区		向島地区		御調地区		因島地区		瀬戸田地区		合計	
	件数	ボランティア等	件数	ボランティア等	件数	ボランティア等	件数	ボランティア等	件数	ボランティア等	件数	ボランティア等
4月	1	1		2		1					1	4
7月	1		2	19							3	19
9月	1	2	1	11							2	13
10月	1	1		3							1	4
11月			1	4							1	4
12月	1			3							1	3
2月		1		3			1	8			1	12
3月		1	1	5							1	6
合計	5	6	5	50	0	1	1	8	0	0	11	65

※尾道クリーンセンターのパッカー車利用：9回

※チラシ配布：旧尾道地域：4月 参加者：2名

○おのみち住吉花火まつり清掃ボランティア参加：7月29日(日)：3名参加

○2019年NPO法人リョービ社会貢献基金助成金贈呈式：平成31年3月25日(月)

[成果]

- ・今年度は尾道全域において11回の活動を実施し、お掃除ボランティアの活動が定着してきた。
- ・地域包括支援センター・民生委員・地区社協・区長等との連携も密となり、お掃除ボランティアの活動が浸透しつつある。
- ・お掃除ボランティアによる居室の清掃後、在宅生活を継続して生活されているか経過状況を把握した。
- ・尾道清掃事務所によるパッカー車の派遣により、ゴミ処理がスムーズにできた。

[課題]

- ・大量にゴミが溜まってしまいう前に、もう少し早い段階で気づき、地域包括支援センター等へ伝えることができる体制づくりを図っていく。
- ・一人暮らしの高齢者が、ますます増えていく中で、お掃除ボランティア会員も高齢化になるため、住み慣れた地域で暮らしていけるよう地域づくりの仲間を増やすよう啓発活動も継続して行う。

6. 高齢者福祉事業

(1) 第44期尾道いきいき大学

尾道市在住、60歳以上の方を対象に、生涯学習として教養講座、実技講座を行った。

《大学の概要》

期 間：平成30年4月13日（金）（入学式）～平成31年3月8日（金）（修了式）

会 場：尾道市総合福祉センター・おのみち生涯学習センター・しまなみ交流館ほか

学生数：実技講座279名、教養講座170名、合計449名

教養講座：7講座（下表参照）

実技講座：9講座（次頁表参照）

その他の主な行事

- ・ 実技講座講師会 : 11月21日(水)
- ・ 実技講座班長会議 : 12月21日(金)
- ・ 実技講座学生祭 : 2月2日(土)・3日(日)

第44期 尾道いきいき大学教養講座

開催日	テーマ・演題	講師（敬称略）
4/13	八重子のハミング ～老々介護4000日の軌跡～	萩金谷天満宮宮司 陽 信孝
5/11	西郷隆盛その生涯 ～なぜ時代を超えて愛されるのか～	西郷隆盛研究家 (城山観光ホテル所属) 安川 あかね
6/8	実は多くの戦乱があった尾道	NPO 法人長井浦文化財研究所 榊原 恒司
7/13	西日本豪雨災害のため中止	
9/14	昔からある色の話	尾道市立大学 芸術文化学部長 吉原 慎介
10/5	高齢者のための防犯・交通安全 ～いつまでも安心して暮らすために～	尾道警察署署員
11/2	地方議会の改革	中国新聞社論説委員室論説委員 藤村 潤平
12/14	～笑う門には福来たる～ 思いつき笑うと元気になれます	落語家 林家 染二

第44期 尾道いきいき大学修了生数

講座名	講師名	修了生			合計	皆勤者				3年間 皆勤者
		1年生	2年生	3年生		1年生	2年生	3年生	合計	
書道かな	友宗 杉径	9	14	14	37	0	4	9	13	5
書道漢字	國貞 紅鶴	13	23	9	45	7	8	4	19	3
絵 画	山根 悦	14	12	9	35	3	1	3	7	0
自 由 花	進來 せい子	12	8	16	36	5	2	2	9	1
野 菜	金野 省三	9	9	11	29	0	3	1	4	0
英 会 話	能登セドリック	17	16	9	42	2	9	3	14	1
俳 句	郷坪 敏幸	9	15	8	32	0	6	4	10	1
茶 道	武田 宗純	2	8	3	13	1	3	2	6	0
パソコン	百島 裕司	10	/	/	10	6	/	/	6	/
実技講座合計		95	105	79	279	24	36	28	88	11
教養講座		170								
合 計		449								

修了証書授与者数・・・実技講座 3年生79名、パソコン講座 1年生10名 合計 89名
 皆勤賞授与者数・・・11名

(2) 敬老会

尾道市と協働で、地区社協・町内会等が主体で実施した。

開催概要

・開催の箇所数

地域名	地区社協単位で開催した地区社協と箇所数		町内会単位等で開催した地区社協（箇所数）
旧尾道	山波、新高山、久保、長江、土堂、日比崎、吉和、三成、木頃、木ノ庄西、木ノ庄東、原田、西藤、高須、百島、向東	16	筒湯（6）、栗原久山田（14）、栗原北（10）、浦崎（6）、向東（6）
御 調	菅野、上川辺、市、河内、今津野、綾目、大和	7	
向 島	兼吉、江奥、東富浜1・2、東富3、小歌島、中富、西富、田尻、川尻、土井、宇立、有道、津部田、岩子島、立花	15	
因 島	土生、田熊、大浜、重井、東生口	5	三庄（2）、中庄（4）
瀬戸田	御寺、宮原、荻、田高根、垂水、福田、港、瀬戸田、高根、沢、鹿田原、中野、林、名荷	14	

- ・箇所数において、2以上の地区社協又は町内会が合同で開催した場合は、1箇所としている。この為、地区社協数及び町内会数と箇所数は必ずしも同数とはならない。
- ・招待者年齢・・・75歳以上
- ・委託料・・・運営費として、一人あたり1,500円（地区社協が尾道市と契約する）
- ・招待者数・・・25,723人（男性10,029人、女性15,694人）
- ・出席者数・・・7,074人（出席率27.6% 中止箇所を除く）

平成30年度敬老会実施状況(招待者人数)

	地区名	開催日	開催時間	会 場 ; 数値は会場数	男性数	女性数	合計	出席者数
旧尾道	山波	9月9日(日)	9:30~11:00	山波公民館	290	435	725	71
	新高山	9月17日(月)	13:30~15:00	生きがい活動推進センター	133	156	289	58
	久保	9月16日(日)	9:30~11:30	久保中学校体育館	285	445	730	224
	筒湯			【「詳細」表参照】	6	176	328	122
	長江	9月17日(月)	12:30~15:00	長江公民館	269	475	744	97
	土堂	9月15日(土)	13:00~15:30	しまなみ交流館	178	302	480	154
	日比崎	9月16日(日)	13:30~16:00	しまなみ交流館	394	684	1,078	200
	吉和	9月23日(日)	9:00~12:00	尾道市立吉和小学校 体育館	483	858	1,341	291
	栗原久山田			【「詳細」表参照】	14	884	1,374	592
	栗原北			【「詳細」表参照】	10	412	561	288
	三成	9月17日(月)	9:00~12:00	三成小学校体育館	204	318	522	153
	木頃	9月15日(土)	12:00~14:30	尾道市立美木原小学校 屋内運動場	136	186	322	66
	木ノ庄西	9月15日(土)	10:30~14:00	尾道市農村環境改善センター	79	111	190	38
	木ノ庄東	9月16日(日)	10:30~13:00	木ノ庄東公民館	62	139	201	55
	原田	9月17日(月)	11:00~14:00	(旧)原田中学校体育館	97	170	267	68
	西藤	9月16日(日)	13:30~16:00	福田ふれあい館	98	140	238	91
	高須	9月16日(日)	13:00~15:30	高須小学校体育館	406	629	1,035	111
	浦崎			【「詳細」表参照】	6	287	439	253
	百島	9月16日(日)	9:30~12:25	いきいきサロン百島	73	144	217	75
	向東			【「詳細」表参照】	7	679	1,019	434
小計				58	5,625	8,913	14,538	3,441
御調	菅野	9月9日(日)	11:00~13:30	菅野公民館	41	73	114	31
	上川辺	9月9日(日)	11:00~14:30	上川辺公民館	71	104	175	60
	市	9月16日(日)	11:00~14:00	市公民館大ホール	153	247	400	115
	河内	9月16日(日)	11:00~14:00	河内公民館大ホール	120	208	328	80
	今津野	9月16日(日)	11:00~14:00	今津野公民館大ホール	59	92	151	67
	綾目	9月16日(日)	10:00~14:00	綾目公民館大ホール	51	89	140	54
	大和	9月9日(日)	11:00~13:30	大和公民館大ホール	31	48	79	39
小計				7	526	861	1,387	446
向島	兼吉	9月17日(月)	10:00~12:00	向島老人福祉会館やすらぎ荘	137	221	358	39
	江奥	9月17日(月)	13:00~14:30	高見小学校体育館	183	282	465	79
	東富1・2区	9月16日(日)	13:30~15:30	尾道市民センターむかいしま2階大研修室	33	54	87	29
	東富浜3	9月16日(日)	10:00~12:00	東富浜三区コミュニティセンター	29	42	71	21
	小歌島	9月16日(日)	10:00~12:00	サロンおかじま	21	34	55	25
	中富	9月17日(月)	10:00~12:00	中富コミュニティセンター	103	136	239	69
	西富	9月9日(日)	10:00~12:00	西富浜塩田の里ふれあいセンター	59	69	128	45
	田尻	9月16日(日)	10:00~12:00	尾道市民センターむかいしま2階大研修室	62	88	150	41
	川尻	9月17日(月)	10:00~12:00	川尻コミュニティセンター	79	133	212	83
	土井	9月8日(土)	10:00~13:00	土井地区公民館	14	22	36	17
	宇立	9月17日(月)	10:00~12:00	宇立公民館	76	110	186	54
	有道	9月15日(土)	13:00~15:00	有道ふれあいセンター	141	195	336	72
	津部田	9月9日(日)	9:00~11:00	津部田コミュニティセンター	109	189	298	108
	岩子島	9月17日(月)	13:30~15:30	農業構造改善センター	65	105	170	65
立花	9月17日(月)	13:30~15:30	いきいきサロン立花(和)	56	87	143	41	
小計				15	1,167	1,767	2,934	788
因島	土生	9月15日(土)	10:00~12:00	因島市民会館	423	759	1,182	268
	田熊	9月15日(土)	9:30~12:30	田熊西市民スポーツ広場 体育館	343	482	825	328
	三庄			【「詳細」表参照】	2	356	554	310
	中庄			【「詳細」表参照】	4	380	564	413
	大浜	9月9日(日)	11:00~14:30	大浜公民館	75	119	194	83
	重井	9月15日(土)	13:00~15:30	重井公民館	254	393	647	112
	東生口	9月17日(月)	9:00~11:30	東生口公民館	115	163	278	119
小計				11	1,946	3,034	4,980	1,633
瀬戸田	御寺	9月16日(日)	11:00~14:00	御寺集会所	37	55	92	39
	宮原	9月16日(日)	11:00~15:00	生口島総合開発センター	43	67	110	33
	荻	9月17日(月)	11:30~14:30	荻区南風園	42	55	97	32
	田高根	9月16日(日)	11:30~15:00	田高根なぎさ園	25	40	65	43
	垂水	9月17日(月)	11:00~13:30	垂水垂幸園	53	72	125	60
	福田	9月17日(月)	12:00~14:30	福田たちばな荘	99	135	234	76
	港	9月16日(日)	12:00~15:00	福田たちばな荘	16	28	44	16
	瀬戸田	9月16日(日)	11:30~14:00	瀬戸田光照苑	58	109	167	55
	高根	9月16日(日)	12:00~15:00	いきいきサロン高根潮香園	51	95	146	81
	沢	9月16日(日)	11:00~13:30	沢公民館	37	50	87	37
	鹿田原	9月16日(日)	11:00~14:00	鹿田原集会所	13	22	35	21
	中野	9月16日(日)	11:00~13:00	中野集会所	71	88	159	52
	林	9月16日(日)	11:00~13:00	林公民館	88	122	210	91
	名荷	9月17日(月)	11:00~13:30	名荷集会所	132	181	313	130
小計				14	765	1,119	1,884	766
合計				105	10,029	15,694	25,723	7,074

		町内会等	開催日	開催時間	会場 ; 数値は会場数	男性数	女性数	合計	出席者	
旧尾道	筒湯	南久保・久保本町	9月9日(日)	10:00~12:00	いきいきサロン筒湯	57	99	156		
		浄土寺	9月8日(土)	10:00~11:30	いきいきサロン筒湯	31	45	76		
		川端	9月17日(月)	9:30~11:30	いきいきサロン筒湯	27	58	85		
		筒湯	9月16日(日)	10:00~11:30	いきいきサロン筒湯	23	37	60		
		久保一丁目	9月17日(月)	10:00~12:00	今川茶舗 蔵 特設茶室	25	50	75		
		瑠璃筒湯	9月17日(月)	10:30~12:00	中央図書館視聴覚室	13	39	52		
	小計				6	176	328	504	122	
	栗原久山田	下組北	開催中止				26	54	80	0
		本通り第2	9月15日(土)	13:00~15:00	いきいきサロン栗原	52	82	134	49	
		本通り第3	9月16日(日)	10:30~12:00	いきいきサロン栗原	44	66	110	28	
		本通り第4	9月14日(金)	13:00~14:00	グランドールおのみち武番館1階集会室	5	5	10	6	
		本通り第5	9月17日(月)	13:00~15:00	グランドール尾道参番館集会室	2	9	11	6	
		則末町内	9月17日(月)	10:00~	尾道市総合福祉センター	168	244	412	127	
		則末第4	9月16日(日)	11:00~13:00	グランドール五番館会議室	1	3	4	4	
		向ヶ峠	9月17日(月)	11:00~14:30	いきいきサロン向峠	91	157	248	58	
		向山	9月17日(月)	10:00~13:00	向山クラブ	56	81	137	34	
		竹屋	9月16日(日)	11:00~13:30	竹屋会館	76	122	198	40	
		川上	9月17日(月)	10:30~14:00	川上公民館	125	186	311	66	
大地		9月17日(月)	10:00~11:00	大地公民館	24	37	61	17		
緑ヶ丘		開催中止				1	14	15	0	
門田		9月16日(日)	9:30~12:00	尾道市総合福祉センター	122	209	331	75		
竜王台	9月17日(月)	8:30~17:00	岩国錦帯橋・吉香公園	18	19	37	3			
大迫	開催中止				8	7	15	0		
久山田	9月16日(日)	9:00~11:30	尾道市立大学第一体育館	65	79	144	79			
小計				14	884	1,374	2,258	592		
栗原北	三美園団地	9月15日(土)	11:00~14:00	千光寺山荘	125	154	279	46		
	大迫団地	9月16日(日)	11:00~14:00	栗原北公民館	49	65	114	46		
	三成ヶ丘	9月9日(日)	12:00~14:00	千光寺山荘	37	47	84	24		
	松岡団地・堂面	9月14日(金)	11:30~13:30	千光寺山荘	48	82	130	36		
	三美園住宅	9月16日(日)	10:00~12:00	三美園住宅市営集会所	15	22	37	28		
	竹屋東	9月16日(日)	11:00~13:00	養老温泉	18	18	36	8		
	松岡	9月16日(日)	11:00~14:30	いきいきサロン栗原北	40	69	109	40		
	竹屋団地	9月16日(日)	11:00~14:00	竹屋団地町内会集会所	57	77	134	37		
	幸が丘	9月17日(月)	11:30~13:30	千光寺山荘	18	22	40	18		
	幸ヶ丘	9月16日(日)	10:00~11:00	幸ヶ丘住宅集会所	5	5	10	5		
小計				10	412	561	973	288		
浦崎	上組	9月16日(日)	11:00~14:00	弓場山荘	37	58	95	38		
	灘	9月16日(日)	11:00~14:00	灘クラブ	37	65	102	39		
	高尾	9月16日(日)	11:00~14:00	高尾集会所	36	54	90	35		
	永田・下組・新田・海老	9月16日(日)	11:00~14:00	浦崎公民館	125	174	299	78		
	満越	9月16日(日)	11:00~14:00	満越集会所	20	30	50	27		
	戸崎	9月16日(日)	10:30~13:30	戸崎区民会館	32	58	90	36		
小計				6	287	439	726	253		
向東	彦ノ上二	9月17日(月)	10:00~13:00	彦ノ上児童館	40	59	99	34		
	堤	9月29日(土)	13:30~15:00	堤区二番湯集会所	27	52	79	25		
	寺内	9月17日(月)	10:00~12:00	寺内公民館	59	107	166	92		
	大町	9月15日(土)	11:00~13:00	大町地区公民館	21	31	52	28		
	谷水	9月17日(月)	10:30~12:00	谷水公民館	11	28	39	21		
	古江奥	10月5日(金)	11:00~13:00	古江奥公民館	22	23	45	19		
	向東	9月17日(月)	13:00~15:30	向東公民館	499	719	1,218	215		
小計				7	679	1,019	1,698	434		
因島	三庄	9月16日(日)	13:00~16:00	旧三庄中学校体育館	345	540	885	292		
	椋浦	9月16日(日)	11:00~14:00	椋の里ゆうあいランド交流館	11	14	25	18		
	小計				2	356	554	910	310	
	中庄	9月17日(月)	10:00~12:00	中庄公民館	268	381	649	284		
	鏡浦	9月17日(月)	10:00~12:00	鏡浦町民会館	11	27	38	28		
	外浦	9月16日(日)	10:00~12:00	外浦集会所	37	56	93	42		
西浦	9月17日(月)	11:00~14:00	因島ふれあいセンター	64	100	164	59			
小計				4	380	564	944	413		

7. 障害者福祉事業

ボランティア活動の促進、福祉的人材の育成、当事者団体への支援、地域活動の活発化によりあらゆる機会を通じて障害者の社会参加の促進を図った。

(1) 障害者社会参加促進事業

本所、支所がそれぞれ障害者の社会参加と自立を推進する各種講座やボランティアの養成を行った。

① 各種養成講座

ア 手話通訳奉仕員養成講座

地域名	実施期間	開催曜日・回数	受講者	修了者
市 域	5月24日～3月14日	毎週木曜日 35回	11名	8名

イ 手話講習会 ※講師は、いずれも手話サークル会員とろうあ協会会員

地域名	実施期間	開催曜日・回数	受講者	修了者
旧尾道	5月25日～10月12日	毎週金曜日 17回	11名	9名
御 調	5月12日～7月28日	毎週土曜日 10回	6名	2名
向 島	5月23日～9月26日	毎週水曜日 17回	5名	4名
因 島	5月15日～9月25日	隔週火曜日 10回	4名	3名

ウ 手話通訳登録奉仕員学習会〈専門研修〉 ※外部講師 広島県手話通訳派遣委員会

受講者：延べ124名 11回

対象者：手話通訳派遣に登録している方

エ 点字奉仕員養成講座

※講師は、点字サークル会員

地域名	実施期間	開催曜日・回数	受講者	修了者
旧尾道	5月16日～8月8日	毎週水曜日 10回	3名	3名
向 島	6月8日～11月30日	第2・4金曜日 10回	4名	3名
因 島	5月9日～11月28日	毎月水曜日 10回	4名	4名

オ 朗読講習会 ※講師は、朗読ボランティア会員

地域名	実施期間	開催曜日・回数	受講者	修了者
旧尾道	10月9日～3月12日	第2・4火曜日 10回	7名	5名
御 調	6月7日～8月2日	第1・3木曜日 5回	2名	2名
向 島	6月14日～10月25日	第2・4木曜日 10回	2名	2名
因 島	9月19日～2月20日	第1・3水曜日 10回	3名	3名

カ 朗読講習会〈専門研修〉

講 師：武田智子さん

受講者：17名 11回

対象者：旧尾道地域朗読ボランティア会員

キ 要約筆記者養成講座

地域名	実施期間	開催曜日・回数	受講者	修了者

御 調	5月9日～10月10日	第2・4水曜日	10回	2名	1名
-----	-------------	---------	-----	----	----

② 障害者スポーツ教室開催事業

地域名	教室等の行事名	参加者
旧尾道	水中ウォーキング	16名
	スポーツ吹き矢	44名
因 島	水泳教室・着衣泳実技	41名
	ふれあい運動会（ペアレース等9種目）	77名
	グラウンドゴルフ大会	28名
	卓球教室・大会	402名
御 調	ふれあい交流会	35名
	高齢者・障害者ふれあいスポーツ大会	179名
瀬戸田	身障スポーツ大会	25名

③ 啓発普及事業

第25回「障害者週間」尾道福祉大会

日 時	12月8日（土）13:00～15:10
場 所	総合福祉センター
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ アトラクション 「和太鼓・竹太鼓」 （社福）あづみの森 尾道発達相談・療育支援センターあづみ園 園児 ○ 意見発表 テーマ：「ぼくの仕事と楽しみ」 （社福）尾道さつき会 むかいしま作業所 半田智昭さん ○ 講演 演題：「可能性を信じて誰もが人生の主人公」 講師：チェロソロスタンディング奏者 吉川よしひろさん 参加者200名

④ 生活訓練事業

ア 介助ボランティア養成講座（障害者福祉）

（ア）講 義

開催日時	内 容
1月13日（日） 13:30～15:00	テーマ：「支援者としての傾聴のあり方」 講 師：（株）東中国カウンセリングセンター 代表カウンセラー 馬屋原眞美子さん
1月20日（日） 13:30～15:00	テーマ：「知的障害の理解」 講 師：社会福祉法人 萌え木の里 三宅篤さん・魚谷由利子さん

1月27日(日) 13:30~15:00	テーマ：①介助を実際に体験しよう（車いすの扱い方・白杖体験） ②どんぐりの会について 講師：介助ボランティア「どんぐりの会」
-------------------------	--

イ チャレンジクッキング（10回） 参加者 100名

在宅の知的障害者を対象にボランティアと一緒に簡単な料理を楽しむ教室を開催した。達成感、充実感を味わい日常生活でも調理するなど意欲につながっている。7月の豪雨災害後、福祉センター業務停止に伴い一時休止した。

ウ は一とらんど（10回） 参加者 59名

知的障害者の休日の居場所づくりや仲間づくりのために開催した。障害者同士の交流がもてるように支援した。7月の豪雨災害後、福祉センター業務停止に伴い一時休止した。

エ 簡単料理教室（9回） 参加者 142名

向島・瀬戸田の各地域で知的障害者を対象に料理教室を行った。地元の野菜を使った料理を作るなど工夫し、調理を重ねていくことで日常生活につながる活動になった。延べ参加者数は向島地域 109名、瀬戸田地域 33名であった。

⑤ 障害者IT総合推進事業

パソコン入門（41回） 参加者 121名

障害者を対象に、日常生活の向上及び社会参加の促進を図る目的で開催。それぞれ参加者のレベルにあわせた講座とすることで、パソコンの操作技術を習得した。7月の豪雨災害後、福祉センター業務停止に伴い一時休止した。

⑥ 芸術文化講座開催事業

ふでふで工房（10回） 参加者 46名

月に1回知的障害者を対象に習字教室を8回、絵手紙教室を2回開催した。知的障害者の休日の居場所づくり、仲間づくりに役立った。3月7日から13日まで、尾道福屋パブリックギャラリーで11回目となる展示会を行い、成果をたくさんの方に見てもらえた。

また、参加者の意欲向上にもつながった。7月の豪雨災害後、福祉センター業務停止に伴い一時休止した。

（2）障害者当事者団体への支援・協力

ア 障害者団体等に協力した。

イ 地域で活動する障害者関係団体のスポーツ大会、福祉大会、研修会等を支援した。

ウ 尾道市身体障害者福祉協会の各行事の支援を行った。

8. 児童福祉事業

（1）子育て支援ネットワークづくり

ブックスタートから始まる子育て支援を推進し、おやこカフェやおやこ広場、子育てサロンの育成や子育て支援ネットワークへの協力を行った。

① **ブックスタート事業**（4カ月児健診の乳児へ絵本の読み聞かせとプレゼント）

社協、図書館、健康推進課、民生委員児童委員、読み語りボランティア、保育ボランティアなどが協力して実施し、815人の赤ちゃんへ絵本や子育て支援情報のプレゼントを行った。

地域名	旧尾道・向島	御調	因島	瀬戸田	
実施回数	年間34回	年間6回	年間6回	年間8回	
場所	総合福祉センター	御調保健福祉センター	因島保健センター	瀬戸田福祉保健センター	
対象児数	663名	36名	86名	30名	
役割分担	健診	健康推進課	御調保健福祉センター	健康推進課	健康推進課
	受付等	民生児童委員	民生児童委員	民生児童委員	民生児童委員
	絵本の紹介	中央図書館	みつぎ子ども図書館	因島図書館	瀬戸田図書館
	読み語り	「なのはな」	「おはなしラッコ」	「さざなみ会」	「ひよこちゃん」
	赤ちゃんの抱っこ	「おのママサポーターズ」		民生児童委員	

② **ブックスタート・プラス事業**

1歳6カ月児健診の幼児に図書館、読み語りボランティアの協力を得て、809人に絵本を読み聞かせしたうえでプレゼントした。

地域名	旧尾道・向島	御調	因島	瀬戸田	
実施回数	年間37回	年間6回	年間6回	年間8回	
場所	総合福祉センター	御調保健福祉センター	因島総合福祉保健センター	瀬戸田福祉保健センター	
対象児数	636名	34名	94名	45名	
役割分担	健診	健康推進課	御調保健福祉センター	健康推進課	健康推進課
	絵本の紹介	中央図書館	みつぎ子ども図書館	因島図書館	瀬戸田図書館
	読み語り	「なのはな」	「おはなしラッコ」	「さざなみ会」	「ひよこちゃん」

③ **ブックステップアップ事業**

3歳児健診の幼児に図書館、読み語りボランティアの協力を得て、885人に絵本を読み聞かせしたうえでプレゼントした。

地域名	旧尾道・向島	御調	因島	瀬戸田
実施回数	年間 39 回	年間 6 回	年間 6 回	年間 8 回
場 所	総合福祉センター	御調保健福祉センター	因島総合福祉保健センター	瀬戸田福祉保健センター
対象児数	691 名	45 名	93 名	56 名
役割分担	健 診	健康推進課	御調保健福祉センター	健康推進課
	絵本の紹介	中央図書館	みつぎ子ども図書館	瀬戸田図書館
	読み語り	「なのはな」	「おはなしラッコ」	「さざなみ会」

④ ブックスタート関連取組み

ア ブックスタート事業会議

10月10日（水） 大阪市議会公明党議員行政視察

2月8日（金） 尾道地区ブックスタート事業関係者会議

【成果】

- ・ 事業のアンケートにおいて、ブックスタート事業を受けた方は、家庭で絵本を読む機会が増え、親子で向き合う時間が増えていると感じる割合が高い。また、図書館を利用されるきっかけになっている。
- ・ 民生委員児童委員協議会が事業会場で直接親子と接することができ、子育て以外のことでも相談に応じられることを伝えられている。
- ・ 健康診査後にブックスタート事業を行うことで、リラックスして健診を終えることができ、健診自体のイメージアップにも繋がっている。

【課題】

- ・ 4カ月児に比べ、1歳6カ月児、3歳児と年齢が上がるごとに、家庭での読み聞かせの時間の割合、健康診査への参加が減少している。事業の継続及び一層の充実が必要。

⑤ 子育て支援サロンの推進事業

市内 16 カ所で原則毎月 1 回以上のサロンを開催した。

各子育てサロン開催時使用できる、木のおもちゃを購入し、各サロンへ貸出を行っている。

子育て支援関係者と子育てサロンリーダーとの情報交換の場として関係者会議を開催した。子育てサロン連絡協議会と協議を行い、サロン同士の情報交換や連絡調整を目的に、子育てサロン交流会（年 3 回）の開催やおのみちキッズフェスタ、福祉まつりへ参加し、サロン同士の交流を図った。

子育てサロン連絡協議会が、各子育てサロンを巡回し、エプロンシアター、パネルシアターを行った。また、サロン運営に関する相談体制を確立した。

平成 30 年 5 月から新しく土堂子育てサロン「たいよう」が立ち上がった。子育てサロン連絡協議会と協力し、毎月 1 回開催できた。

[子育てサロン一覧]

サロン名	場 所	主 催	回 数
高須子育てサロン「ひよこクラブ」	高須東部公民館	高須地区社協	月 4 回
「らっこクラブ」	高須東部公民館	高須地区社協	月 1 回
山波子育てサロン「クローバー」	山波公民館	山波地区社協	月 1 回
土堂子育てサロン「たいよう」	土堂公民館	土堂地区社協	月 1 回
日比崎子育てサロン「ひびきっず」	日比崎公民館	日比崎地区社協	月 4 回
吉和子育てサークル「ドレミサークル」	吉和公民館	民生委員会	月 1 回
栗原子育てサークル「お日さまクラブ」	中央公民館久山田分館	栗原地区社協	月 1 回
栗原子育てサロン「ちえりいクラブ」	いきいきサロン栗原	栗原地区社協	月 1 回
栗原北子育てサロン「日だまりカフェ」	栗原北公民館	栗北地区社協、	月 1 回
三成子育てサロン「にこにこ」	才原なごみ館	三成地区社協	月 1 回
西藤子育てサークル「ぞうさんクラブ」	福田ふれあい館	西藤地区社協	月 1 回
浦崎子育てサークル「ほっとにこにこ」	浦崎公民館・認定こども園	浦崎地区社協	月 2 回
向東子育てサロン「ぴよぴよ」	向東公民館	ぴよぴよ実行委員会	月 2 回
向島子育てサロン「すくすく」	愛あいセンター	むかいしま子育てサ ロン実行委員会	月 1 回
因北子育てサロン「うきうき」	中庄公民館	子育てボランティア うきうき、中庄町社協	月 2 回
瀬戸田子育てサロン「バンビ」	瀬戸田福祉保健センター	瀬戸田地区社協	月 8 回

⑥ およこカフェ、およこ広場等子育て支援事業

⑦ 関係機関との連携

- ア 医師会少子化対策等検討委員会への参加
- イ 「尾道市子育て支援ネットワーク」の会議へ月 1 回の参加、定例会、活動への協力
- ウ 尾道みなと祭への参加
- エ Let's御調グループのイベント（1回）、協働会議（年 3 回）への参加
- オ 健康おのみち 21 食育推進委員会への参加
- カ おのみちキッズフェスタへの参加

【成果】

孤立しがちな子育て中の保護者の居場所づくりを行う事ができた。子育て中の悩みを、同じ子育て中の保護者で相談し合える仲間づくりができるとともに、これまで、地域とのつながりを持てなかった親子に地域の子育て支援者との接点をつくる事ができた。

【課題】

子どもの成長と共に、サロン運営の代表者が頻繁に交代することにより、運営上の引継ぎができにくいため、支援できるボランティアの育成が必要。子どもの人数が減少し、特に減少の急激な地域での開催が困難である。また、支援者の過度な支援が親力の育ちを妨げている傾向にあるため、研修などを通じた支援者の意識改革が必要。

(2) 子どもの居場所づくり

①こどもサポート事業

近年、家族の形や働き方が変わり、地域との関わりが減少してきたことで、子育てが各家庭に任される事が多くなっている。「我が子に幸せに生きてほしい。」という思いを持ちつつも、家庭の事情で子育てに悩む保護者が増えている。

本事業は、そのような社会の変化を受け、公益財団法人日本財団（東京都）の助成で、平成29年7月からスタートした。市内に「子どもの居場所」を設け、平日の14時から21時までを開設時間とし、小学校低学年を中心とした児童に、保育士や大学生などが、学習支援、夕食提供、遊びや困り事の相談相手になっている。平成31年2月には、市内2カ所目の「子どもの居場所」を開設した。

本事業では、市や学校と協働して、支援のネットワークづくりにも取り組んでいる。利用定員は、各施設20名である。開設以来、徐々に利用児童が増えており、平成31年3月末には2カ所合わせて17名となっている。他の福祉機関と連携して生活のサポートも行い、子育て環境が改善し、積極性が身に付いた児童もいる。誕生日会や、クリスマス会などの行事体験、夏休みの遠足や社会見学を実施し、子どもの経験を深める活動も実施している。

来年度も引き続き関係機関とのネットワークの強化に努め、支援を必要とする子ども達により良いサポートを行っていきたい。

②子どもの学習支援事業

経済的な理由で学習や進学が環境が十分でないひとり親家庭や生活困窮世帯等の子どもの学力向上のために学習支援事業を実施し、高等学校等への進学を支援するとともに、居場所の提供を通じて、社会性の育成を行い、将来社会的に自立できるよう事業を推進した。

対象者：原則、市内在住の小学校4年生～中学校3年生

（生活保護世帯、就学援助受給世帯、母子世帯、父子世帯）

定員：概ね55名（ただし、柔軟に対応する）

※年度末時点の登録者数58名

実施場所：尾道市総合福祉センター

実施回数実績：47回（原則として毎土曜日、午前10時～12時）

※7月の豪雨災害により、7月の中止分を日曜日等に振替えて実施した。

実施内容：ア 学習支援

学校の勉強の復習、宿題の習慣づけ、学び直し、その他学力向上を目的に、レベルに応じた個別指導方式による指導。

イ 居場所の提供

子どもが安心して通える場所の提供、ボランティア等との世代間交流を通じた社会性やコミュニケーション能力育成の支援。

学習支援員：元教員3名、その他1名、学生13名 計17名（登録者数）

・登録児童（生徒）数

平成30年度末時点

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	計
男子	0	3	0	7	5	4	3	6	4	32
女子	1	0	0	3	5	8	3	2	4	26
合計	1	3	0	10	10	12	6	8	8	58

・平均出席人数

単位：人

1学期	2学期	3学期	年間
17.8	19.8	17.5	18.3

【成果】

中学3年生8名全員が高校や専門学校へ進学することができた。

学習機会、学習時間の確保と居場所づくりに努め、社会性と自立意識の向上のための支援をすることができた。

【課題と目標】

出席率の低い児童、生徒がいるときには、電話での呼びかけ、年間スケジュールカレンダーの送付や、本人、保護者との面談を実施したりしながら、出席率の向上を図る。

学習意欲の向上に努め、高校等の進学が達成できるように支援したい。

学習支援員登録者は、学生の割合が高いため、大学の長期休業期間中は支援員不足が心配されるため、登録支援員の増員に努めたい。

9. 母子・父子福祉事業

(1) ひとり親家庭の就労支援講座（母子・父子福祉センター事業参照）

医療事務講座、調剤薬局事務講座、簿記入門講座、パソコン講座を実施し、ひとり親家庭及び寡婦の方々を対象にした就労支援講座を行った。就労やスキルアップに役立つように資格取得を目標にした講座や、事務職希望の方のために簿記やパソコンなどの技能を身につける講座を開催した。

また、講座中の託児を設け、小さい子どもがいる家庭の方も安心して受講できる体制を整えた。

(2) 尾道市母子寡婦福祉連合会への協力

- ・ ひとり親家庭の自立に向けて協力して、就労支援や交流事業に取り組んだ。
- ・ 母子会の各行事へ協力援助した。

10. 尾道市総合福祉センター等の管理

(1) 尾道市総合福祉センターの管理

総合福祉センター利用状況（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

階	室名等		市社協	福祉センター	無料登録団体	市	有料	合計	件数	総合計
1階	作業室	午前	404	681	393	130	0	1,608	344	2,986
		午後	208	95	732	187	0	1,222		
		夜間	13	0	118	25	0	156		
	会議室	午前	498	88	315	145	41	1,087	170	2,412
		午後	115	65	411	395	16	1,002		
		夜間	0	10	200	68	45	323		
	小会議室	午前	402	47	781	2,122	84	3,436	493	5,601
		午後	442	26	540	541	102	1,651		
		夜間	17	0	326	35	136	514		
	和室	午前	255	430	897	85	0	1,667	254	3,735
		午後	208	146	1,018	544	9	1,925		
		夜間	0	0	133	10	0	143		
	ボランティア室	午前	0	20	592	0	0	612	233	1,171
		午後	0	0	559	0	0	559		
		夜間	0	0	0	0	0	0		
機能回復訓練室	午前	9	2,151	9	0	0	2,169	291	2,346	
	午後	0	66	79	0	0	145			
	夜間	0	0	32	0	0	32			
2階	会議室	午前	2,666	1,259	582	2,327	128	6,962	424	13,721
		午後	1,321	263	929	3,332	150	5,995		
		夜間	253	0	181	280	50	764		
	小会議室	午前	221	35	381	537	92	1,266	324	2,900
		午後	270	69	379	606	88	1,412		
		夜間	0	0	189	0	33	222		
	教養娯楽室	午前	476	929	801	188	0	2,394	421	11,673
		午後	0	9,025	223	31	0	9,279		
		夜間	0	0	0	0	0	0		

	創作室	午前	21	18	701	33	0	773	179	1,364
		午後	3	41	400	133	0	577		
		夜間	0	0	14	0	0	14		
	児童センター	午前	0	15,391	0	0	0	15,391	271	15,391
		午後	0	0	0	0	0	0		
	3階	保育室	午前	2,277	2,003	0	2,526	0	6,806	327
午後			3,226	721	0	1,990	0	5,937		
夜間			0	0	0	0	0	0		
調理実習室		午前	67	648	607	852	40	2,214	178	3,539
		午後	43	364	301	597	20	1,325		
集会会議室		午前	158	201	329	4,479	30	5,197	361	11,439
		午後	35	87	370	5,327	125	5,944		
		夜間	18	0	191	89	0	298		
健康相談室		午前	0	5	0	4,557	0	4,562	399	10,095
		午後	0	60	0	5,452	0	5,512		
		夜間	0	0	11	10	0	21		
栄養指導室		午前	30	7	72	4,338	10	4,457	268	9,839
		午後	0	62	30	5,290	0	5,382		
保健指導室		午前	0	5	0	4,527	0	4,532	391	10,014
		午後	0	60	0	5,422	0	5,482		
4階	集団指導室	午前	2,966	182	800	4,449	190	8,587	405	15,755
		午後	1,284	51	747	4,475	122	6,679		
		夜間	57	0	207	105	120	489		
	会議室	午前	522	64	523	966	38	2,113	341	5,725
		午後	269	34	861	1,645	59	2,868		
		夜間	19	0	279	390	56	744		
	大会議室	午前	1,017	8,712	1,754	5,359	503	17,345	341	29,517
		午後	675	665	2,146	5,094	1,050	9,630		
		夜間	117	0	0	2,400	25	2,542		
共有	全館	午前	2,350	0	0	2,500	0	4,850	17	9,600
		午後	2,250	0	0	2,500	0	4,750		
	1Fロビー	午前	0	0	0	0	0	0	5	52
		午後	0	0	38	14	0	52		
合計			25,182	44,786	21,181	87,107	3,362	181,618	6,437	181,618

(2) 向島愛あいセンターの管理

向島愛あいセンター使用状況 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

室名等	利用件数 (件)	利用人数 (人)
第1会議室	44	776
第2会議室	140	3,451
第3会議室	88	926
ロビー	35	399
ひまわり	12	633
コチョウラン	24	61
コスモス	27	195
カーネーション	53	547
はなみずき	26	188
アーモンド	104	779
相談室	38	110
合計	591	8,065

(3) 因島総合福祉保健センターの管理

因島総合福祉保健センター使用状況 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

室名	利用件数 (件)	利用人数 (人)
調理室・和室	86	1,932
プレイルーム	33	593
相談室	36	351
会議室	114	2,116
合計	269	4,992

11. 尾道市総合福祉センター事業

(1) 障害者福祉センター事業

障害者手帳（身体・療育・精神）をお持ちの方を対象に、障害者の自立と社会参加を促進し、生活改善、身体機能の維持向上などを図ることを目的に各種の教室や行事を企画、実施した。平日開催の教室には主として身体、精神の障害者が参加した。また土・日曜日は知的障害者が参加できる教室を開催し、生活訓練、自立支援、休日の居場所づくりや仲間づくりにも役立てた。障害者同士の交流が増え身体のリハビリだけでなく楽しく教室に参加することで生活に活気がでると他の行事への参加も促された。特に「あったかクッキング」「つどい」は誘い合っただけの参加が多い。

より多くの障害者が参加できるように、前年度から毎回内容を変えた月1回の「つどい」教室は今年も好評だった。実施内容はフラワーアレンジ、絵手紙、キャンドル作り、ハーバリウム、料理教室、県立リハビリテーションセンターによるスポーツ体験など多彩に開催した。個々の興味、関心ややりたいこともそれぞれで毎回内容をかえることによって初めてセンター行事に参加する人もあり、障害者が安全に集える場所となった。来年度もいろいろな内容を考えていきたい。「楽しむハーモニカ」は月1回の教室だけでなく福祉まつりの「障害者コンサート」、「まんまるの会（交流会）」での演奏も経験した。「水中ウォーキング」「スポーツ吹き矢」は初めて参加する人もあり積極的に身体を動かすことを楽しんだ。

知的障害者の休日の居場所づくりや仲間づくりのために「はーとらんど」を月1回開催し、気軽に同じ年代の知的障害者が集まりお菓子とお茶を飲みながらおしゃべりをしている。少人数ではあるが安全な居場所、交流の場として活用されている。ふでふで工房（知的障害の習字クラブ）のがんばった成果を見てもらうための作品展が11回を数えた。今年も習字だけでなく絵手紙の作品を展示した。毎年開催を楽しみにして下さる方もいて参加者の励みになっている。

介助ボランティアの支援を受けて月1回土曜日に開催している知的障害者対象の「チャレンジクッキング」は保護者や指導員から離れて自分の思いを出して活動できると熱心に継続している参加者も多く、経験を積み重ねて自信につなげている。本人の生活、自立支援の場として活用し、休日の居場所づくり、仲間づくりにも生かしてもらいたい。介助ボランティアの資質や人数も充実させるため「介助ボランティア養成講座」を開催した。新規受講者だけでなく、すでに活動中の会員のスキルアップも図った。新規受講者7名の内、3名がどんぐりの会に入会し活動することになった。これからも連携し支援していく。

年に1回開催する障害者福祉センターの交流会（まんまるの会）では、他の教室の内容や雰囲気を知ることができるだけでなく、障害者自身が楽しく前向きに活動する姿をお互いに認め合うことができた。

7月の豪雨災害後のセンター業務停止に伴い7月中の教室、同好会を一時休止した。センターが避難所、給水、入浴支援の拠点になった時、日頃からセンターを知っていた人にはなじみがあり行きやすく相談しやすかったという意見をいただいた。障害者と日頃からの関係性をしっかり作っていききたい。

障害者福祉センター事業の内容

基本事業	事業名	開催回数	参加人数
機能訓練	日常生活動作、歩行訓練	268回	(障害者) 378名
	あったかクッキング(月1回)	10回	100名
IT総合推進事業	パソコン入門(月4回)	41回	121名
芸術文化講座	ふでふで工房(知的障害者のための習字クラブ)(月1回)	10回	46名
本人支援事業	チャレンジクッキング(月1回)	10回	100名
	はーとらんど(月1回)	10回	59名
社会参加活動	うたの花束(月1回)	9回	86名
	つどい(月1回)	10回	95名
スポーツを楽しもう	かるやか水中ウォーク(3回開催)	3回コース	16名
	スポーツ吹き矢(5回開催)	5回	44名
更生相談	福祉生活相談	14回	17名
創作・趣味活動	楽しむハーモニカ	11回	100名
	交流会「まんまるの会」	1回	33名
	介助ボランティア養成講座	3回	69名
夏休み教室	大雨災害のため教室中止	—	—
同好会	悠々パソコン	40回	317名
	栗クラブパソコン	41回	351名
	習字同好会	19回	59名

(2) 老人福祉センター事業

市内在住の60歳以上の方を対象に身体機能の維持向上、体力の維持・増進、生きがいをづくり、仲間づくり、出かけるきっかけづくりを目的に各種教室や行事を企画・実施した。

長年続いている「うたごえ体操」は楽しく身体を動かせると大好評で毎回150名以上の参加があった。また男性限定の「男のストレッチ」は初めて出るにはもってこいの教室であり、男性同士で気兼ねがないと喜ばれ参加者が増加している。今年度も引き続き健康講座「ぽかぽか体操」、「じんわりストレッチ」を定期的に行い、ご自身の健康維持・増進のため積極的な参加があった。単発で「60歳からのハワイアン・フラ」、「ここからケア」、「60歳からのゆったりバレエストレッチ」、「いきいきレクリエーション」、「3B体操」なども開催し、いろいろな体験が参加者の体力維持向上につながった。体操の教室はどれも好評で健康維持増進や友達の輪が広がり元気がもらえる場としてたくさんの方が熱心に訪れ、回を重ねるごとに増えた。地域ではお隣近所の方との情報交換で新たな仲間を誘って来館する様子も見られた。音楽療法の「うたを楽しもう」は、童謡、唱歌や懐かしの歌謡曲を聴いて唄うことで過去の記憶を回想し五感の刺激になり、自分の存在を確認できる有意義な時間となった。

「囲碁・将棋クラブ」は多くの男性が集まって娯楽を楽しんでいた。

健康で長生きするためには口の中の健康が重要であることから歯科の先生を招いて「歯から健康寿命をのばそう」を開催した。歯の健康が身体に繋がっていることがわかった。

高齢者が重症化しやすい「熱中症」「インフルエンザ」の時期には教室開催のたびに注意

を呼びかけ、地域で安心して過ごせる情報提供をした。

趣味活動では「干支の押し絵をつくろう」の教室を開催。十二支を揃えることを目標に意欲的に取り組んでいた。ここへ参加する一人ひとりが“いきいき”と活動し“きらきら”とした表情を見せ互いに良い刺激となっており、趣味や生きがいを見つけるのはもちろん、新しい仲間と出会える絶好の機会になっている。年に一度開催している「いきいき・きらきら交流会」はバンドグループの演奏を楽しみ、当日はサプライズで有名なシンガソングライターが登場しアメリカの弦楽器バンジョーの優しくて温かいサウンドがみなさんの心を癒してくれた。

夏休みチャレンジ教室では本物の竹を使って「ひんやりそうめん流し」を開催した。高齢者が竹を準備し、男の手料理同好会の男性がそうめんを湯がいて賑やかにそうめんを頬張り満足そうな表情をしていた。高齢者が子どもを褒めたり、子ども達も高齢者からたくさんのお話を学び、世代を超えてふれあっている姿が見られた。今後も異世代で交流がもてる内容を継続して企画していく。

来年度も多くの方に参加してもらえよう、参加者の意見やニーズをとり入れ、疾病の予防、介護予防の知識や情報を提供し身体的・精神的・社会的に楽しく健康で過ごせるヒントに気づき利用者の考え方や視野を広げる企画を行い魅力ある教室や講演会などを行っていく。

老人福祉センター事業の内容

基本事業	事業名	開催回数	参加人数
機能回復訓練事業	機能回復訓練	286回	2,173名
	お気楽クラブ	10回	78名
一人暮らし高齢者に対する事業	むつみ会	10回	218名
男性の自立支援事業	囲碁・将棋クラブ	264回	9,215名
	男のストレッチ	32回	735名
音楽療法	うたを楽しもう	11回	927名
	しの笛の音色を楽しもう	1回	41名
啓発事業	骨のレッスン	2回	161名
	健康年齢を上げる呼吸法と体操	1回	52名
介護予防事業	3B体操を体験しよう	1回	36名
	ぼかぼか体操	12回	1,022名
	じんわりストレッチ	11回	1,029名
	脳もいきいき	10回	661名
地域づくり事業	いきいき・きらきら交流会	1回	123名
創作・趣味活動	干支の押し絵をつくろう	1回	22名
心と体の健康づくり事業	うたごえ体操	34回	4,944名
	60歳からのハワイアン・フラ	2回	65名
	ここからケア	5回	106名
	60歳からのゆったりバレエストレッチ	1回	37名
	いきいきレクリエーション	1回	73名
	歯から健康寿命をのばそう	1回	39名

三世代交流	クリスマス☆コンサート	1回	75名
夏休みチャレンジ教室	大人気!!ひんやりそうめん流し	1回	31名
	8月のカレンダーをつくろう	1回	16名
同好会	絵手紙同好会	11回	177名
	クッキング同好会	2回	23名
	男の手料理同好会(火・水コース)	22回	443名

(3) 児童センター事業

主に小・中学生を対象とした健康・体力増進・情緒育成・創作意欲を育てる目的の教室や行事を開催した。日常的な遊びの中で子どもたちは、友人や地域の方達とボードゲーム・すごろく・かるた・トランプなどのアナログな遊びで時間を共有し、一輪車や卓球、竹馬などの体を使った遊び、コマ回し・けん玉などの昔遊びを通して交流が生まれていた。また、四季折々の工作、歳時記体験としての料理教室なども行い、日本の伝統文化に親しんだ。その中でも華道は、定例の教室に加え、6月には尾道市が「全国花いっぱい運動」の会場都市にあたり、講師の働きかけで参加することができ、貴重な体験となった。さらに、毎年恒例の夏休みチャレンジ教室では、子どもたちが「自ら行動する」「楽しい・やってみたい」と申込み・参加する教室として今年度も開催した。その中の1つとして行った“赤ちゃんふれあい事業”では、親の愛情を受けて生まれ、命の重み、自分自身を大切にしたいと伝えた。そして、平日の午前中の時間を利用した子育て支援事業「あーと・らぼ」では、子どもの体験だけではなく、親もリフレッシュできる活動を取り入れ、親子で絆を深める支援を行った。

気軽に相談できるきっかけ作り・環境作りに努め、子どもの遊びの拠点・居場所となり、子ども・子育て家庭の様子から抱える問題を早期発見し、必要に応じた関係機関との連携を密にし、適切に対応することが出来た。

今後も世代、年齢、立場を超え、複合施設の利点を生かし、地域ボランティアの方々や関係機関と連携を図り、見守られ、関わり合いながら「あそび」を通して経験・発見・喜び・悔しさなどを体験し、家族や友だちと人間関係を築き、ルールやマナーなどの社会性を育んで逞しく生きていく基礎をしっかりと学ぶ場を提供し、子どもたちの健全育成を目指していく。

児童センター事業の内容

基本事業	事業名	開催回数	参加人数
子育て支援事業	えほん・よみかたり	11回	363名
	あーと・らぼ	17回	286名
	親子あそび(ぬりえ・ままごと・知育玩具など)	762回	11,546名
児童・生徒の健康・体力に関すること	卓球	213回	2,758名
	一輪車	152回	1,061名
	竹馬	114回	447名
	カプラ	102回	566名
	カロム	73回	351名
	けん玉教室・けん玉	24回	248名
	ボードゲーム(オセロ・人生ゲーム)	153回	1,020名

	お手玉教室	24回	82名
	コマであそぼう	1回	60名
	将棋	20回	129名
	ねころびシアター	22回	211名
他学年・他校との交流	子どもいけばな教室	9回	362名
自ら考え創作意欲を育てる	ちよきちよきタイム	27回	170名
	カプラであそぼう～！！	1回	39名
	こども歳時記体験(お月見、バレンタイン、ひなまつり)	1回	17名
	夏休みチャレンジ教室	6回	145名
	世界のボードゲームであそぼ～!	4回	88名
三世代交流	新年おたのしみ会	1回	93名
健全な情緒育成に関すること	特別企画「ケロポンズわくわくコンサート」	1回	458名
	けん玉大会(初)	1回	31名
	パペットおたのしみ会	1回	71名

年間登録者数

小学校	中学校	高校生	乳幼児	合計
733名 (973)	142名 (166)	17名 (19)	1,123名 (1,189)	2,015名 (2,347)

* ()内は前年度

① 防犯・不審者対策について

防犯・不審者対策研修会へ参加したほか、子どもたちへ不審者対処法を指導した。他の職員に定期的に見回りしてもらった。また、毎月1回避難訓練を実施した。

② 安全対策について

点検チェック表を作成し、蛍光灯、おもちゃ、本棚、カーテン、机、イス、ベッド、遊具などを定期的に点検した。

③ 相談や要配慮児童への対応

相談に応じるときは、常に子ども・子育て家庭の置かれている状況や緊急性・重大度に注意し、関係機関との連携を密にした。また、要配慮児童については土・日曜日、長期休暇の様子を注視し、職員間での対応の仕方、言葉掛けなどをに気をつけたほか、学校や地域、各関係機関と連携を図った。

(4) 母子・父子福祉センター事業

ひとり親(母子・父子)家庭及び寡婦の方々、乳幼児の親子を対象に、就労支援事業や子育て支援講座、教養講座等を通して福祉の向上に努めた。就労支援講座として、医療事務講座・調剤薬局事務講座・簿記入門講座・パソコン教室を開催した。資格取得を目標に学習し、熱心に通う方ばかりだった。パソコン教室では、ほとんどパソコンをさわったことが無い方もいたが、講師に丁寧に教えてもらい、ある程度の技能を身につけることができた。簿記入門講座は定員を超える申し込みがあり、事務職に就労希望の方、今の職場でのスキルアップにつなげたい方など、様々な方が受講された。難しい内容ではあるが、講師の丁寧な指導や助手のフォローで、日商簿記3級レベルの内容まで進むことができた。資格取得をしたいとの希望もあり、少人数ではあるが引き続き資格対策講座を行った。医療事務講座や簿記講座

では就職された方もおり、就労に結び付いている。講座中の託児の依頼も多く、子どもと一緒に来てもらえるのは助かると好評で、安心して学習に集中できたようだった。

子育て支援事業としてはおやかカフェ・おやか広場を開催し、乳幼児の親子の子育て支援に力を入れた。4カ月健診後のおやかカフェでは、同じ月齢の子を持つ母親達が集まり、子育ての楽しさや悩みを共有している。第一子の母でも積極的に子どもとふれあい、他の親子との交流を図り、しっかりリフレッシュしている。参加人数は減りつつあるが、その分密な交流ができ、穏やかで落ち着いた雰囲気になっている。おやか広場も母達のいい息抜きの場になっているようで、親子での時間や他の親子との交流を楽しんでいる。毎週続けて来られる親子も多く、子ども同士も刺激を与えあって、お互いの成長を促しているようである。

ひとり親家庭の親子交流会は、今年度は7回開催した。毎回楽しみに参加する親子も多く、12月のクリスマスには定員を超える参加があり、とても賑やかな交流会になった。夏には4年ぶりにそうめん流しを開催し、竹を使ってのそうめん流しは初めてという方もおり、新鮮な様子で楽しんでた。毎回来られる親子がリードして、初めての参加者に積極的に声を掛けてくれ、大変いい交流が図れている。

ひとり親家庭の小中学生を対象にしたこども料理クラブ「まんぷクッキング」は、自分で自分の食事を作れるようになることを目的に行っている。2年目となる今年度はハンバーガーやお好み焼きなど、子どもが喜ぶ楽しいメニューにした。作ること・食べることが大好きな子が参加するので、みな積極的に包丁を握り、火を使う調理にもチャレンジしていた。他の学校の子との交流も盛んで、前半は緊張していた子も後半はいい笑顔だった。

その他、尾道市母子寡婦福祉連合会との共催で講座や交流会を開催した。高齢化が進む母子会会員のため、定期的にストレッチ講座を開催し、体を動かす機会を設けた。

7月には大きな災害があり、途中講座を休止することもあったが、参加者は戸惑うことなく変更に応じてくれた。回数が減った講座はあったが、ほぼ予定通りの開催ができた。

母子・父子福祉センター事業の内容

基本事業	事業名	開催回数	参加人数
就労支援事業	パソコン教室（入門編）	4回	20名
	医療事務講座	17回	134名
	調剤薬局事務講座	7回	91名
	簿記入門講座	10回	109名
	託児	21回	36名
同好会	革工芸同好会	25回	115名
	煎茶同好会	7回	26名
	料理同好会（なごやかクッキング）	9回	78名
	教養講座	3回	54名
	ひとり親家庭の親子交流会	7回	167名
子育て支援	おやかカフェ	58回	2,048名
	おやか広場	41回	495名
	こども料理クラブ まんぷクッキング	2回	19名

(5) 福祉センター事業「よりあい広場」

障害者、高齢者の別なく尾道市在住の方ならだれでも参加できる「よりあい広場」を毎月開催した。さまざまな行事を実施し、地域福祉の拠点として総合福祉センターを広く市民に周知・活用してもらうことに役立った。参加者は11回で543名であった。

7月の豪雨災害後、教室を一時休止とし、台風接近の為に9月の教室が中止になった。

事業の内容

事業名	開催日	参加者
“正しい”ラジオ体操をやってみよう	4月19日	48名
尾道散策～歩いて発見！郷土ゆかりの人々～	5月30日	38名
ピアノ&サクソ演奏会	6月3日	128名
二胡コンサート	8月2日	41名
腸から元気に美しく	10月18日	60名
冬の健康管理	11月15日	51名
たおるマジック「来年の干支をつくろう」	12月6日	25名
バサック体操を体験しよう	12月26日	27名
笑いヨガ～笑って笑ってお元気に	1月30日	25名
楽しく！無理なく！ウォーキング	2月21日	58名
尾道散策～開港850年！尾道の古道を歩く	3月27日	42名
合計		543名

12. 共同募金事業

10月、12月の街頭募金活動をはじめ、各地区・自治会からの戸別募金、法人や学校・団体からの募金及び募金箱の設置など計画通りの募金活動ができた。平成30年7月豪雨災害での被災者支援のため、尾道市内の各所で義援金の受付がなされた背景もあり、目標額には届かなかったが、1,900万を超える募金協力をいただいた。平成29年度実績による配分金は、地域やボランティア団体等へ還元し、地域福祉活動に役立てられた。

○ 監査・実施委員会の開催

- ・ 監査 平成30年5月28日（月）
- ・ 審査委員会 平成30年8月29日（水）
- ・ 運営委員会 平成30年9月20日（木）
- ・ 目標額と実績 平成30年度 [参考] 平成29年度

目標額	21,500,000円	目標額	21,500,000円
実績額	19,291,304円	実績額	19,914,307円

募金実績の内訳

(単位:円)

地域名	旧尾道	御調	向島	因島	瀬戸田	合計
戸別	6,927,000	623,300	1,540,500	2,128,650	1,064,100	12,283,550
街頭	705,402	173,734	140,334	1,020,779	35,716	1,862,808
法人	1,370,000	318,000	561,000	351,600	352,225	2,952,825
職域	900,718	89,722	115,978	201,115	440,293	1,960,983
学校	155,003	26,789	26,507	9,132	13,707	231,138
合計	10,058,123	1,231,545	2,384,319	3,711,276	1,906,041	19,291,304

13. 災害支援事業

(1) 尾道市の被災状況

平成 30 年 7 月の西日本豪雨災害では、県内の各地で観測史上最大の豪雨に見舞われた。

尾道市の状況としては、7 月 5 日から 7 月 8 日の総雨量は、尾道市内の各観測地点で約 400mm で、7 月の降水量平年値の 2 倍を超える大雨となった。

人的被害は、死亡 3 名、重傷 2 名、軽傷 6 名。死亡 3 名のうち、2 名は桜町と防地町の土砂崩れが原因であり、1 名は御調川で流され、府中警察署に届出された。住宅被害は、全壊 31 件、大規模半壊 12 件、半壊 33 件、一部損壊 139 件、床上浸水 155 件、床下浸水 281 件となっている。床上浸水 155 件の内、半分の 78 件は因島中庄町で発生し、新開、丸池、徳永の区域が、樋門の排水ポンプ故障のため浸水した。

ライフラインでは、この豪雨災害に伴い 7 月 8 日より上水道が停止した。上水道の停止は、広島県企業局沼田川水道事務所の本郷取水場が浸水のため、ポンプが停止し、尾道市高須町の坊土浄水場まで原水を送れなくなったためである。7 月 21 日までに送水は復旧された。また、電気の供給では、最大 145 軒が停電した。

(2) 災害ボランティアセンター

ア. 開設

7 月 9 日に尾道市（総務部）より災害ボランティアセンター設置の要請を受けた。災害協定を締結していた尾道市（総務課、高齢者福祉課）、尾道市社会福祉協議会、尾道青年会議所、因島青年会議所と広島県社会福祉協議会で、7 月 10 日 11 時に尾道市役所本庁にて、災害ボランティアセンター開設に向けて協議した。

7 月 10 日 15 時に、尾道市社会福祉協議会にて尾道市災害ボランティアセンターを開設。7 月 31 日まで通常業務の多くを停止して、災害ボランティアセンターの運営に専念した。尾道市では初めての災害ボランティアセンター開設となった。

センター開設当初は、本会の職員のみでセンター運営をしていたが、7 月 27 日からは、広島県社協が調整窓口となり、応援要員として関東ブロックから社協職員が派遣された。尾道市は、神奈川県内と新潟県内から 1 クール 5 名の職員が派遣され、2 名を福地サテライト、3 名を総合福祉センターに割り振り、支援を受けた。9 月 2 日までで延べ 45 名を受け入れ、センター運営に係る業務全般の支援を受けた。

イ. 主な業務

・災害ボランティア申込受付	・災害ボランティア要請受付
・災害ボランティア派遣前の現地調査	・行政機関との連携
・災害ボランティアマッチング	・地図作成

・資機材の調達	・メディア対応
・活動人数の集計や名簿作成等の事務処理	・自衛隊仮設風呂の対応 など

ウ. 活動拠点

活動場所	対応エリア
① 尾道市総合福祉センター	旧尾道・向島地域
② 市社協御調支所	御調地域
③ 市社協因島支所	因島地域
④ 市社協瀬戸田支所	瀬戸田地域
⑤ 吉和公民館福地分館「福地サテライト」	福地・木原地区

(3) 災害ボランティア活動

ア. 募集・受付

被災地が点在していたため、ニーズマッチング制を採用し、福地サテライト以外の各拠点にて災害ボランティアの事前申込受付とした。福地サテライトは被災箇所が集中していたため、コミュニティマッチングとして当日現地受付とした。

ホームページを活用し、募集期間・人数・活動内容等を掲載して、尾道市内外在住を問わず、高校生以上の方を対象として災害ボランティアの募集をした。

イ. 活動時間

◇土砂撤去

現地到着時間（概ね9時）から14時まで

※当初は15時までとしたが、熱中症予防のため2018年7月16日以降短縮した

※休憩：昼休憩に加え、熱中症予防のため10～15分間隔で適宜休憩取得した

◇給水

①7:00～12:00 ②12:00～17:00 ③17:00～21:00

※①～③のうち、いずれか希望する時間帯 ※現地集合・現地解散で活動した

◇その他の活動

9時～16時までの中で活動内容によって時間が異なる（各拠点にて判断・対応）

ウ. 活動内容

・土砂撤去	・家財の運び出し	・給水	・配水
・受付補助	・現地調査	・ニーズ調査	・支援者ケア

土砂撤去の活動件数が圧倒的に多く、次いで多かったのが給水活動であった。給水活動では自主防災組織の協力を得た箇所もあった。現地調査においては、災害ボラン

ティアを派遣する前に、安全担保のため社協職員による現地確認や専門家による現地確認を実施した。ニーズ調査では、被災者宅を戸別訪問し、体調の変化等を含め状況ヒアリングを行った。

支援者ケアでは、尾道市健康推進課と連携を取り、看護師を災害ボランティア活動場所へ派遣し、熱中症予防を含む災害ボランティア及び被災者のケアをした。

災害ボランティア活動は生活復旧を目的としており、生活に直結しない農地等への派遣依頼は対応を見送った。また、急傾斜面へのブルーシート張りや倒壊の恐れがある家屋での作業など、災害ボランティアの安全が確保できない場合は派遣をしなかった。

エ. 受付・活動実績（福地サテライトを除く実数）

- ①個人受付人数：延べ 1,137 名 ②団体受付件数：延べ 64 件
 ③団体受付人数：延べ 933 名

（拠点別受付実績） ※福地サテライトを除く

◇総合福祉センター ①個人受付人数：延べ 864 名 ②団体受付件数：延べ 59 件 ③団体受付人数：延べ 881 名	◇市社協御調支所 ①個人受付人数：延べ 69 名 ②団体受付件数：延べ 0 件 ③団体受付人数：延べ 0 名
◇市社協因島支所 ①個人受付人数：延べ 171 名 ②団体受付件数：延べ 5 件 ③団体受付人数：延べ 52 名	◇市社協瀬戸田支所 ①個人受付人数：延べ 33 名 ②団体受付件数：延べ 0 件 ③団体受付人数：延べ 0 名

活動実績

- ①ニーズ件数：157 件
 ②災害ボランティア活動人数：延べ 2,070 名
 ③災害ボランティア活動件数：延べ 342 件
 ※①は土砂撤去のみ ※②・③は給水・受付補助等のボランティアを含む
 （拠点別災害ボランティア活動実績） ※福地サテライト除く

◇総合福祉センター ①ニーズ件数：100 件 ②災害ボランティア活動人数：延べ 1,745 名 ③災害ボランティア活動件数：延べ 254 件	◇市社協御調支所 ①ニーズ件数：12 件 ②災害ボランティア活動人数：延べ 69 名 ③災害ボランティア活動件数：延べ 23 件
◇市社協因島支所 ①ニーズ件数：44 件 ②災害ボランティア活動人数：延べ 223 名 ③災害ボランティア活動件数：延べ 60 件	◇市社協瀬戸田支所 ①ニーズ件数：1 件 ②災害ボランティア活動人数：延べ 33 名 ③災害ボランティア活動件数：延べ 5 件

オ. 福地サテライトでの受付・活動実績

福地サテライトは、尾道市社会福祉協議会及び三原市社会福祉協議会の共同運営で、尾道市福地町と三原市木原町にまたがるエリアに対応し、全国でも余り例をみない、市域を越えての対応となった。災害ボランティアの募集は、両市社協ホームページ等での募集に加え、Facebook を活用して幅広く広報した。運営するうえで、支援P(※)からパソコン等の資材提供や助言があり、町内婦人会や地域住民も運営スタッフとして関わっていただいた。

受付実績	活動実績
① 個人受付人数：延べ2,721名	① ニーズ件数：186件
② 団体受付件数：延べ 31件	② 災害ボランティア活動人数：延べ3,016名
③ 団体受付人数：延べ 295名	③ 災害ボランティア活動件数：延べ 435件

カ. 尾道青年会議所の連携活動

災害ボランティアとして、延べ103名が活動参加。物資支援として飲料・生活用品・資機材など幅広く提供いただいた。尾道青年会議所が窓口となって、青年会議所の全国ネットワークで幅広い声掛けをしていただいた結果、他県他市町の青年会議所から災害ボランティアとして延べ59名の活動参加があった。また、ベッチャー祭で集まった募金928,148円を義援金として、本会へ寄付いただいた。なお、尾道青年会議所との連携では、早目の情報発信や密な情報交換が求められた。

キ. 災害ボランティア総括

災害ボランティアセンターの運営で苦労したのが、マッチングであった。7月20日頃までは、断水で水洗トイレが使用できなかったため、女性ボランティアをどこにマッチングするかで苦慮した。トイレの使用可否が、現地調査での重要事項の1つでもあった。また、依頼者は災害ボランティアとともに一緒に作業をするケースが多い。連日猛暑の中での作業は厳しく、依頼者の休養日を考慮しながらボランティア派遣を調整した。

2つ目に苦慮した点は、駐車場である。千光寺山の東側や南側には駐車できるところがほとんどなかった。被災地は、軽自動車も入らない路地の先であったり、軽自動車がギリギリ通る道幅しかないという所が多かったため、どこに駐車して現地に入るようにするか、現地調査の際に見極める必要があった。一方、福地サテライトでは、土曜・日曜など、ボランティアが200人を越える日もあり、駐車場の確保が課題だったが、国土交通省の協力により、サテライト近くにある尾道バイパス用地の一部を駐車場として使用できた。

3つ目に苦慮したのが、天候「雨」である。8月中旬以降は、「雨」の予報が度々出たため、災害ボランティアの事故等の二次災害が発生しないよう、止むを得ず、ボランティア活動を中止することもあった。9月になり災害支援活動が一区切りしたため、

災害ボランティア活動を土日のみの対応で計画していたが、台風や秋雨前線の影響でほとんど活動が出来なかった。以上の3点は、今回の経験を活かし、今後につなげていく必要がある。

そして、「災害は、いつ、どこで、誰に起こるか分からない。」ということ、今回の豪雨災害で身をもって経験した。今後災害が発生した場合に、迅速かつ効果的にボランティア活動が行われるよう、災害ボランティアの登録制度を導入。現在62名の方が、登録している。今後は、災害ボランティア養成講座などを企画・実施し、登録者の増加とリーダー育成に努める。

その他課題の一つとして、本会のみで多くのことを抱え、地域住民やボランティア団体、連民協などとの連携が不足していたことが挙げられる。今後に向けて、地域住民や各種団体と本会とのつながりをしっかり作ることに加え、地域住民同士がお互いに支え合える仕組みを作っていく必要がある。この度の災害では、被災地が点在していたため、ニーズマッチングで対応したが、可能な限り地域住民とともにコミュニティマッチングで対応できるような体制づくりの検討が必要となる。

関東ブロック派遣職員とセンター運営対応をおこなったことで、役割分担や業務内容の整備ができた。今後他市町村で災害が発生し、災害ボランティアセンターが立ち上がるようなことがあれば、今回培った経験を活かし、効果的な職員の派遣に取り組みたい。

行政との連携については、管理職を中心に情報共有を行った。時には必要な支援を要望させていただき、災害ボランティア活動で出た土砂の収集、被災地での仮設トイレ設置、公民館の開放、土嚢袋の提供、人件費の補助など柔軟に対応いただいた。災害ボランティアの運営で、行政との連携は必要不可欠であり、その連携が早期活動につながることを願う。

今回の災害ボランティアセンター開設は、初めての経験であり、手探りでの運営となった。平常時からの地域との連携・体制作り、行政や青年会議所・関係機関等と改めてネットワークを構築し、災害発生時の初動などの取り決めについて協議する必要がある。

(4) 自衛隊仮設風呂運営協力

この度の被災で尾道市の広範囲で断水となったため、尾道市からの依頼で仮設風呂が自衛隊によって設置された。総合福祉センター（本会対応）で7月10日から7月22日までの13日間、因島総合福祉保健センター（尾道市対応）では7月12日から7月22日までの11日間の設置がなされた。2カ所の合計で、延べ10,217名の方が利用された。運営にあたり、地域住民からボランティアとして入浴受付整理の協力を受けた。

なお、介助が必要な方の入浴については、受入体制の検討が必要である。

尾道市総合福祉センター		因島総合福祉保健センター		合 計	
男性	3,087 名	男性	1,786 名	男性	4,873 名
女性	3,401 名	女性	1,943 名	女性	5,344 名
小計	6,488 名	小計	3,729 名	合計	10,217 名
水使用量	732 トン	水使用量	405 トン	水使用量	1,137 トン

(5) 災害義援金（平成 30 年 7 月豪雨）の募集

市内の被災者支援に限定した義援金の募集窓口を開設した。

一般の方々より 138 件、18,318,988 円の貴重な浄財が寄せられた。

また、尾道市社会福祉協議会からも、9,822,377 円を加えて、尾道市へ拠出した。

(6) 支え合いセンター

10 月 22 日に支え合いセンターを開設し、広島県社協主催の研修会、運営者会議及び連絡会議に参加し、職員の資質の向上を図るとともに、地域連携会議等を毎月開催し、広島県（地域福祉課、こころのケアチーム）、広島県社協、尾道市（健康推進課、建築課住宅政策係、社会福祉課）との連携も図った。

健康推進課、建築課住宅政策係と一部同行しながら、対象の 367 世帯に対し訪問を実施し、このうちの 246 世帯の被災者の方々と面談や電話相談することができました。現在の状況等を確認し、見守り区分を判定した結果、重点見守りが 24 世帯、通常見守りが 50 世帯、不定期見守りが 140 世帯、見守りの必要なしが 32 件となっている。残りの 121 世帯については、留守のため継続調査としている。

チラシや専門職相談会と茶話会の案内を対象の全世帯に送付し啓発を図っているが、訪問不在票を置いてきても反応がない世帯が多数あり、苦慮しているところである。

一方、訪問以外の支援については、健康講座 1 回、地区相談会 1 回、専門職相談会 3 回、茶話会を 1 回実施し、延べ 57 名の参加があった。茶話会は、コミュニケーションを取るための有効な手段であるので、既存のサロン等と連携しながら、いろんな場所で開催していきたい。

被災者の方々を一巡しただけなので、まだまだ表面的なことしか聴き出せていないと感じており、何回も訪問して悩み事を聴き、少しでも被災者の心の負担が軽くなるように見守っていきたい。

14. 地域包括支援センター事業

尾道市西部エリアを担当する「尾道市西部地域包括支援センター」も13年目を迎え、構成メンバーの主任介護支援専門員、保健師、在宅経験のある看護師、社会福祉士が連携し、職員8人体制で、介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）における介護予防ケアマネジメント、包括的支援事業（総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務）、認知症施策の推進、及び指定介護予防支援事業を実施した。

医療と介護の連携については、医師や歯科医師、介護保険関連事業者等が一同に集まり西部圏域ネットワーク会議を開催した。

また、多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築のために地域ケア会議を実施した。

地域づくりについては、超高齢社会に向けて、西部圏域の地域の皆様と、地域課題について、それぞれの地域が持つ「自助、互助、共助、公助」の役割分担を踏まえながら話し合う場を設け、地域包括ケアシステムの構築に取り組んだ。

（1）総合相談・支援業務

相談内容													
	認知症	高齢者虐待	権利擁護	困難事例	入退院時連携	入院・入所支援	介護保険	総合事業	一般介護予防	精神	社会資源等	その他	計
実件数	81	27	14	100	30	13	517	12	12	15	7	71	899
延件数	127	87	52	352	104	43	1,245	42	28	47	19	151	2,297

（2）介護プラン作成件数（延べ） 4,196件

介護予防		総合事業	
直営作成（延）	1,318件	直営作成（延）	1,619件
委託作成（延）	688件	委託作成（延）	571件
合計	2,006件	合計	2,190件

（3）介護予防普及啓発事業

月 日	事 業	参加者数
4月11日（水）	平原はつらつサロン「認知症予防について」予防体操と脳トレ 講師：尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 看護師 本村留美	23名
4月16日（月）	白山会「元気に過ごすためのポイント」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 看護師 本村留美	26名
4月19日（木）	シルバーリハビリ吉浦「高齢者詐欺について」 「地域での活動について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 看護師 本村留美	16名
5月14日（月）	門田ほほえみサロン「体力測定」「減塩食について」 「熱中症予防について」 講師：尾道市健康推進課 尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 看護師 本村留美	36名

5月17日（木）	シルバーリハビリ吉浦「認知症について」「熱中症について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 看護師 本村留美	11名
5月24日（木）	シルバーリハビリ指導士会西部地区「熱中症について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 看護師 本村留美	17名
5月24日（木）	栗原老人連合会「熱中症予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 看護師 本村留美	130名
5月25日（金）	福寿会「熱中症予防について」「栄養と口腔について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 看護師 本村留美	19名
6月1日（金）	老人センターうたごえ体操「熱中症予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 看護師 本村留美	170名
6月2日（土）	ふれあいサロンクローバー「元気で過ごすためのポイント」「熱中症予防について」「手洗いの仕方について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 看護師 本村留美	30名
6月2日（土）	機能訓練室「熱中症予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 看護師 本村留美	10名
6月4日（月）	第10区民生委員・児童委員定例会「熱中症予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 主任介護支援専門員 野田知子 社会福祉士 水ノ上加代	9名
6月5日（火）	第3区民生委員・児童委員定例会「熱中症予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 主任介護支援専門員 野田知子 社会福祉士 赤瀬真由美	27名
6月6日（水）	健志塾「熱中症予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 看護師 本村留美	21名
6月6日（水）	老人センター男のストレッチ「熱中症予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 看護師 本村留美	20名
6月7日（木）	第9区民生委員・児童委員定例会「熱中症予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 主任介護支援専門員 住田八重	17名
6月7日（木）	平原はつらつサロン「熱中症予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 看護師 本村留美	16名
6月14日（木）	川上さくらんぼ会「元気で過ごすためのポイント」 「熱中症予防について」 脳トレ体操 講師：尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 看護師 本村留美	10名
6月19日（火）	おはなの竜王台「熱中症予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 看護師 本村留美	11名
6月21日（木）	むつみ会「熱中症予防について」「元気で過ごすためのポイント」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 看護師 本村留美	19名

6月22日（金）	福寿会「予防体操をしましょう」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 看護師 本村留美 主任介護支援専門員 住田八重	18名
6月23日（土）	門田にこにこサロン「熱中症予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 看護師 本村留美 主任介護支援専門員 住田八重	18名
7月25日（水）	いきいきサロン新浜「熱中症予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 看護師 本村留美	18名
7月27日（金）	福寿会「認知症について」脳トレ体操 講師：尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 看護師 本村留美 主任介護支援専門員 徳山美和 介護支援専門員 吉國陽子	13名
7月27日（金）	松岡敬老会「熱中症予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 看護師 本村留美	18名
8月25日（土）	門田ほほえみサロン「災害時の地域での助け合いについて」 「介護保険制度について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 看護師 本村留美	15名
8月30日（木）	福寿会「エンディングノート」 「災害時の地域での支え合いについて」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 看護師 本村留美 社会福祉士 水ノ上加代 社会福祉士 赤瀬真由美	13名
9月11日（火）	いきいきサロンひまわり「体力測定」「熱中症予防について」 講師：尾道市健康推進課 尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 主任介護支援専門員 住田八重	22名
9月19日（水）	かくしゃく会「体力測定」「栄養について」 「介護保険制度・地域包括支援センターの仕事について」 講師：尾道市健康推進課 尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 看護師 本村留美	17名
9月28日（金）	門田ほほえみサロン 「運動をして地域まるごと健康寿命を延ばしましょう」 講師：みつぎ総合病院リハビリ部次長 近藤健二さん	34名
10月9日（火）	いきいきサロンひまわり「インフルエンザ予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 看護師 本村留美	21名
10月11日（木）	川上さくらんぼ会「インフルエンザ予防について」予防体操 講師：尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 看護師 本村留美	7名
10月16日（火）	松ぼっくり「インフルエンザ予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 看護師 本村留美	7名
10月17日（水）	ふれあいサロン吉和「インフルエンザ予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 看護師 本村留美	30名
10月18日（木）	むつみ会「エンディングノート」「インフルエンザ予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 看護師 本村留美 社会福祉士 水ノ上加代 社会福祉士 赤瀬真由美	19名

10月19日（金）	おはなの竜王台「インフルエンザ予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実	12名
10月19日（金）	吉浦老人会「2025年を見据えた幸齢社会おのみち」 「元気に過ごすためのポイント」「インフルエンザ予防について」 講師：尾道市高齢者福祉課長 久留飛高成さん 尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 看護師 本村留美	23名
10月24日（水）	老人センター男のストレッチ「インフルエンザ予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 看護師 本村留美	22名
10月25日（木）	シルバーリハビリ指導士会西部地区 「インフルエンザ予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 看護師 本村留美	15名
10月27日（土）	脳もいきいき「インフルエンザ予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 看護師 本村留美	55名
11月1日（木）	第9区民生委員・児童委員定例会「インフルエンザ予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 主任介護支援専門員 住田八重	15名
11月1日（木）	シルバーリハビリ吉浦「インフルエンザ予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 看護師 本村留美	14名
11月2日（金）	老人センターうたごえ体操「インフルエンザ予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実	141名
11月5日（月）	ふれあいサロンもみじ「元気で過ごすためのポイント」 「インフルエンザ予防について」予防体操 講師：尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 看護師 本村留美	19名
11月7日（水）	健志塾「インフルエンザ予防について」 「災害時の地域での助け合いについて」予防体操 講師：尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 看護師 本村留美	33名
11月15日（木）	寄り合い広場「冬の健康管理」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 看護師 本村留美	49名
11月15日（木）	高頭ふれあいサロン「体力測定」「インフルエンザ予防について」 「認知症について」予防体操 講師：尾道市健康推進課 尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 看護師 本村留美	11名
11月21日（水）	平原はつらつサロン「インフルエンザ予防について」 「認知症について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 看護師 本村留美	14名
11月22日（木）	竹屋ほほえみサロン「体力測定」 「インフルエンザ予防について」「フレイル予防」 講師：尾道市健康推進課 尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 看護師 本村留美	18名

11月25日（日）	よしわ公民館まつり「血压・握力測定」「シルバーリハビリ体操」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 看護師 本村留美 シルバーリハビリ体操指導士さん	20名
12月4日（火）	第3区民生委員・児童委員定例会「インフルエンザ予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 社会福祉士 水ノ上加代 社会福祉士 赤瀬真由美	27名
12月10日（月）	門田ほほえみサロン「インフルエンザ予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 看護師 本村留美	47名
2月4日（月）	第10区民生委員児童委員定例会「インフルエンザ予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 主任介護支援専門員 野田知子 保健師 兼長亜実	
2月8日（金）	門田ほほえみサロン「失禁について」ストレッチ・予防体操 講師：尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 看護師 本村留美	44名
2月10日（日）	向峠なかよしサロン「握力測定」予防体操 講師：尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 看護師 本村留美	22名
2月13日（水）	久山田ふれあいサロン「冬の健康管理」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 看護師 本村留美	26名
2月22日（金）	松岡敬老会「インフルエンザ予防について」 「地域包括支援センターの仕事について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 主任介護支援専門員 住田八重	15名
3月6日（水）	健志塾「認知症について」脳トレ・予防体操 講師：尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 看護師 本村留美	33名
3月20日（水）	ふれあいサロン吉和「血压について」脳トレ・予防体操 講師：尾道市西部地域包括支援センター 保健師 兼長亜実 看護師 本村留美	33名

（４）地域活動

月 日	表 題	内 容	参加者数
4月2日（月）	第10区民協定例会	新年度に向けての挨拶	21名
4月3日（火）	第3区民協定例会	高齢者の福祉サービスについて	36名
4月4日（水）	第4区民協定例会	身寄りのいない高齢者の対応について	24名
4月5日（木）	第9区民協定例会	新人職員の紹介	20名
4月24日（火）	なでしこ運営推進会議	利用者のご様子について	9名
4月27日（金）	ねんりんはうす運営会議	施設の加算について	8名
5月1日（火）	第3区民協定例会	第7期介護保険計画について	30名
5月2日（水）	第4区民協定例会	身寄りのいない高齢者の対応について	25名
5月7日（月）	第10区民協定例会	第7期介護保険計画について	20名

5月9日（水）	第9区民協定例会	事例検討会 暴言を吐く利用者のケース	20名
5月17日（木）	にしごこの家運営推進会議	介護保険制度改正について	8名
5月29日（火）	ひまわり@ホーム新浜運営推進会議	行事実施内容について	5名
6月4日（月）	第10区民協定例会	熱中症について	12名
6月5日（火）	第3区民協定例会	熱中症予防リーフレットについて	26名
6月7日（木）	第9区民協定例会	熱中症について	19名
6月29日（金）	ねんりんはうす運営会議	身体拘束等適正化のための指針について	8名
7月2日（月）	第10区民協定例会	高齢者詐欺について	12名
7月3日（火）	第3区民協定例会	熱中症について	30名
7月4日（水）	第4区民協定例会	吉和小学校の食育について	26名
7月24日（火）	ひまわり@ホーム新浜運営推進会議	生活状況について	6名
8月1日（水）	第4区民協定例会	7月の豪雨災害の状況について	24名
8月2日（木）	第9区民協定例会	ねこのて手帳について	15名
8月6日（月）	第10区民協定例会	豪雨災害 高齢者の支援で課題に思ったこと	16名
8月7日（火）	第3区民協定例会	災害の状況について	28名
8月9日（木）	にしごこの家運営推進会議	災害の対応について	8名
8月28日（火）	尾道認知症の人と家族の会	改正介護保険制度等について	12名
8月28日（火）	ねんりんはうす運営会議	外部評価について	10名
8月29日（水）	なでしこ運営推進会議	利用者について事故報告	9名
9月3日（月）	第10区民協定例会	フレイルについて	13名
9月5日（水）	第4区民協定例会	10月のケアマネ交流会の打ち合わせについて	25名
9月6日（木）	第9区民協定例会	ケアマネとの交流会の説明	19名
9月25日（火）	ひまわり@ホーム新浜運営推進会議	夏祭りについて	5名
10月1日（月）	第10区民協定例会	福祉まつりについて	11名
10月2日（火）	第3区民協定例会	認知症ネットワークについて	35名
10月3日（水）	第4区民協定例会	介護支援専門員との交流会 平成30年7月の豪雨災害の状況について	45名
10月4日（木）	第9区民協定例会	介護支援専門員との交流会について	53名
10月18日（木）	にしごこの家運営推進会議	インフルエンザについて	11名
10月21日（日）	福祉まつり	高齢者の相談について	8名

10月24日（水）	なでしこ運営推進会議	きくち体操について	9名
10月29日（月）	ねんりんほうす運営会議	利用者の様子についてスライドを用いて説明	6名
11月1日（木）	第9区民協定例会	インフルエンザパンフレット配布について	19名
11月5日（月）	第10区民協定例会	暮らしサポートセンターについて	12名
11月6日（火）	第3区民協定例会	介護支援専門員との交流会	55名
11月7日（水）	第4区民協定例会	高齢者福祉課から防災についての回答	30名
11月15日（木）	定期巡回・臨時対応型訪問介護きらら	活動状況の報告	8名
11月20日（火）	ひまわり@ホーム新浜運営推進会議	利用者の状況について	6名
11月27日（火）	にしごこの家運営推進会議	避難訓練について	9名
12月3日（月）	第10区民協定例会	介護支援専門員との交流会	43名
12月4日（火）	第3区民協定例会	暮らしサポートセンターと地域支え合いセンターの説明	31名
12月6日（木）	第9区民協定例会	無職の長男と場外の次男と暮らし高齢者の事例について	18名
12月19日（水）	なでしこ運営推進会議	利用者の状況について	9名
12月30日（日）	ねんりんほうす運営会議	家族会と一年間の活動について	21名
1月7日（月）	第10区民協定例会	介護支援専門員との交流会についての報告	11名
1月22日（火）	ひまわり@ホーム新浜運営推進会議	もちつき大会について	5名
2月4日（月）	第10区民協定例会	インフルエンザの予防について	14名
2月5日（火）	第3区民協定例会	ケアマネ交流会の報告	30名
2月6日（水）	第4区民協定例会	認知症にやさしいまちづくり講演会について	22名
2月7日（木）	第9区民協定例会	中央圏域ネットワーク会議の紹介	20名
2月7日（木）	第1層協議体	地域づくりの現状について	43名
2月26日（火）	ねんりんほうす運営会議	開所16年目を迎えて	8名
3月4日（月）	第10区民協定例会	事例検討会「90代独居で身寄りのない方の支援について」	12名
3月5日（火）	第3区民協定例会	消費者被害「アポ電を利用した手口について」	29名
3月7日（木）	第9区民協定例会	事例検討会「ネグレクトを受ける独居利用者」	17名

(5) 地域包括支援センター担当者会議

月 日	表 題	内 容	参加者数
4月19日 (木)	管理者会議	自立支援型地域ケア会議について	8名
4月19日 (木)	権利擁護部会	平成30年度の活動について	14名
4月19日 (木)	在宅医療・介護連携推進部会	平成29年度の成果について	9名
4月19日 (木)	認知症施策推進部会	平成29年度の成果と平成30年度の目標	19名
4月19日 (木)	担当者会議	こころサポート事業について	48名
4月20日 (金)	介護予防・生活支援部会	平成29年度の主な活動の目標 に対する結果について	14名
5月11日 (金)	権利擁護部会	債務整理について	14名
5月17日 (木)	管理者会議	第三者評価シートについて	12名
5月17日 (木)	介護予防・生活支援部会	年間の活動について	24名
5月17日 (木)	認知症施策推進部会	認知症講演会について	20名
5月17日 (木)	担当者会議	てくてく運動について	42名
5月22日 (火)	在宅医療・介護連携推進部会	ACPについて	14名
6月8日 (金)	権利擁護部会	虐待研修について	13名
6月15日 (金)	認知症施策推進部会	第2回オレンジカフェ連絡会 について	14名
6月21日 (木)	管理者会議	第三者評価シートについて	11名
6月26日 (火)	在宅医療・介護連携推進部会	各圏域医療介護ネットワーク 会議について	14名
7月20日 (金)	管理者会議	西日本豪雨に伴う各圏域の支 援について	11名
7月20日 (金)	認知症施策推進部会	おのみち見守り訓練 三成について	11名
7月27日 (金)	在宅医療・介護連携推進部会	医療ガイドブック作成について	14名
8月10日 (金)	権利擁護部会	エンディングノートについて	12名
8月17日 (金)	認知症施策推進部会	オレンジネットワーク会議よ り報告	14名
8月23日 (木)	管理者会議	地域包括ケアシステムの推進 に向けたモデル事業について	8名
8月23日 (木)	在宅医療・介護連携推進部会	各圏域のネットワーク会議の 進捗状況	12名
9月14日 (金)	権利擁護部会	かさおか権利擁護センター 視察	14名
9月19日 (水)	管理者会議	アドバイザー派遣事業について	8名
9月19日 (水)	介護予防・生活支援部会	「地域コミュニティ」について	24名
9月19日 (水)	認知症施策推進部会	認知症ガイドブック見直しに ついて	13名

9月19日（水）	担当者会議	来年度のシルバーリハビリ指導者養成研修について	32名
9月28日（金）	在宅医療・介護連携推進部会	入退院連携の課題について	13名
10月12日（金）	権利擁護部会	エンディングノートについて	13名
10月19日（金）	認知症施策推進部会	RAN伴について	12名
10月26日（金）	管理者会議	多職種により自立に向けたケアプランにかかる地域ケア会議について	11名
10月26日（金）	在宅医療・介護連携推進部会	入退院連携の課題について第2回	13名
11月7日（水）	管理者会議	第1層協議体について	12名
11月9日（金）	権利擁護部会	後見人が申し立ての経緯を無視して支援しているケースについて	13名
11月14日（水）	認知症施策推進部会	オレンジカフェ連絡会について	16名
11月20日（火）	介護予防・生活支援部会	部会の活動について	17名
11月20日（火）	担当者会議	各部会の活動状況について	34名
11月28日（水）	在宅医療・介護連携推進部会	今後のネットワーク会議の予定について	12名
12月6日（木）	在宅医療・介護連携推進部会（病院連携室との合同会議）	入退院時の課題について	29名
12月7日（金）	権利擁護部会	身寄りのないケースの対応について	11名
12月19日（水）	在宅医療・介護連携推進部会	連携室との課題整理	12名
12月20日（木）	管理者会議	包括の休日体制について	10名
12月20日（木）	介護予防・生活支援部会	各圏域の共通の課題について	17名
12月21日（金）	認知症施策推進部会	認知症にやさしいまちづくり講演会について	16名
1月11日（金）	権利擁護部会	虐待事例「ほぼ寝たきりの状態の父（要介護3）を、自宅で介護する無就労の息子」について	12名
1月18日（金）	認知症施策推進部会	認知症ガイドブックについて	10名
1月25日（金）	在宅医療・介護連携推進部会	圏域ネットワーク会議での成功事例と課題	9名
1月28日（月）	管理者会議	包括の個人情報の取扱いについて	9名
2月15日（金）	権利擁護部会	契約が自力では困難な方の事例について	9名
2月15日（金）	認知症施策推進部会	認知症にやさしいまちづくり講演会の役割分担について	11名
2月20日（水）	在宅医療・介護連携推進部会	圏域ネットワーク会議での成功事例と課題のまとめ	12名
2月28日（木）	管理者会議	活動方針についての振り返り	8名

2月28日（木）	担当者会議	もの忘れ相談プログラムの紹介	35名
3月8日（金）	介護予防・生活支援部会	平成30年度の振り返り	14名
3月8日（金）	権利擁護部会	H30年度の振り返りと、H31年度に向けて	9名
3月20日（水）	管理者会議	包括の新しいリーフについて	8名
3月20日（水）	在宅医療・介護連携推進部会	平成30年度の成果について	13名
3月22日（金）	認知症施策推進部会	平成30年度の反省	11名
3月29日（金）	管理者会議	包括支援センター機能評価について	8名

※尾道市西部地域包括支援センター定期会議を毎月1回開催（事業所会議 月1回）

（6）研修等

（ア）尾道市介護支援専門員連絡協議会主催・共催

月 日	内 容	参加職員数
4月19日（木）	薬剤師会からのお知らせ 懇親会	8名
4月26日（木）	尾道市地域包括ケア連絡協議会研修会 「これが聞いてみたかった病院連携室と訪問看護ステーションの仕事内容」 講師：尾道市立市民病院地域連携室長兼副看護部長 栗村真須美さん 尾道総合病院医療福祉センター 安友裕穂さん 尾道市医師会訪問看護ステーション 吉本千鶴子さん お薬手帳の情報共有シートの活用と普及 因島医師会	4名
5月15日（火）	事例提供者に焦点を当てた事例検討会 講師：広島県介護支援専門員協会副会長 金子 努先生	2名
5月31日（木）	事例提供者に焦点を当てた事例検討会 講師：広島県介護支援専門員協会副会長 金子 努先生	2名
6月15日（金）	主任介護支援専門員 研修企画会議	2名
6月21日（木）	第211回研修会「インフォーマルサービスについて他」 講師：社協 松浦浩子さん、村上 瑞さん、北森盛子さん ：子育て支援係 三好雅子さん：障害福祉係 佐藤千浪さん、木村有香さん：元気作り係 野坂友里子さん、：介護保険係 柏原美由紀さん	6名
8月9日（木）	第14回尾道市地域包括ケア連絡協議会研修会 「緩和ケアと意思決定支援について」 講師：JA 尾道総合病院 診療部長 則行敏生先生	6名
9月25日（火）	第212回研修会 「主任介護支援専門員に期待される地域づくり」 講師：庄原市生活支援コーディネーター 上田正之さん	4名
10月11日（木）	高齢者と口の健康について 講師：尾道市歯科医師会副会長 三藤 聡先生	5名
10月12日（金）	第213回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修 「尾道市の地域ケアシステムについて」 講師：尾道市高齢者福祉課高齢者福祉係 課長補佐 高橋彰さん	3名
11月12日（月）	第214回研修会「自立支援に向けたケアマネジメントプロセスの指導ポイントを学ぶ」 講師：ケアプランよりしま 米澤一志さん	4名

11月15日 (木)	第215回研修会「歯科医師と介護支援専門員の連携について」 講師：尾道市歯科医師会副会長 三藤 聡先生	3名
1月11日 (金)	第214回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修 「地域包括ケアシステムと障害のある人の包摂を考える」 講師：広島県障害者相談支援事業連絡協議会会長 守本聡人さん	4名
1月24日 (木)	第14回 尾道市地域包括ケア連絡協議会研修会 「慢性便秘症の治療」 講師：尾道総合病院消化器内科部長 小野川靖二先生	4名

(イ) 広島県・その他

月 日	研 修 名	参加職員数
4月14日 (土)	平成30年度第1回主任介護支援専門員フォローアップ研修	1名
4月20日 (金)	平成30年度広島県認定調査員新規研修	1名
4月28日 (土)	「居宅ケアマネ業務の必須知識」 講師：広島県介護支援専門員協会 平田知伯さん	1名
4月28日 (土)	「平成30年度居宅介護支援事業所等管理者研修」 講師：広島県介護支援専門員協会 渡辺貴則さん	1名
5月8日 (火)	尾道市生活困窮者支援調整会議	1名
5月22日 (火)	「介護・医療・障害の報酬改定説明会」 講師：広島県介護支援専門員協会 金子 努さん 池本善典さん	1名
6月6日 (水)	「地域包括ケアシステムとは何かが半日で分かる研修」 講師：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 社会政策部長 岩名礼介さん	1名
6月14日 (木)	第1回尾道市西部地域圏域居宅介護支援事業所共同事例検討会	8名
6月25日 (月)	「養護者による高齢者虐待への対応 基礎編」 講師：広島高齢者・障がい者対応専門職チーム 藤尾裕治さん 小野千恵さん	1名
7月18日 (水)	養護者による高齢者虐待対応について	1名
7月31日 (火)	「法令遵守・倫理・個人情報・プライバシー保護研修」 講師：広島県介護支援専門員協会 金子努さん、渡辺貴則さん、 平田知伯さん	1名
8月28日 (火)	「第7期ひろしま高齢者プランの概要について」「自立支援型ケア マネジメントの推進」 講師：広島県健康福祉局地域包括ケア高齢者支援課 藤原 薫さん	1名
9月14日 (金)	権利擁護センターでの市民後見の取り組みについて研修	1名
9月26日 (水)	ことばづかいについて 講師：アクエリアスハートヴォイス代表 織田直子さん	5名
9月27日 (木)	ことばづかいについて 講師：アクエリアスハートヴォイス代表 織田直子さん	3名
10月1日 (月)	平成30年度尾道市認定調査員研修会	1名
10月2日 (火)	在宅緩和ケア研修「がん患者等の終末ケアに関わる介護の知識と 技術について」 講師：訪問看護ステーションみつぎ 國西栄子さん	3名

10月4日（木） 10月5日（金）	2018年度 高齢者虐待対応研修	1名
10月17日（水）	自立支援多職種連携推進・多職種連携で利用者の自立を考える研修	1名
10月23日（火）	「我が事・丸ごと」「地域共生社会」を見据えてのこれからの地域包括支援センターのあり方について	3名
10月25日（木）	平成30年度法テラス広島地方協議会「特定援助者対象者法律相談について」	1名
11月1日（木）	在宅緩和ケア研修会「がん患者の在宅チームでの連携と看取りの実際」 講師：まるやまホームクリニック 丸山 典良先生	3名
11月8日（木）	平成30年度「説明・説得能力向上研修」	1名
11月8日（木）	広島県東部認知症疾患医療センター講演会「認知症の方へコミュニケーションのコツ」 講師：広島県認知症ケア専門士会 理事 牛尾容子さん	2名
11月16日（金）	第3回尾道市西部地域圏域居宅介護支援事業所共同事例検討会 バイザー：すまいる谷川浩子さん バイザー：コネクト安井由枝さん	7名
11月21日（水）	「相続・遺言・後見等について研修」 尾道公証役場 浜辺 幸二先生	1名
11月21日（水）	「感染症に関する専門的な知識について」 講師：尾道市健康推進課 田梅有香さん 大平英子さん	5名
11月27日（火）	尾道市支え合いセンター連絡会議 講師：ローカリズムラボ 井岡仁志さん	2名
11月29日（木）	平成30年度 市町等苦情処理ブロック（東部）連絡会議	1名
11月29日（木）	おのみち在宅支援講習会「高齢者に対する精神科治療薬の使い方と観察ポイント」 講師：草津病院 薬剤課課長 別所千枝先生	2名
12月5日（水）	地域づくりのサポートについて 講師：酒井 保さん	2名
12月23日（日）	平成30年度「多職種共通理解研修～被爆者援護法、介護のリスクマネジメントを学ぶから」	1名
1月17日（木）	平成30年度中国ブロック地域包括・在宅介護支援センター現任研修「自立支援にむけた介護予防ケアマネジメントに活かすICFの視点」 講師：望月マリ子さん	1名
1月18日（金）	平成30年度中国ブロック地域包括・在宅介護支援センター現任研修「専門職と地域住民の連携をとおした地域ケア会議のすすめかた」 講師：中 恵美さん	1名
1月19日（土）	平成30年度介護保険制度及び看護・介護・地域リハビリテーション合同研修会	1名
1月23日（水）	平成30年度地域密着型サービス事業者等集団指導研修	1名
1月24日（木）	平成30年度地域包括支援センターリーダー研修「規範的統合多職種連携をすすめるために」 講師：広島県地域包括・在宅介護支援センター協議会 副会長 小山峰志さん	1名

1月29日（火）	「ひきこもりの理解と対応～本人の思うこと、家族ができること、地域ができること～」 講師：青少年ワークサポートセンター広島 杉野治彦さん	1名
1月30日（水）	災害後の地域づくり（東部） 講師：オフィスいわむろ 代表医師 岩室紳也先生	1名
2月2日（土）	びんご圏域地域包括ケアチャレンジフォーラム 三原市地域包括ケアシステム市民公開講座	4名
2月7日（木）	高齢者虐待防止研修「認知症の人の意思決定支援」 講師：広島県介護福祉士会会長 橋高裕行さん	
2月8日（金）	地域医療研修 自死遺族・希死念慮者に対する対応 講師：小さな一歩ネットワーク 代表理事 米山容子さん	1名
2月12日（火） 2月13日（水）	平成30年度中国ブロック地域包括・在宅介護支援センター基礎研修「総合相談支援業務・包括的継続的ケアマネジメントについて」 「権利擁護業務」	3名
2月14日（木）	平成30年度若年性認知症支援ネットワーク研修 「若年性認知症について理解を深める」 講師：井門ゆかり脳神経内科クリニック 院長 井門ゆかり先生	1名
2月21日（木）	平成30年度地域包括支援センターリーダー研修「自立支援に向けたこれから手帳の活用について」 講師：広島県地域包括・在宅介護支援センター協議会 理事 元廣 緑さん	1名
2月22日（金）	平成30年度尾道市高齢者虐待研修会 講師：広島市高齢者障がい者虐待対応専門職チーム 小野千恵さん	5名
2月26日（火）	尾道市におけるコミュニティと運営体制の現状と課題 講師：持続可能な地域社会総合研究所 所長 藤山 浩さん	3名
3月5日（火）	職員研修「苦情対応～利用者・家族とのコミュニケーションや信頼関係の構築に向けて～」 講師：介護老人保健施設 ひうな壮 森山由香さん	5名
3月12日（火）	地域づくりフォーラム「因島住民互助による地域づくりとは」 講師：ご近所福祉クリエーション 酒井 保さん	2名
3月19日（火）	2018年度暮らしサポートセンター「ゼロから学ぶ債務整理」 講師：東京ガルーダ国際法律事務所 弁護士 有田勝浩さん	2名
3月22日（金）	第31回尾三地域がん連携フォーラム「在宅PCAポンプ導入による在宅療養支援システムの構築」 講師：島根県立中央病院 今田敏宏先生	2名

15. 介護保険事業

平成30年度事業計画で定めた事業所目標にそって、介護保険法令及びその他の法令に対しても法令遵守を確実にを行い、全8事業所（本所4事業所・因島支所2事業所・瀬戸田支所2事業所）で、高齢者が住み慣れた地域の中で可能な限り自立した生活を営むことが出来るよう、介護保険事業を行った。

（1）居宅介護支援事業

要介護・要支援者の心身の状況や置かれている環境、本人や家族の希望を勘案し、質の高いケアマネジメントを行うことにより、居宅サービス、地域密着型サービスあるいはその他

の保健医療サービス等を適切に利用できるように、居宅サービス計画を作成し、その計画に基づくサービスの提供が適切に行われるよう、サービス提供事業者と連絡調整を行うなどの支援を行った。また、保険者より委託を受け、要介護認定調査、住宅改修等の事業を実施した。

① 居宅介護支援事業所

事業所の目標を、「介護保険の動向をつかみ介護報酬改定と関連制度を理解し、適切な支援ができるようになる」、「医療介護連携に努め、自立支援の観点に立ったケアマネジメントの確立ができるようになる」と定め、ケアマネジャー5名で業務を行った。

また、広島県介護支援専門員協会などの各種団体が実施する研修会へ、講師やファシリテーターとして参加し、平成31年2月～3月には広島県介護支援専門員実務研修受講生1名の受け入れを行った。

また、尾道市地域包括ケア連絡協議会医療・介護連携部門推進部会でのICT実証実験会議へも参加した。

ア 利用者の状況

居宅サービス計画作成依頼件数 189 件、要介護認定調査実施件数 108 件

介護保険

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0	0	47	52	36	24	18	177

総合事業

事業対象者	要支援1	要支援2	合計
0	3	9	12

イ 研修・会議の実施状況

(ア) 事業所内研修・会議

月 日	内 容	参加者数
8月16日(木)	伝達研修「法令遵守・倫理・プライバシー保護・サービスの公表制度改正について」	5名
10月10日(水)	「障害福祉制度について」 講師：尾道市社会福祉課障害福祉係・藤原政巳さん、障害者サポートセンターはな・はな 神尾光美さん、桃谷栄次郎さん	54名
11月21日(水)	「感染症に関する専門的な知識について」 講師：尾道市健康推進課看護師 田梅有香さん、大平英子さん	59名
3月5日(火) 3月8日(金)	「苦情対応研修」 講師：介護老人保健施設ひうな荘 森山由香さん	5名
3月5日(火)	平成31年度個人・事業所目標の評価と次年度の目標設定について	6名

事業所内利用者把握と諸連絡については毎週1回開催した

(イ) 事業所外研修（尾道市介護支援専門員連絡協議会主催・共催）

月 日	内 容	参加者数
4月19日(木)	第208回研修会・「尾道市介護支援専門員連絡協議会総会」	5名

4月26日 (木)	尾道市地域包括ケア連絡協議会研修会「これが聞いてみたかった 病院連携室と訪問看護ステーションの仕事内容」 講師：尾道市立市民病院地域連携室 粟村真須美さん 尾道総合病院医療福祉センター 安友裕穂さん 尾道市医師会訪問看護ステーション 吉本千鶴子さん お薬手帳の情報共有シートの活用と普及 因島医師会	3名
5月15日 (火)	第209回研修会「事例提供者に焦点を当てた事例検討会とは」 講師：県立広島大学保健福祉学部 金子 努先生	2名
6月21日 (木)	第211回研修会「インフォーマルサービスについて他」 講師：本会（松浦浩子、村上 瑞、北森盛子） ：尾道市（子育て支援係 三好雅子さん 障害福祉係 佐藤千浪さん、木村有香さん 元気づくり係 野坂友里子さん 介護保険係 柏原美由紀さん）	2名
7月18日 (水)	第13回尾道市地域包括ケア連絡協議会研修会 「養護者による高齢者虐待について」 講師：高齢者福祉課 砂田清勢美さん	1名
8月9日 (木)	第14回尾道市地域包括ケア連絡協議会研修会 「緩和ケアと意思決定支援について」 講師：JA尾道総合病院 診療部長 則行敏生先生	1名
9月25日 (火)	第212回研修会 「主任介護支援専門員に期待される地域づくり」 講師：庄原市生活支援コーディネーター 上田正之さん	1名
10月11日 (木)	第14回尾道市地域包括ケア連絡協議会研修会 「高齢者と口の健康について」 講師：尾道市歯科医師会副会長 三藤 聡先生	1名
11月12日 (月)	第214回研修会「自立支援に向けたケアマネジメントプロセスの 指導ポイントを学ぶ」 講師：ケアプランよりしま 米澤一志さん	3名
11月15日 (木)	第215回研修会「歯科医師と介護支援専門員の連携について」 講師：尾道市歯科医師会副会長 三藤 聡先生	2名
1月17日 (木)	第2回西部地域医療・介護ネットワーク	3名

事業所外研修（広島県、その他）

4月14日 (土)	平成30年度第1回主任介護支援専門員フォローアップ研修	11名
4月28日 (土)	「居宅ケアマネ業務の必須知識」 講師：広島県介護支援専門員協会 平田知伯さん 「平成30年度居宅介護支援事業所等管理者研修」 講師：広島県介護支援専門員協会 渡辺貴則さん	各 1名
5月22日 (火)	「介護・医療・障害の報酬改定説明会」 講師：広島県介護支援専門員協会 金子 努さん 池本善典さん	1名
5月29日 (火) 7月13日 (金)	平成30年度広島県介護支援専門員更新・専門Ⅰ研修 ファシリテーターとして参加	1名
6月14日 (木)	第1回尾道市西部地域圏域居宅介護支援事業所共同事例検討会	5名
7月31日 (火)	「法令遵守・倫理・個人情報・プライバシー保護研修」 講師：広島県介護支援専門員協会 金子努さん、渡辺貴則さん、 平田知伯さん	1名
8月～10月	平成30年度広島県介護支援専門員更新・専門Ⅱ研修	1名

9月11日（火）	「平成30年度西部圏域第2回野中式事例検討会」 主催：尾道市西部地域包括支援センター	5名
11月1日（木）	在宅緩和ケア研修会 講師：厚生連尾道総合病院 藤原ちえみさん 三原赤十字病院 柳迫三寛さん まるやまホームクリニック 丸山典良院長	1名
11月16日（金）	第3回尾道市西部地域圏域居宅介護支援事業所共同事例検討会	5名
11月27日（火）	「尾道市支え合いセンター関係者会議」 講演：広島県地域支え合いセンター専門相談員 井岡仁志さん 尾道市支え合いセンター 統括相談員 高橋 望さん	2名
1月23日（水）	「平成30年度地域密着型サービス事業者集団指導研修」 講演：尾道市危機管理担当 田村 齋さん 説明：介護保険係	1名
2月22日（金）	「平成30年度尾道市高齢者虐待対応研修会」 講師：広島県社会福祉士会 小野千恵さん	3名

(ウ) その他、交流会・会議

4月4日（水）	平成30年度尾道市地域包括ケア連絡協議会 医療・介護連携推進部会第1回 ICT活用実証実験会議	3名
7月5日（木）	第6区地区民生委員児童委員と介護支援専門員との意見交換会	1名
9月28日（金）	平成30年度尾道市地域包括ケア連絡協議会 医療・介護連携推進部会第2回 ICT活用実証実験会議	2名
10月3日（水）	第4区地区民生委員児童委員と介護支援専門員との意見交換会	1名
10月4日（木）	第9区地区民生委員児童委員と介護支援専門員との意見交換会	3名
10月26日（金）	平成30年度尾道市地域包括ケア連絡協議会 医療・介護連携推進部会第3回 ICT活用実証実験会議	2名
11月6日（火）	第3区地区民生委員児童委員と介護支援専門員との意見交換会	1名
11月27日（火）	平成30年度尾道市地域包括ケア連絡協議会 医療・介護連携推進部会第4回 ICT活用実証実験会議	2名
12月3日（月）	第10区地区民生委員児童委員と介護支援専門員との意見交換会	3名
1月18日（金）	平成30年度尾道市地域包括ケア連絡協議会 医療・介護連携推進部会第5回 ICT活用実証実験会議	2名
2月1日（金）	第5区地区民生委員児童委員と介護支援専門員との意見交換会	2名
3月15日（金）	平成30年度尾道市地域包括ケア連絡協議会 医療・介護連携推進部会第6回 ICT活用実証実験会議	1名

②すずらん居宅介護支援事業所

事業所の目標を、「認知症の人を含む高齢者の理解と地域を知ることができ、支援に繋がれる」と定め、専任ケアマネジャー4名で業務を行った。

ア 利用者の状況

居宅サービス計画作成依頼件数 141件、要介護認定調査実施件数 196件

利用者 要介護度別	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
	2	5	43	38	26	17	10	141

イ 研修・会議の実施状況

(ア) 事業所内研修

月 日	内 容	参加者数
9月26日 (水) 9月27日 (木)	「実践マナー研修」 講師：(株) アクエリアス・ハート・ヴォイス 代表取締役 織田直子さん	4名
10月10日 (水)	「障害者福祉制度について」 講師：尾道市社会福祉課 藤原さん、木曾さん、木村さん 障害者サポートセンターはなはな 桃谷さん、神尾さん	4名
11月21日 (水)	「感染症について」	2名
3月8日 (金)	「苦情対応研修」 講師：三篠会 介護老人保健施設 ひうな荘 森山由香さん	1名

※事業所内でのケアマネ会議は月1回(第1水曜日)に実施

※生口島のケアマネ会議は2ヶ月に1回(第3火曜日)に実施(偶数月)

※因島のケアマネ会議は2ヶ月に1回(第3水曜日)に実施(奇数月)

(イ) 事業所外研修(尾道市介護支援専門員連絡協議会主催・共催)

月 日	内 容	参加者数
4月19日 (木)	尾道市介護支援専門員連絡協議会 総会	1名
4月26日 (木)	第13回尾道市地域包括ケア連絡協議会研修会「これが聞いてみたかった、病院連携室と訪問看護ステーションの仕事内容」 講師：尾道市立市民病院 地域連携部 栗村真須美さん 尾道市医師会訪問看護ステーション 管理者 吉本千鶴子さん	2名
5月15日 (火)	第209回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修(主任) 「事例提供者に焦点をあてた事例検討会とは(講義)」 講師：広島県介護支援専門員協会副会長 金子 努さん	1名
5月31日 (木)	第210回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修(主任) 「事例提供者に焦点をあてた事例検討会とは(演習)」 講師：広島県介護支援専門員協会副会長 金子 努さん	1名
6月21日 (木)	第211回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修 「インフォーマルサービスについて」	3名
9月25日 (火)	第212回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修(主任) 「コミュニティソーシャルワークについて学ぼう」 講師：庄原市生活支援コーディネーター 上田正之さん	1名
10月11日 (木)	第14回 尾道市地域包括ケア連絡協議会研修会 「高齢者と口の健康について」 講師：尾道市歯科医師会副会長 三藤 聡先生	4名
10月12日 (金)	第213回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修 「尾道市の地域ケアシステムについて」 講師：尾道市高齢者福祉課高齢者福祉係 高橋 彰さん	4名
11月12日 (月)	第214回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修(主任) 「自立支援に向けたケアマネジメントプロセスの指導のポイントを学ぶ」 講師：ケアプランよりしま管理者 米澤一志さん	1名
1月11日 (金)	第214回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修 「地域包括ケアシステムと障害のある人の包摂を考える」 講師：広島県障害者相談支援事業連絡協議会会長 守本聡人さん	3名

1月23日（水）	平成30年度 地域密着型サービス事業者集団研修 「在宅高齢者及び介護保険施設入所者の非常災害対策について」 講師：尾道市総務部 危機管理担当 主幹 田村斉さん	1名
1月24日（木）	第14回 尾道市地域包括ケア連絡協議会研修会 「慢性便秘症の治療」 講師：尾道総合病院消化器内科部長 小野川靖二先生	1名

事業所外研修（広島県、その他）

4月28日（土）	平成30年度 居宅介護支援事業所管理者研修 ① 居宅介護支援事業所の管理者業務 講師：広島県介護支援専門員協会 常任理事 渡部貴則さん ② 介護支援専門員の資格管理 講師：広島県介護支援専門員協会 常任理事 平田知伯さん	1名
7月31日（火）	法令遵守、倫理、個人情報・プライバシー保護 ～「介護サービス情報の公表」制度対応～	1名
8月～2月	平成30年度広島県主任介護支援専門員研修	1名
10月11日（木）	因島医師会ケアマネステーション研修会 「アセスメントってなあに？」 講師：広島県ケアマネマイスター 邑岡志保さん	4名
11月13日（火）	平成30年度実務研修実習指導者養成研修 「介護支援専門員実務研修実習における主任介護支援専門員の役割と視点」 講師：ケアマネジメントセンターこねくと 安井由技さん	1名
1月15日（火）	平成30年度主任介護専門員のための実習指導者養成研修 講師：広島県介護支援専門員協会常任理事 平田知伯さん	1名
2月7日（木）	高齢者虐待防止研修「認知症の人の意思決定支援」 講師：広島県介護福祉士会会長 橋高裕行さん	2名

(ウ) その他、交流会・会議

月 日	内 容	参加者数
5月14日（月）	民生児童委員と介護支援専門員の交流会	3名
6月14日（木）	地域包括支援センター圏域別のネットワーク会議 第2回生口島圏域医療・介護ネットワーク会議	3名
6月19日（火）	生口島ケアマネ会議（事例検討会）	4名
8月22日（水）	看取り講演会（スイミーと共催） 「教えて先生！人の最後はどうなるの？」 講師：瀬戸田診療所 医師 小林愛沙先生、看護師 濱本洋子さん	2名
10月16日（火）	生口島ケアマネ会議（事例検討会）	2名
10月18日（木）	第3回 因島在宅医療・介護ネットワーク会議	4名
11月19日（月）	看取り講演会（スイミーと共催） 「教えて看護師さん！」 講師：瀬戸田診療所看護師 濱本洋子さん、笠間祐里子さん	1名

(2) 訪問介護事業

介護職員の増員は困難であったが、現人数での個々の個性を生かしつつ、要介護者や要支援者等に対し、介護福祉士などの資格を有する訪問介護員が居宅を訪問し、入浴、排泄、食事等の身体介護サービスや調理、洗濯、買い物等の生活支援サービスを実施した。

①訪問介護事業所

事業所の目標を、「活力ある職場づくりをめざし明日のサービスにつなげましょう」、「皆で連携を図りより良いサービスに努めましょう」と定め、10名の常勤ヘルパーと11名の嘱託ヘルパー、36名の登録ヘルパーが在宅の身体介護や生活援助にあたった。

ア 利用者の状況

利用者数 介護 221 名、総合事業 141 名、合計 362 名

ブロック	1	2	3	4	5	6	市外	合計
介護	5	19	44	54	69	30	0	221
総合事業	2	10	22	41	50	16	0	141
合計	7	29	66	95	119	46	0	362

介護保険

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
59	88	37	22	15	221

総合事業

事業対象者	要支援1	要支援2	合計
6	43	92	141

イ 研修・会議の実施状況

(ア) 事業所内研修

月 日	内 容	参加者数
4月11日(水)	法令遵守・倫理・個人情報・プライバシー保護	37名
5月9日(水)	福祉用具を用いて行う移乗とポジショニング	42名
6月13日(水)	食中毒と感染症	44名
8月8日(水)	養護者による高齢者虐待についてヒヤリハット事故報告事例検討	37名
9月12日(水)	排泄介助・口腔ケアについて 認知症とは？	39名
10月10日(水)	障害福祉について～制度と介護保険との繋がりを学ぶ～	37名
11月21日(水)	医学知識研修～感染症・予防接種について～	46名
12月12日(水)	接遇マナー 市町地域支え合いセンターの役割について	46名
1月9日(水)	人権学習～高齢者虐待の現状・多様な人権問題～	41名
2月13日(水)	認知症の人の意思決定支援 慢性便秘症について	41名
3月13日(水)	地域包括ケア研修会～口腔ケア実践研修～	42名

サービス提供責任者会議は毎月1回開催した

(イ) 事業所外研修

月 日	内 容	参加者数
-----	-----	------

4月26日(木)	第13回尾道市地域包括ケア連絡協議会研修会「これが聞いてみたかった。病院連携室と訪問看護ステーションの仕事内容」 講師：尾道市立市民病院地域連携室 粟村真須美さん 尾道総合病院医療福祉センター 安友裕穂さん 尾道市医師会訪問看護ステーション 吉本千鶴子さん お薬手帳の情報共有シートの活用と普及 因島医師会	8名
7月18日(水)	第13回尾道市医師会地域包括医療連携研修会「高齢者虐待の状況」 講師：尾道市高齢者福祉課 砂田清勢美さん 「高齢者虐待対応の事例報告」 講師：尾道市北部地域包括支援センター 藤川晴美さん 「高齢者虐待対応について～警察の立場から」 講師：尾道警察署生活安全課生活安全係係長 中川忠純さん 「高齢者虐待対応について～権利擁護の立場から」 講師：広島司法書士会 亀谷司法書士事務所 亀谷昌弘	2名
7月31日(火)	法令遵守・倫理・個人情報・プライバシー保護に関する研修	1名
8月9日(木)	第14回尾道市地域包括ケア連絡協議会研修会 「緩和ケアと意思決定支援について」 講師：尾道総合病院診療部長 則行敏生先生	6名
8月10日(金)	尾三圏域の地域生活支援拠点等の整備について 「尾道市・三原市・世羅町の地域生活支援拠点等の整備に向けて」 発表者：尾道市役所 福祉保健部 社会福祉課 藤原政己さん 三原市役所 保健福祉部 社会福祉課 中岡昌弘さん 世羅町役場 福祉課 障害支援係 夏見昭子さん 「地域生活支援拠点～大分方式による整備の実際」 講師：社会福祉法人シンフォニー理事長 村上和子さん	1名
10月2日(火)	在宅緩和ケア研修会 「がん患者等の終末期ケアに関わる介護の知識と技術について」 講師：訪問看護ステーションみつぎ 國西栄子さん 「介護施設での看取りの事例について」 講師：介護福祉施設みつぎの苑 永井由紀子さん	11名
10月11日(木)	第15回尾道市地域包括ケア連絡協議会研修会 「高齢者と口の健康について」 講師：尾道歯科医師会副会長 三藤 聡先生	5名
11月1日(木)	在宅緩和ケア研修会「緩和ケアの医療・終末期患者の特徴及び退院支援と連携について」 講師：尾道総合病院緩和ケア認定看護師 藤原ちえみさん 「在宅緩和ケアコーディネーターの取り組みについて」 講師：三原赤十字病院 地域医療連携課 柳迫三寛さん 「がん患者の在宅チームでの連携と看取りの実際」 講師：まるやまホームクリニック院長 丸山典良先生	4名
11月8日(木)	説明・説得能力向上研修	1名
11月29日(木)	おのみち在宅支援講習会「沢井製薬の口腔内崩壊錠の開発について」 講師：沢井製薬株式会社 鍛冶徹公先生 「その症状、実は薬の飲みすぎかも？」 講師：草津病院薬剤課課長 別所千枝さん	4名
1月11日(金)	尾三圏域研修会「医療的ケアが必要な方への支援について」 講師：多機能型通所事業所慧(あかり)管理者 福田丈晴さん	1名
1月17日(木)	第2回尾道市西部圏域ネットワーク会議	9名

1月24日（木）	第16回尾道市地域包括ケア連絡協議会研修会 「慢性便秘症の治療」 講師：尾道総合病院消化器内科主任部長 小野川靖二先生	11名
1月28日（月）	平成30年度精神保健福祉研修会 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて」 講師：地域生活支援センターまほろば 金子百合子さん 国立病院機構加茂精神医療センター 大歳明子さん	1名
2月7日（木）	高齢者虐待防止研修「認知症の人の意思決定支援」 講師：広島県介護福祉士会会長 橘高裕行さん	9名
2月28日（木）	平成30年度広島県認知症介護基礎研修	1名
3月5日（火）	職員研修～クレーム対応について	9名
3月8日（金）	職員研修～クレーム対応について	5名
3月11日（月）	平成30年度介護サービス事業者集団指導研修	1名
3月19日（火）	平成30年度指定障害福祉サービス事業者等集団指導研修	1名

(ウ) 定例会議（年6回）への出席

「尾道市地域自立支援協議会」「生活支援部会」《尾道市社会福祉課障害福祉係》	1名
---------------------------------------	----

②因島ホームヘルプステーション

「援助計画を確認し、記録・報告を行い情報が共有できるようにする」を事業所目標とし、2名の常勤と4名の登録ヘルパーが在宅の身体介護や生活援助にあたった。

ア 利用者の状況

利用者数 介護 21名、総合事業 13名、合計 34名

介護保険

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
9	9	2	1	0	21

総合事業

事業対象者	要支援1	要支援2	合計
0	3	10	13

イ 研修・会議の実施状況

(ア) 事業所内研修

月 日	内 容	参加者数
4月16日（月）	利用者のプライバシーの保護の取り組みに関する研修	6名
5月21日（月）	事故事例・ヒヤリハット事例・事故防止につながる事例の検討 事故発生又は再発防止に関する研修	5名
6月18日（月）	認知症及び認知症ケアについての研修	5名
8月20日（月）	社協職員倫理及び法令遵守についての研修	4名
9月17日（月）	接遇に関する研修	4名
10月22日（月）	事故の発生防止又は再発防止に関する研修 事故の発生時緊急時の対応に関する研修	4名

11月19日(月)	クレーム対応の基本的な心構えと効果的接遇	5名
12月17日(月)	高齢者・障害者の虐待防止について	5名
1月21日(月)	感染症及び食中毒の発生の防止及びまん延防止に関する研修 感染症及び食中毒の発生事例・ヒヤリハット事例の検討	4名
2月18日(月)	精神疾患の理解と対応	4名
3月18日(月)	1年のまとめ 情報交換	5名

(イ) 事業所外研修

月 日	内 容	参加者数
9月12日(水)	因島圏域在宅医療・介護ネットワークコアメンバー会議	1名
9月20日(木)	第2回因島オレンジネットワーク会議	1名
9月26日(水) 9月27日(木)	ビジネスマナー研修	2名
10月18日(木)	第3回因島圏域在宅医療・介護ネットワーク会議	1名
11月21日(水)	感染症 講習会 感染制御トレーニング 因島総合病院	1名
3月8日(金)	クレーム対応研修	2名
3月11日(月)	平成30年度介護サービス事業者集団指導研修	1名
3月19日(火)	平成30年度指定障害福祉サービス事業者集団指導研修	1名
3月25日(月)	地域生活支援システムに係る協議の場の開催	1名

③すずらん訪問介護事業所

事業所の目標を、「精神的、肉体的に健康に過ごす」「利用者の心が穏やかに過ごせるよう、利用者本人に合った援助を行う」(出来ていることは継続してもらうようにする)「時間と、心にゆとりを持ってサービスを行う」と定め、2名の常勤ヘルパーと4名の登録ヘルパーが在宅の身体介護や生活援助にあたった。

ア 利用者の状況

利用者数 介護 29名、総合事業 15名、合計 44名

介護保険

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
11	9	6	2	1	29

総合事業

事業対象者	要支援1	要支援2	合計
1	5	9	15

イ 研修・会議の実施状況

(ア) 事業所内研修

月 日	内 容	参加者数
4月18日(水)	今年度事業所目標について・緊急時対応について 利用者の状態について	6名

5月17日（木）	熱中症予防について 認知症の人への対応について（資料を使って）	6名
6月20日（水）	食中毒発生状況について 食中毒の予防について 自分らしく生きる設計ACP（資料を使って）	6名
7月18日（水）	西日本豪雨災害に伴う断水時の対応 衛生管理の対応 感染予防・食中毒予防 疥癬を正しくする（資料を使って）	5名
8月6日（月）	倫理・個人情報・プライバシー保護・法令遵守・虐待について 災害時の対応について振り返り（レポート提出）	5名
9月19日（水）	自立支援について 豪雨災害時の反省 食中毒（レポート提出）	6名
10月17日（水）	尾道市の現状と取り組みについて 口腔ケアの重要性について インフルエンザ流行に備える	5名
11月21日（水）	感染症について（伝達講習） ヒヤリハット事例検討	5名
12月12日（水）	自立支援を行う（出来ることの見極め） 転倒予防 年末年始の訪問について確認を行う（家族帰省・ショートステイ）	5名
1月16日（水）	インフルエンザにかかったとき 利用者、家族がかかった時の確認	5名
2月20日（水）	平成31年度目標について（各自メモを提出）利用者の状況を確認 する 利用者に対しての声掛け・注意点について	5名
3月20日（水）	クレーム研修 障害者虐待研修 伝達講習 平成31年度の事業所目標について 平成30年度1年間を振り返る	5名

（イ）事業所外研修

月 日	内 容	参加者数
6月14日（木）	第2回生口島圏域医療・介護ネットワーク会議	1名
9月26日（水）	実践ビジネスマナー研修	1名
10月11日（木）	第2回オレンジネットワーク会議	1名
11月21日（水）	感染症研修	1名
3月8日（金）	クレーム対応研修	1名
3月11日（月）	平成30年度介護サービス事業者集団指導研修	1名
3月19日（火）	平成30年度指定障害福祉サービス事業者集団指導研修	1名

（3）訪問入浴介護事業

自宅で入浴が困難な要介護者に対して、特殊な設備を備えた入浴車で訪問し、特殊浴槽を室内に設置して入浴介護サービスを行なった。

①訪問入浴介護事業所

事業所の目標を、「わからない事、困っている事があれば素直に言えるようスタッフ間のコミュニケーションを大切にする」、「サービス提供技術の向上」、「利用者、家族とのより良いコミュニケーションが保持できるように心がける」と定め、1名の常勤看護職員と、2名の臨時看護職員、6名の臨時介護職員が、在宅での訪問入浴介護にあたった。

ア 利用者の状況

利用者数 14名 利用実績 333回

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数	15	18	25	24	33	26	30	37	28	29	35	33	333

利用者 要介護度別	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
	0	0	0	3	3	1	7	14

イ 研修・会議の実施状況

(ア) 事業所内研修

月日	内 容	参加者数
4月2日(月)	平成29年度介護サービス事業者集団指導研修の伝達研修	4名
4月16日(月)	事故防止対策・ヒヤリハット事例研修会	4名
4月23日(月)	事故の発生等緊急時対応に関する研修会議	5名
5月9日(水)	夏季入浴の注意事項検討会議	4名
10月4日(木)	ビジネスマナー研修の伝達研修	4名
10月10日(水)	プライバシー保護・倫理・法令順守伝達研修	4名
11月6日(火)	冬季入浴の注意事項検討会議	4名
11月26日(月)	満足度アンケート調査結果検討会議	4名
12月12日(水)	認知症伝達研修	4名
2月4日(月)	平成31年度事業所目標と年間計画検討会議	4名
3月28日(木)	苦情対応についての伝達研修	4名

※ ケース検討会議については計画に沿って毎月1～2回開催した。

(イ) 事業所外研修

月日	内 容	参加者数
9月26日(水)	実践ビジネスマナー研修	1名
3月5日(火)	職員研修～苦情対応について	1名
3月11日(月)	平成30年度介護サービス事業者集団指導研修	1名

(4) 通所介護事業

通所介護計画に沿って、「趣味」「レクリエーション」「介護予防体操」「入浴」「食事」その他必要な介護等などを通して、「楽しみ」の中で、日常的な機能を維持・向上できるよう実施した。

①ふれ愛デイサービスセンター

事業所の目標を、「報告・連絡・相談をしっかりとっていく」と定め、3名の常勤職員と5名の嘱託職員、13名の臨時職員で事業を展開した。

ア 利用者の状況

利用者数 介護69名、総合事業18名、合計87名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者延数	443	474	463	374	490	434	
開設日数	25	27	26	23	27	25	
平均利用者数	17.7	17.5	17.8	16.2	18.1	17.3	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者延数	446	451	436	436	443	458	5,348
開設日数	27	26	25	24	24	26	305
平均利用者数	16.5	17.3	17.4	18.1	18.4	17.6	17.5

介護保険

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
19	19	12	9	10	69

総合事業

事業対象者	要支援1	要支援2	合計
3	5	10	18

イ 研修・会議の実施状況

(ア) 事業所内研修

月 日	内 容	参加者数
4月4日 (水)	年間計画について・食事検討会議・満足度調査・買い物ツアー日程	7名
4月11日 (水)	業務改善会議	7名
5月9日 (水)	避難訓練・買い物ツアー (屋外機能訓練)	7名
5月9日 (水)	障害福祉サービスについて	7名
6月6日 (水)	買い物ツアー (屋外機能訓練) について	7名
7月4日 (水)	尾道大学吹奏楽部コンサートについて	6名
8月8日 (水)	敬老会について・災害時・断水時の対応と反省	7名
8月22日 (水)	感染防止マニュアル検討会議・敬老会について	7名
8月22日 (水)	倫理について	6名
9月5日 (水)	敬老会について	6名
9月21日 (金)	敬老会の反省	6名
10月17日 (水)	ヒヤリハット検討・送迎時の対応について	6名
10月17日 (水)	クレーム対応・高齢者と口の健康について	6名
11月7日 (水)	ビジネスマナー・事例で考える認知症・被災した認知症の家族の支援	17名
11月21日 (水)	鍋パーティーについて	6名
11月21日 (水)	感染症の正しい知識を身につけ予防対応	6名
1月9日 (水)	鍋パーティーの反省・デイサービスでのカフェ開催について	7名
1月9日 (水)	尾道ブロック研修会	6名
1月23日 (水)	救命講習	13名

2月12日（火）	カフェ開催・満足度調査について	6名
3月20日（水）	高齢者虐待・認知症・苦情対応について	6名
3月27日（水）	満足度調査アンケートについて	6名

(イ) 事業所外研修

月 日	内 容	参加者数
7月31日（火）	法令遵守・倫理・個人情報プライバシー保護	1名
9月26日（水）	実践ビジネスマナー研修	1名
10月10日（水）	クレームの基本姿勢を知り効果的なクレーム対応の技法を学ぶ	1名
10月11日（木）	高齢者の口の健康について・現在口の中で起きていること・今後予想されること	1名
10月17日（水）	認知症の人の理解と事例で学ぶ・行動・心理症状への対応	1名
10月29日（月）	感染症の正しい知識を身につけ予防、対応策を学び・事例検討を通して実際に学ぶ	1名
11月1日（木）	在宅緩和ケア研修会 連携従事者等研修	1名
11月9日（金）	平成30年度尾道ブロック職員研修会	1名
1月17日（木）	第2回西部圏域 医療・介護ネットワーク会議	1名
2月22日（金）	高齢者虐待対応研修会	1名
2月28日（木）	広島県認知症介護実践基礎研修	1名

ウ 行事等

季節にそった行事を行い、レクリエーションでは毎月おやつ作りを行い、おはぎなどを作り昔を楽しんで好評であった。

午前中は、それぞれ得意な手芸や、共同作品作りを行った。

○ 年間行事

4月 花見ドライブ	5月 避難訓練
6月 買い物ツアー	8月 風船釣り・かき氷
9月 敬老会	10月 ミニ運動会
10月 尾道大学吹奏楽コンサート	12月 鍋パーティー
2月 ふれ愛カフェ・節分会	3月 ひな祭り会

○ レクリエーション

ビデオ鑑賞・魚つりゲーム・連想ゲーム・玉入れ・ビンゴゲーム・ボール送り・ボール入れ・絵合わせ・風船バレー・物送りゲーム・たこ焼き作り・お絵かきゲーム・おじゃみなげ・輪投げ・ボーリング・お金釣り・ふな焼き作り・ことば遊び・お好みボール作り・ジェスチャーゲーム・物覚えゲーム・おはぎ作り・風船つり・田植えゲーム・ボールふりふりゲーム・カラオケ・ゲートボール

○ ボランティアのみなさん

毎月1回三味線ボランティア（武田さん・中川さん・原田さん）に来ていただいた。どんぐりの会には、定例行事に協力していただいた。尾道大学吹奏楽部・門田保育園・いきいきガールズ・なごみ会（阿波おどり）

③ 因島デイサービスセンター

事業所の目標を「ちょっとの油断…禁物。安心・安全をモットーに！！」と定め、4名の常勤職員と6名の嘱託職員、20名の臨時職員で事業を展開した。

ア 利用者の状況

利用者数 介護 89 名、総合事業 14 名、合計 103 名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者延数	546	583	565	369	573	551	
開設日数	25	27	26	19	27	25	
平均利用者数	21.8	21.5	21.7	19.4	21.2	22.0	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者延数	626	572	506	471	463	506	6,331
開設日数	27	26	25	24	24	26	301
平均利用者数	23.1	22.0	20.2	19.6	19.2	19.4	21.0

介護保険

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
23	28	22	14	2	89

総合事業

事業対象者	要支援1	要支援2	合計
1	4	9	14

イ 研修・会議の実施状況

(ア) 事業所内研修

月 日	内 容	参加者数
4月20日(金)	平成29年度の収支報告 マニュアルの見直し	11名
6月22日(金)	避難訓練	30名
6月22日(金)	ヒヤリハットの見直し・クレーム対応、倫理について プライバシー保護について	10名
7月13日(金)	食中毒について 感染症について	15名
12月17日(月)	避難訓練	30名
2月18日(月)	接遇マナー研修 ADL表の見直し	9名

※介護職員・看護職員及び調理員は、個々に毎月ミーティングを行った。

(イ) 事業所外研修

月 日	内 容	参加者数
6月13日(水)	安全管理者等講習	1名
9月27日(木)	ビジネスマナー研修	3名
10月18日(木)	第3回因島圏域在宅医療・介護ネットワーク会議	1名

3月5日(火)	職員研修 クレーム対応研修	9名
3月8日(金)		
3月11日(月)	平成30年度介護サービス事業者集団指導研修	1名
3月19日(火)	因島通所介護事業所連絡会議	1名

ウ 行事等

○ 年間行事

端午の節句（5月） 母の日週間（5月） 父の日週間（6月）
 春の大運動会（6月） そうめん流し週間（7月） 夏祭り週間（8月）
 スイカ割り週間（7月） たこ焼き週間（8月） 敬老表彰（9月）
 秋の大運動会（10月） クリスマス会（12月） 甘酒週間（1月）
 ひな祭り週間（3月） コーヒー週間（毎月） 誕生日祝（利用者に合わせて）

○ レクリエーション

手遊び歌 サイコロしりとり 血液サラサラ体操
 言葉遊び ジャンケンゲーム ボール遊び 棒を持ってリズム体操 輪投げ
 風船釣り カラオケ・唱歌など他 音楽レクリエーション おジャミ積み
 椅子に座ってでもできる身体、頭を動かせるレクリエーションをした。

○ ボランティアのみなさん

オカリナ演奏(月1回) 子供舞踊（5月、11月）
 コーラス有志（6月） ダンシングチーム
 春風フクロウさん（腹話術、バルンアート、紙芝居 10月）
 フラダンスボランティア ハーモニカ演奏（月1回）

16. 障害福祉サービス事業

障害のある人も普通に暮らし、地域の一員としてともに生きる社会作りを目指して、障害福祉サービスによる居宅介護等の「介護給付」と、移動支援等の「地域生活支援事業」を行い、障害者の自立を支えた。

(1) 障害者訪問介護事業

在宅の障害者宅をホームヘルパーが訪問し、家事・介護・移動介護の援助を行い、自立支援を図った。

①訪問介護事業所

利用者数 70名 延利用回数 8,106回

②因島ホームヘルパーステーション

利用者数 8名 延利用回数 557回

③すずらん訪問介護事業所

利用者数 7名 延利用回数 208回

(2) 障害者訪問入浴介護事業

在宅の障害者宅を入浴車で訪問し、ベッド横に浴槽を運んで入浴していただくことで清潔を保ち、快適な在宅生活が送れるようにサービス提供を行った。

○訪問入浴介護事業所

利用者数 5名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数	37	33	40	33	47	40	34	33	31	29	30	32	419

(3) 障害者通所介護事業

在宅の障害者がデイサービスを利用することにより外出の機会をつくり、社会的孤立感の解消と家族の身体的・精神的な介護負担の軽減を図った。

○ふれ愛デイサービスセンター

利用者数 8名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数	36	42	37	30	44	44	46	35	35	29	29	33	440